

令和8年度
高等部
【 本校 】
年間指導計画



令和 8 年度 高等部 時間割表

高等部 1 年 I 課程

	月	火	水	木	金
1	社会	英Ⅲ	国語	理科	音楽
2	体育	体育	理科	体育	総探
3	美術	数学Ⅰ	家庭	国語	LHR
4	保健	英論表	家庭	社会	自活
5	国語	情報	美術	音楽	数学A
6	自活	情報	総探	数学Ⅰ	英Ⅲ

高等部 2 年 I 課程

	月	火	水	木	金
1	社会	英Ⅲ	国語	理科	音楽
2	体育	体育	理科	体育	総探
3	美術	情報	家庭科	国語	LHR
4	保健	情報	家庭科	社会	自活
5	国語	数学A	美術	音楽	数学A
6	自活	自活	総探	自活	英Ⅲ

高等部 1・2・3 年 II 課程A

	月	火	水	木	金
1	数学	美術	社会	国語	音楽
2	体育	情報	家庭	体育	総探
3	英語	職業	職業	美術	LHR
4	音楽	理科	数学	数学	自活
5	理科	保健	国語	社会	国語
6	自活	英語	総探	自活	道徳

令和8年度 高等部1年（Ⅰ課程） 国語科「現代の国語」 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2/70		1年Ⅰ課程			『新編 現代の国語』（第一学習社）
年間目標		（知及技）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 （思判表力）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 （学・人）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 （25）	3	（知及技）読書の意義と効用を理解する。 （思判表力）教材のテーマやキーワードから積極的に興味や関心を広げ、関連する書籍を読む。 （学・人）教材のテーマやキーワードから積極的に興味や関心を広げ、関連する書籍を読む。	（知及技）読書の意義と効用を理解することができたか。 （思判表力）教材のテーマやキーワードから積極的に興味や関心を広げ、関連する書籍を読もうとしている。 （学・人）教材のテーマやキーワードから積極的に興味や関心を広げ、関連する書籍を読もうとしている。	読書のしるべ	・図書館の利用 ・本の紹介 ・感想を書く
	11	（知及技）スピーチメモの概要を理解して作ることができる。 （思判表力）自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、発表する。 （学・人）他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を身につける。	（知・技）スピーチメモの概要を理解して書く。 （思・判・表）自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、発表しようとする。 （主学）他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を知り、考えて文にしたり発言しようとする。	スピーチで自分を伝える	・主張と論拠 ・個別と一般化 ・論述の仕方 ・漢字・熟語の学習
	11	（知及技）主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 （思判表力）筆者が開発した「弱いロボット」について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述することができる。 （学・人）本文を読んでロボットと人間との関係性について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとする態度をもつ。	（知・技）主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解している。 （思・判・表）筆者が開発した「弱いロボット」について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述している。 （主学）本文を読んでロボットと人間との関係性について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。	岡田美智男「『弱いロボット』の誕生」	・主張と論拠 ・個別と一般化 ・論述の仕方 ・漢字・熟語の学習
2学期 （27）	14	（知及技）常用漢字を文や文章の中で活用することができる。 （思判表力）イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察することができる。 （学・人）本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとする態度をもつ。	（知・技）常用漢字を文や文章の中で活用している。 （思・判・表）イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察している。 （主学）本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。	鷲谷いづみ「イースター島になぜ森がないのか」	・常用漢字の学習 ・イースター島の歴史 ・人類と生態系のあり方
	13	（知及技）話し合いの進め方のルールを理解する。 （思判表力）今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、話し合いによって結論を出そうとしている。 （学・人）進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話すことができる。	（知・技）話し合いの進め方のルールを理解しようとする。 （思・判・表）今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、話し合いによって結論を出そうとしている。 （主学）進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。	合意形成のための話し合いを行う	・プレゼンテーションの準備 ・アイデア、情報を集める ・プレゼンテーションの練習
3学期 （18）	8	（思判表力）自分の経験の中から意見を導き出すことができる。 （学・人）目的に応じてテーマを決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとする態度をもつ。	（思・判・表）自分の経験の中から意見を導き出している。 （主学）目的に応じてテーマを決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。	社会に対する意見文を書く	・意見文の書き方 ・自分の経験 ・意見文発表
	10	（知及技）主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 （思判表力）文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解することができる。 （学・人）情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする態度をもつ。	（知・技）主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解している。 （思・判・表）文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解している。 （主学）情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	論理分析【対比】「間」の感覚	・主張と論拠 ・個別と一般化 ・対比構造を用いた論理の展開
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部1年（Ⅰ課程） 国語科「言語文化」 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
1 / 35		1年Ⅰ課程			『新編 言語文化』（第一学習社）
年間目標		（知及技）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 （思判表力）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 （学・人）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 （1・2）	6	（知及技）現代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品にこめられた世界への思いを読み取ることができる。 （思判表力）作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 （学・人）題名や内容に注意して、この詩で理想とする世界についてまとめることができる。	（知・技）現代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品にこめられた世界への思いを読み取ろうとする。 （思・判・表）作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈しようとする。 （主学）題名や内容に注意して、この詩で理想とする世界についてまとめようとする。	〔詩を楽しむ〕 六月（茨木のり子）	・ 句、語彙の学習 ・ 詩の音読 ・ 詩の種類・構成 ・ 詩の読み取り
	6	（知及技）小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉えることができる。 （思判表力）下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取ることができる。 （学・人）登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えることができる。	（知・技）小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉えようとする。 （思・判・表）下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取ろうとする。 （主学）登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	〔小説〕 羅生門（芥川龍之介）	・ 内容、展開の解釈 ・ 常用漢字・語句の学習 ・ 心理描写の読解
2学期 （1・5）	10	（知及技）主として動詞の活用について、文語のきまりを理解することができる。 （思判表力）作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈することができる。 （学・人）現代まで受け継がれる物語の読み取りを通して、古文の世界への親しみを深めることができる。	（知・技）主として動詞の活用について、文語のきまりを理解しようとする。 （思・判・表）作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈しようとする。 （主学）現代まで受け継がれる物語の読み取りを通して、古文の世界への親しみを深めようとする。	〔古文〕 なよ竹のかぐや姫	・ 音読、読み方の学習 ・ 古文の用言の活用 ・ 初期仮名物語の読解
	5	（知及技）我が国の言語文化に特徴的な、俳句の表現の技法とその効果について理解することができる。 （思判表力）作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈することができる。 （学・人）俳句の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって俳句文芸に親しむことができる。	（知・技）我が国の言語文化に特徴的な、俳句の表現の技法とその効果について理解しようとする。 （思・判・表）作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈しようとする。 （主学）俳句の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって俳句文芸に親しもうとしている。	〔俳句〕 手毬唄	・ 音読、読み方の学習 ・ 季語など俳句の形式、表現技法の学習 ・ 俳句の情景及び心情の解釈
3学期 （8）	6	（知及技）訓読のきまりを理解することができる。 （思判表力）作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈することができる。 （学・人）漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。	（知・技）訓読のきまりを理解しようとする。 （思・判・表）作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈しようとする。 （主学）漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知ろうとする。	〔漢文〕 故事成語の由来と意味を調べる 「五十歩百歩」	・ 音読、読み方の学習 ・ 季語など俳句の形式、表現技法の学習 ・ 俳句の情景及び心情の解釈
	2	（知及技）ことわざや故事成語の基になる教訓や風刺の意味を知る （思判表力）由来を調べ、どのような状況にふさわしい言葉か前後の文も類推することができる。 （学・人）故事成語の由来を調べ、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができる。	（知・技）ことわざや故事成語の基になる教訓や風刺の意味を知ろうとする。 （思・判・表）由来を調べ、どのような状況にふさわしい言葉か前後の文も類推しようとする。 （主学）故事成語の由来を調べ、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解しようとする。	〔言語活動〕 ことわざ・故事成語	・ 音読、読みがなの学習 ・ 成り立ち調べ ・ 発表
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 高等部 1 年（I 課程） 地理歴史科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1 学年 I 課程		『高等学校 改訂版 地理総合』 （第一学習社） ／『教科書準拠 改訂版 地理総合 ノート』（第一学習社） 世界を変えるSDGs＊図書教材/新聞 中学生の地理（帝国書院）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を高める。 （思判表力） 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して概念などを活用して考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。 （学・人） 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	（知及技） ・地球上のすべての位置は緯度・経度であらわせることや、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解することができる。 （思判表力） ・各地図投影法の特徴を踏まえ、目的や用途に応じて適切な地図を選び、使い分けができる。 （学・人） ・GISがどのような場面で活用されているか調べ、自らも日常生活の中で活用していこうとする姿勢が見られる。	（知・技） ・地球上のすべての位置は緯度・経度であらわせることや、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解している。 （思・判・表） ・各地図投影法の特徴を踏まえ、目的や用途に応じて適切な地図を選び、使い分けができています。 （主学） ・GISがどのような場面で活用されているか調べ、自らも日常生活の中で活用していこうとする姿勢が見られる。	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 1章 球面上の世界と地図	①地球上の位置 ②世界の時差 ③世界地図の見方・使い方 ④地図があらわす情報 ⑤デジタル化された地図 ⑥地理情報システムの活用
	8	（知及技） ・日本の貿易の変化や、貿易摩擦について理解することができる。 （思判表力） ・国境・領土問題の平和的解決のために必要なことについて、考察を深めることができる。 （学・人） ・新聞や書籍、インターネットなどを用いて、現在世界で起こっている国境・領土問題や、日本の領域と周辺国との領土問題について調べようとする姿勢が見られる。	（知・技） ・日本の貿易の変化や、貿易摩擦について理解している。 （思・判・表） ・国境・領土問題の平和的解決のために必要なことについて、考察を深めることができる。 （主学） ・新聞や書籍、インターネットなどを用いて、現在世界で起こっている国境・領土問題や、日本の領域と周辺国との領土問題について調べようとする姿勢が見られる。	2章 国家の結びつきとグローバル化する世界	①国家の領域と国境 ②日本の領域とさまざまな領土問題 ③国家をこえた結びつき ④交通機関の発達と縮小する世界 ⑤情報・通信で一体化する世界 ⑥拡大する世界の貿易と物流 ⑦グローバル化と人の移動による結びつき
	7	（知及技） ・世界の気候帯にはそれぞれどのような特徴があり、そこではどのような生活が営まれているのか、理解することができる。 （思判表力） ・教科書掲載の写真読解のワークに取り組み、複数の写真を比較して共通点や相違点について考察することができる。 （学・人） ・多様な生活文化の基盤となる地形や気候について、積極的に学ぼうとする姿勢が見られる。	（知・技） ・世界の気候帯にはそれぞれどのような特徴があり、そこではどのような生活が営まれているのか、理解している。 （思・判・表） ・教科書掲載の写真読解のワークに取り組み、複数の写真を比較して共通点や相違点について考察することができる。 （主学） ・多様な生活文化の基盤となる地形や気候について、積極的に学ぼうとする姿勢が見られる。	第2編 国際理解と国際協力	1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 人々の生活の舞台となる地形 2節 人々の生活に彩りを与える気候

2 学 期	15	(知及技) ・言語や宗教が各地の生活文化とどのようにかかわっているのか、歴史的背景も踏まえて理解することができる。 (思判表力) ・多様な価値観やアイデンティティを持つ世界の人々と共生していくために必要なことについて、考察を深めることができる。 (学・人) ・衣食住や産業、宗教などの具体的な事例を通して、世界各地の特色ある生活文化について、積極的に学ぼうとする姿勢が見られる。	(知・技) ・言語や宗教が各地の生活文化とどのようにかかわっているのか、歴史的背景も踏まえて理解している。 (思・判・表) ・多様な価値観やアイデンティティを持つ世界の人々と共生していくために必要なことについて、考察を深めることができる。 (主学) ・衣食住や産業、宗教などの具体的な事例を通して、世界各地の特色ある生活文化について、積極的に学ぼうとする姿勢が見られる。		3節 「衣」から見る世界 4節 「食」から見る世界 5節 「住」から見る世界 6節 暮らしを豊かにする産業 7節 世界の言語・宗教と人々の生活 8節 多文化共生に向けて
	7	(知及技) ・SDGsが定められた背景や、それぞれの目標の内容を理解することができる。 (思判表力) ・世界で見られる貧困問題、人口問題などについて、自分たちの生活との関連性について考察することができる。 (学・人) ・SDGsの実現に向けて、世界で見られる地球的課題を自分事として捉え、積極的に学ぼうとする姿勢が見られる。	(知・技) ・SDGsが定められた背景や、それぞれの目標の内容を理解している。 (思・判・表) ・世界で見られる貧困問題、人口問題などについて、自分たちの生活との関連性について考察することができる。 (主学) ・SDGsの実現に向けて、世界で見られる地球的課題を自分事として捉え、積極的に学ぼうとする姿勢が見られる。	2章 地球的課題と国際協力	1節 持続可能な社会を目指して 2節 すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて
	5	(知及技) ・都市・居住問題について、世界や日本ではどのような問題が生じており、問題解決のためにどのような取り組みがなされているのか理解することができる。 (思判表力) ・世界のエネルギー利用の変遷や課題を踏まえ、持続可能な社会の実現に向けた資源・エネルギー利用について考察を深めることができる。 (学・人) ・身の回りの都市問題に関心を持ち、地域の課題解決に向けて学習した内容を振り返ろうとする姿勢が見られる。	(知・技) ・都市・居住問題について、世界や日本ではどのような問題が生じており、問題解決のためにどのような取り組みがなされているのか理解している。 (思・判・表) ・世界のエネルギー利用の変遷や課題を踏まえ、持続可能な社会の実現に向けた資源・エネルギー利用について考察を深めることができる。 (主学) ・身の回りの都市問題に関心を持ち、地域の課題解決に向けて学習した内容を振り返ろうとする姿勢が見られる。	2章 地球的課題と国際協力	3節 自然と調和した豊かな社会に向けて
3 学 期	8	(知及技) ・地球温暖化による影響について、身近な事例も踏まえながら理解することができる。 (思判表力) ・地球温暖化の解決のために行われている取り組みを踏まえ、高校生ができることについて考察を深めることができる。 (学・人) ・地球環境問題を自分事として捉え、その解決に向けて身近なところから行動しようとする姿勢が見られる。	(知・技) ・地球温暖化による影響について、身近な事例も踏まえながら理解している。 (思・判・表) ・地球温暖化の解決のために行われている取り組みを踏まえ、高校生ができることについて考察を深めることができる。 (主学) ・地球環境問題を自分事として捉え、その解決に向けて身近なところから行動しようとする姿勢が見られる。	2章 地球的課題と国際協力	4節 現役世代と将来世代のための地球 5節 平和で公正な社会に向けて
	10	(知及技) ・自然災害に備えるためには日常の備えが重要であり、減災に向けた地域防災力の向上が重要であることを理解することができる。 (思判表力) ・地域防災力を高めるために個人ができることについて、考察を深めることができる。 (学・人) ・自然環境の特徴や、災害の特徴とその備えについて積極的に学んでいこうとする姿勢が見られる。	(知・技) ・自然災害に備えるためには日常の備えが重要であり、減災に向けた地域防災力の向上が重要であることを理解している。 (思・判・表) ・地域防災力を高めるために個人ができることについて、考察を深めることができる。 (主学) ・自然環境の特徴や、災害の特徴とその備えについて積極的に学んでいこうとする姿勢が見られる。	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災	1節 人々の暮らしを取りまく自然環境 2節 変動帯の自然と防災 3節 湿润地域の自然と防災 4節 自然災害への備え
留意点 引継ぎ等		・評価方法：授業態度、発問評価、提出課題、単元テスト（小テスト）、ノート（プリント）提出 ・生徒の興味関心を高められるように、資料や関連動画などを活用する。 ＊iPadなどを活用し、プリントをまとめさせる。 ＊時事ニュース等を随時取り上げる。			

令和 8 年度 高等学部 1年 (I課程) 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	高等部1年		高校数学 I (実教出版)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形についての基礎的・基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりすることができる。 (思判表力) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し考察する力、数学の用語、記号を用いて思考を深め、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。 (学・人) 身近な生活の中にある数学の事象に触れ、数学への興味・関心を高め、数学の良さを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善しようとする態度や創造性を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技)落ち着いて、丁寧に計算する。 (思判表力)多面的な見方、考え方ができるようにする。 (学・人)まわりの意見を取り入れて、さらに自分の解答に自信をもつ。	(知・技)指数法則や分配法則を用いて、多項式の計算や因数分解をしようとする。 (思・判・表)文字をおきかえることで、展開や因数分解の公式を適用できるようになることを見通せる。 (主学)今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする。	第1章 数と式 第1節 整式 加法, 減法, 乗法 因数分解 第2節 実数 平方根とその計算 実数 第3節 方程式と不等式 1次不等式 連立不等式	・日常で使われる場面を説明し、有用性を示してから、教科書の内容を進める。 ・例や例題はノートに書かさず、説明を聞くことに集中させる。 ・既習事項を確認し、各自で問題を解く。 ・生徒は黒板で解答し、他の生徒に説明する。 ・生徒が見つけた別解などは、タブレットで画面に映して、みんなに紹介する。
2 学期	30	(知及技)四則演算の定着 (思判表力)図やグラフなどを正しく読み取る。 (学・人)課題学習などに積極的に取り組む。	(知・技)平方完成を利用して、2次関数の最大値、最小値を求めようとする。 (思・判・表)日常における最大・最小の問題の解決に、2次関数を活用しようとする。 (主学)日常の事象の中に関数を見つけようとする。	第2章 2次関数 第1節 関数とグラフ 1次関数のグラフ 2次関数のグラフ 第2節 関数の値の変化 最大値, 最小値	・1次関数の復習を行い、2次関数を導入する。 ・グラフの平行移動などは、ICT機器を用いて画面やスクリーンに映し、視覚的にわかりやすく説明する。 ・生徒はグラフの概形をノートに書きながら問題を解く。
		(知及技)三角比の基本性質を用いて計算する。 (思判表力)問題文から図を描き、値を求めろ。 (学・人)自分なりの解法を身に付ける。	(知・技)直角三角形において、正弦・余弦・正接を求めようとする。 (思・判・表)測量の問題に三角比を活用しようとする。 (主学)直接測ることのできない距離を求めることに興味をもつ。	第3章 三角比 第1節 三角比 三角比の利用 相互関係 第2節 三角比の応用 三角形の面積 正弦定理 余弦定理	・図形が多いので、生徒には書かさずにICT機器を用いて画面やスクリーンに映し、視覚的にわかりやすく説明する。 ・例や例題はノートに書かさず、説明を聞くことに集中させる。 ・生徒は三角形の簡略図をノートに書きながら問題を解く。
3 学期	16	(知及技)集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 (思判表力)事象の考察に活用できるようにする。 (学・人)筋道を立てて、物事を説明する。	(知・技)共通部分、和集合、空集合について理解している。 (思・判・表)ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現しようとする。 (主学)集合について、それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。	第4章 集合と論証 第1節 集合と論証 集合と要素, 命題 いろいろな証明法	・主にICT機器を用いて授業を進め、画面やスクリーンに映しだして、視覚的にわかりやすく説明する。 ・生徒は最低限の要点だけをノートに書きながら問題を解く。
留意点 引継ぎ等		ICTを機器を活用して、視覚的に理解できるような授業を行う。 単元を横断的に扱う課題も設定し、年間を通して学習指導要領の目標を達成できるようにする。			

令和8年度 高等学部 1年（I課程） 数学科 年間指導計画

単位数 ／ 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	高等部1年		高校数学A（実教出版）／その他

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形についての基礎的・基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりすることができる。 (思判表力)数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し考察する力、数学の用語、記号を用いて思考を深め、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。 (学・人)身近な生活の中にある数学の事象に触れ、数学への興味・関心を高め、数学の良さを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善しようとする態度や創造性を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技)落ち着いて、丁寧に計算する。 (思判表力)多面的な見方、考え方ができるようにする。 (学・人)まわりの意見を取り入れて、さらに自分の解答に自信をもつ。	(知・技)nPrやcPrの計算ができる。 (思・判・表)いろいろな並び方や選び方について、順列や組合せを利用して考察することができる。 (主学)自信をもって、問題に取り組もうとする。	①集合、集合の要素と個数 ②和の法則と積の法則 ③順列・重複順列・円順列 ④組合せ ⑤確率の意味・確率の計算、独立な試行の確率、反復試行の確率、条件付き確率	・既習事項を確認し、各自で問題を解く。 ・習熟度別に対応できるように、応用問題にも取り組む。 ・生徒は黒板で解答を行い、他の生徒にも説明する。 ・生徒が見つけた別解などは、タブレットで画面に映して、みんなに紹介する。
2学期	15	(知及技)角の2等分線と線分の比や三角形の外心・内心・重心の性質を用いて、いろいろな線分の長さや角度などを求めることができる。 (思判表力)図形を多面的にとらえ、問題文から図を描き、値を求める。 (学・人)自分なりの解法を身に付ける。	(知・技)いろいろな線分の長さや角度などを求めることができる。 (思・判・表)図形を多面的にとらえ、問題文から図を描き、値を求める。 (主学)直接測ることのできない長さや角度を求めることに興味をもつ。	①三角形と比、三角形の重心・外心・内心、角の二等分線と線分の比 ②円周角の定理、円に内接する四角形、円と直線、接線と弦のつくる角、方べきの定理、2つの円 ③作図 ④直線や平面の位置関係、多面体	・図形が多いので、生徒には書かずにICT機器を用いて画面やスクリーンに映し、視覚的にわかりやすく説明する。 ・例や例題はノートに書かずに、説明を聞くことに集中させる。 ・生徒は図形の簡略図をノートに書きながら問題を解く。
3学期	8	(知及技)2進法を中心に10進法以外の数の表し方について理解し、加法・乗法の計算が行えるようにする。 (思判表力)約数や倍数に関する事象を論理的に考察し、整数の性質について深く理解できるようにする。 (学・人)自分なりの解法を身に付ける。	(知・技)10進法以外の表記法やその加法、減法について理解している。 (思・判・表)10進法の表記法を見直すことにより、n進法の仕組みを考えることができる。 (主学)昔の記数法について、その利点や欠点について考察しようとしている。	①記数法 ②約数と倍数 ③整数の割り算と商・余り	・生徒は黒板で解答を行い、他の生徒にも説明する。 ・生徒が見つけた別解などは、タブレットで画面に映して、みんなに紹介する。
留意点 引継ぎ等		ICTを機器を活用して、視覚的に理解できるような授業を行う。 単元を横断的に扱う課題も設定し、年間を通して学習指導要領の目標を達成できるようにする。			

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部 1 年		改定地学基礎 (東京書籍) ／ニューサポート改定地学基礎 (東京書籍)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：A (知・技)知識・技能 B (思・判・表)思考・判断・表現 C (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表力)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。 (学・人)地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を身に付けている。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ・ 私たちの大地について、大地とその働き、地震、火山活動の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表力) ・ 私たちの大地について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (学・人) ・ 私たちの大地に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	(知・技) ・ 私たちの大地について、大地とその働き、地震、火山活動の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表) ・ 私たちの大地について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (主学) ・ 私たちの大地に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第1編 私たちの大地 第1章 大地とその動き 第2章 地震 第3章 火山活動	第1編 私たちの大地 第1章 大地とその動き 実習 1 地球の大きさや形を求めよう 実習 2 岩石と鉄の密度の比較 第2章 地震 実習 3 震源の深さを求める 第3章 火山活動
2 学期	27	(知及技) ・ 私たちの空と海について、地球大気の特徴、大気・海水の特徴とその運動、日本の天気と気象災害の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表力) ・ 私たちの空と海について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (学・人) ・ 私たちの空と海に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	(知・技) ・ 私たちの空と海について、地球大気の特徴、大気・海水の特徴とその運動、日本の天気と気象災害の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表) ・ 私たちの空と海について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (主学) ・ 私たちの大地に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第2編 私たちの海と空 第1章 地球大気の特徴 第2章 大気の特徴とその運動 第3章 海水の特徴とその運動 第4章 日本の天気と気象災害	第2編 私たちの海と空 第1章 地球大気の特徴 実習 4 大気の高さによる気圧と温度の変化を調べる 第2章 大気の特徴とその運動 実習 5 緯度ごとの太陽放射のりょうと地球放射の量を比較する 第3章 海水の特徴とその運動 第4章 日本の天気と気象災害
3 学期	18	(知及技) ・ 私たちの宇宙の誕生について、宇宙の構造と進化、太陽系の誕生の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表力) ・ 私たちの宇宙の誕生について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (学・人) ・ 私たちの宇宙の誕生に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	(知・技) ・ 私たちの宇宙の誕生について、宇宙の構造と進化、太陽系の誕生の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表) ・ 私たちの宇宙の誕生について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (主学) ・ 私たちの宇宙の誕生に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第3編 私たちの宇宙の誕生 第1章 宇宙の構造と進化 第2章 太陽系の誕生	第3編 私たちの宇宙の誕生 第1章 宇宙の構造と進化 第2章 太陽系の誕生
		(知及技) ・ 私たちの地球の歴史について、地層と化石の観察、古生物の変遷と地球環境の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表力) ・ 私たちの地球の歴史について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (学・人) ・ 私たちの地球の歴史に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	(知・技) ・ 私たちの地球の歴史について、地層と化石の観察、古生物の変遷と地球環境の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表) ・ 私たちの地球の歴史について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (主学) ・ 私たちの地球の歴史に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第4編 私たちの宇宙の誕生 第1章 地層と化石の観察 第2章 古生物の変遷と地球環境	第4編 私たちの宇宙の誕生 第1章 地層と化石の観察 実習 6 露頭を観察して過去のできごとを推察する 第2章 古生物の変遷と地球環境
		(知及技) ・ 地球に生きる私たちについて、日本の自然の恵みと防災、地球環境と私たちの生活、これからの地球環境の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表力) ・ 地球に生きる私たちについて、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (学・人) ・ 地球に生きる私たちに関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	(知・技) ・ 地球に生きる私たちについて、日本の自然の恵みと防災、地球環境と私たちの生活、これからの地球環境の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表) ・ 地球に生きる私たちについて、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (主学) ・ 地球に生きる私たちに関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第5編 地球に生きる私たち 第1章 日本の自然の恵みと防災 第2章 地球環境と私たちの生活 終章 これからの地球環境	第5編 地球に生きる私たち 第1章 日本の自然の恵みと防災 実習 7 災害発生時の行動を想定する 第2章 地球環境と私たちの生活 終章 これからの地球環境
留意点 引継ぎ等	【評価方法】授業態度、発問評価、レポート、小テスト ・ 生徒の実態に応じて、実験実習を精選して行う。				

令和 8 年度 高等部 1 年（I 課程） 保健体育科 体育 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	高等部 1 年		現代高等保健体育(大修館書店)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (学・人) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して行う		(知及技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てて取り組むことができる。 (思判表力) 自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることができる。	(知・技) ・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを言ったり書き出したりしている。 (思・判・表) ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 (主学) 体づくり運動に自主的に取り組もうとしている。	体づくり運動	<例示> 体ほぐしの運動 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりする。 ・ 仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりする。 〈実生活に生かす運動の計画の行い方の例〉 ○ 健康に生活するための体力の向上を図る運動の計画と実践 ・ 運動不足の解消や体調維持のために、食事や睡眠などの生活習慣の改善も含め、休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組む。
1 学期	37	(知及技) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しゲームを展開することができる。 (思判表力) 生涯にわたり運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしながら一人一人の違いに応じたプレイを展開することができる。	(知・技) ・球技の型や種目によって必要な体力要素があり、その型や種目の技能に関連させながら体力を高めている。・自分の得意な投げ方でねらった方向にボールを投げている。・サービスでは、ボールに変化をつけて打っている。 (思・判・表) 課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 (主学) 作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。	球技	○ターゲット型 ・ ターゲットに向かって力をコントロールしながら、ボールを投げる。 ・ 仲間と協力しながらゲームを進行する。 ○ネット型 ・ サービスでは、ボールに変化をつけて打つ。 ・ ボールを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返す。 ・ ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込む。
		(知及技) 記録の向上や自己や仲間の課題を解決するなどの楽しさや喜びを味わい、自己に適した泳法で泳ぐことができる。 (思判表力) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ルールやマナーを大切にしようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保して水泳に取り組むことができる。	(知・技) ・水泳では、各種目や運動の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、効率のよい泳ぎにつながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習したことを挙げている。 (思・判・表) グループでの学習で、状況に応じて自己や仲間の役割を提案している。 (主学) 水泳の事故防止の心得を遵守し、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	水泳	ア クロール 15～50m程度 ・ 流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つこと。 イ 平泳ぎ 15～50m程度 ・ 手を前方に大きく伸ばした後に肘を曲げ、加速させながら内側にかき込み、抵抗を減らすために素早く手を前に戻すストロークの動きをすること。 ・ ブルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの蹴り終わりに合わせて伸び(グライド)をとり、1 回のストロークで大きく進むこと。
		(知及技) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について知ることができる。 (思判表力) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。 (学・人) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技) 近年では、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあり、日本の文化の発信に貢献していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (思・判・表) スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。 (主学) スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	体育理論（スポーツの発祥と発展）	1 スポーツの始まりと変遷 ・ スポーツがどのように始まったのかを説明する。 2 文化としてのスポーツ ・ 運動との比較から文化としてのスポーツの特徴を説明する。

2 学 期	41	(知及技) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しゲームを展開することができる。 (思判表力) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようすることができる。	(知・技) ・戦術や作戦に応じ、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、言ったり書き出したりしている。・ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。 (思・判・表) 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 (主学) 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。	球技	○ゴール型 ・ゴールの枠内にシュートをコントロールする。 ・味方が操作しやすいパスを送る。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープする。
		(知及技) 武道の楽しさや喜びに触れ、伝統的な考え方やその行い方を理解し、基本的な動きや技能を身に付けることができる。 (思判表力) 武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたことを他者に伝えたり発表したりすることができる。 (学・人) 武道に進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具、自己や他者の安全に留意したりしながら、運動をすることができる。	(知・技) 武道の特徴をとらえて基本的な動きやマナーを身につけている。 (思・判・表) 武道の学習成果を踏まえて、自己に適した簡単な技能や態度を見付けている。 (主学) 一人一人の違いに応じた動きや態度、役割を大切にしようとしている。	武道	○空手 ・上段突き、中段突き ・正面蹴り、足刀蹴り ・上段受け、中段受け、下段受け等の動き ・普及型Ⅰ、Ⅱ
		(知及技) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができる。 (思判表力) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。 (学・人) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技) 現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (思・判・表) スポーツの経済的効果が環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 (主学) スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	体育理論（スポーツの発祥と発展）	3 オリンピックとパラリンピックの意義 ・オリンピズムとオリンピックの価値について説明する。 4 スポーツが経済に及ぼす効果 ・スポーツにかかわる業種について例をあげて説明する。
3 学 期	27	(知及技) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しゲームを展開することができる。 (思判表力) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることができる。	(知・技) ・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするために、自己観察や他者観察などを行っている。・ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 (思・判・表) 球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。 (主学) 互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。	球技	○ネット型 ・サービスでは、ボールをねらった場所に打つ。 ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込む。 ・ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりする。
		(知及技) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について知ることができる。 (思判表力) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。 (学・人) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技) スポーツに関わる人々の増加は、例えば、地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (思・判・表) スポーツの高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 (主学) スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	体育理論（スポーツの発祥と発展）	5 スポーツの高潔さとドーピング ・ドーピングがなぜスポーツを破壊する行為になるのかを具体的に説明する。 6 スポーツと環境 ・スポーツは環境とどのように調和していけばよいのか説明する。
留意点 引継ぎ等		・体育は2学年かけて指導する教科であるため、学習指導要領に則り単元・題材の目標は(中3高1程度)と記載している。 ・体づくり運動は年間を通して行う。			

令和 8 年度 高等部 1年（I 課程） 保健体育科 保健 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部 1年		現代高等保健体育(大修館書店)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (学・人) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) ・安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であることを理解する。 ・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があることを理解する。 (思判表力)安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。 (学・人)安全な社会生活について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	(知・技)・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AED などを用いて心肺蘇生法ができる。 (思・判・表)・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 (主学)安全な社会づくりや、応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	2単元 安全な社会生活	1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全 4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法
2 学期	14	(知及技)生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解する。 (思判表力)生涯を通じる健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 (学・人)生涯を通じる健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	(知・技)・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (思・判・表)・生涯の各段階における健康、結婚生活と健康、加齢と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 (主学)生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	3単元 生涯を通じる健康	1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康

3 学 期	9	(知及技) 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解する。 (思判表力) 生涯を通じる健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 (学・人) 生涯を通じる健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	(知・技) ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (思・判・表) ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 (主学) 労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	3 単元 生涯を通じる健康	8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1年（I課程）音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	高等部1年I課程		MOUSA 1/他

年間目標		（知及技）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景等との関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 （思判表力）自己のイメージを個性豊かに音楽表現できるよう創意工夫をすることや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 （学・人）主体的・協働的に音楽の幅広い活動を通して、自分なりの音楽表現方法をみつけ、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 （25）	2	（知及技）年間の予定や、授業の取り組みを理解できる。色々な表現方法があることを理解できる。 （思判表力）自分のやりたいこと、やってみたいこと、自分ができる表現方法は何かを考え、言葉で表すことができる。 （学・人）年間の予定を知り、自分の目標を決定し、意欲的に音楽の学習活動に取り組むことができる。	（知・技）年間の予定や授業の取り組みを理解し、色々な表現方法があることを学ぼうとしている。 （思・判・表）自分のやりたいこと、やってみたいことを考え、自分ができる表現方法は何かを考え、言葉で表そうとしている。 （主学）年間の予定を理解し、自分の目標を決定し主体的・協働的に音楽の学習活動に取り組もうとしている。	オリエンテーション ・学期や年間の取り組みを知ろう ・自分は何に興味があるのか考えてみよう ・興味のあることや自分の得意な表現方法は何か探してみよう	・学期ごとの取り組みを知り、年間の目標と計画を立てる。 ・色々な表現方法の紹介。 （独唱、合唱、独奏、合奏、創作、ダンス、手話他） ・自分の興味はあることは何か、得意な表現方法は何か、やりたいことは何かを探す。
	8	（知及技）曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解することができる。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けることができる。 （思判表力）音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、講成を知覚し、それらの働きを感じながら知覚したことに関わりについて考え、演奏することができる。 （学・人）曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習に取り組むことができる。	（知・技）曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解している。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 （思・判・表）音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、講成を知覚し、それらの働きを感じながら知覚したことに関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 （主学）曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ハンドクラップアンサンブルに挑戦しよう ボディーパーカッションやCUPSに挑戦しよう	・ハンドクラップアンサンブル「Giocoso」 ・ボディーパーカッション ・CUPS「Clap, Tap with CUPS!」他
	7	（知及技）個々が選択した表現方法で、演奏に必要な技能を身に付けることができる。 （思判表力）よりよい表現ができるように創意工夫をし、自分のよいところや課題は何かを知り、練習に生かすことができる。 （学・人）自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に練習へ取り組むことができる。	（知・技）個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）よりよい表現ができるように、自分のよいところや課題は何かを知り、思いや意図をもって創意工夫をしている。 （主学）自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に音楽活動へ取り組もうとしている。	自分で選択した表現方法に取り組んでみよう ・目標設定 ・練習 ・振り返り	生徒が個々が選択した表現活動を個別活動で取り組む。 【歌唱】 ・発声や音程に気を付けて歌う ・曲をどのように表現したらよいか探る他 【器楽】【リズム】 ・奏法について ・楽譜の読み方について ・練習 他 【創作】 ・創作内容の選定、決定 ・創作活動 他
	8	（知及技）各声部の楽器の音色や伴奏を聴いて音を合わせて演奏することができる。 （思判表力）自分の演奏する部分まで待つことや、合図に合わせて演奏すること、周りの音や順番、状況を把握し、他者と合わせて演奏することについて思いや意図をもつ。 （学・人）他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む、音と合奏できる。	（知・技）各声部の楽器の音色や伴奏を聴いて音を合わせて演奏しようとしている。 （思・判・表）自分の演奏する部分まで待つことや、合図に合わせて演奏すること、周りの音や順番、状況を把握し、他者と合わせて演奏することについて思いや意図をもっている。 （主学）他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	器楽アンサンブルを楽しもう	・海の声 ・小さな恋のうた 他
	9	（知及技）曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 （思判表力）鑑賞についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見だして聴くことができる。自分なりに感じたことを言葉等で表現できる。 （学・人）音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	（知・技）曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解しようとしている。 （思・判・表）音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見だして聴こうとする思いを持っている。 （主学）音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	いろいろなジャンルの音楽を知ろう	・鑑賞のルール ・曲の聴き方 ・色々なジャンルの曲を聴く ・ワークシート
2学期 （27）	9	（知及技）個々が選択した表現方法に必要な技能を身に付けることができる。 （思判表力）よりよい表現ができるように創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習にいかすことができる。 （学・人）自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に練習に取り組むことができる。	（知・技）個々人が選択した表現方法に必要な技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）よりよい表現ができるように、自分のよいところや課題は何かを知り、思いや意図をもって創意工夫をしている。 （主学）自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に音楽活動へ取り組もうとしている。	新しい表現方法にチャレンジしよう	新しい表現方法を個々が選択しチャレンジする。 【歌唱】 ・発声や音程に気を付けて歌う。 ・曲をどのように表現したらよいか探る 他 【器楽】【リズム】 ・奏法について ・楽譜の読み方について ・練習 他 【創作】 ・創作内容の選定、決定 ・創作活動 他

	9	(知及技)他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 (思判表力)相手の演奏を聴きながら、自分の担当するパートを他者と合わせるためにどうしたらよいかを考え演奏に生かす。 (学・人) 集団の中でも主体的・協働的に音楽活動に参加できる。	(知・技)他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 相手の演奏を聴きながら、自分の担当するパートを他者と合わせるためにどのようにしたらよいかを考え演奏に生かそうとしている。 (主学) 集団の中でも、主体的・協働的に音楽活動に参加しようとしている。	皆で合わせて演奏しよう	個々で選択した表現方法を合わせて、集団活動へつなげる。
3 学 期 (1 8)	14	(知・技) 他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、皆と一緒に発表できる。 (思判表力)どの発表形態なら自分たちが発表できるかを考え、発表方法を工夫しながら、自分たちで表現できる。 (学・人) 主体的・協働的に音楽活動に参加し、皆の前で発表できる。	(知・技)他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、皆と一緒に発表しようとしている。 (思・判・表) どのように演奏するか、どの発表形態なら自分たちができるか等を考え、思いや意図をもって発表方法を工夫し表現しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に音楽活動に参加し、皆の前で発表しようとしている。	行事に向けた取り組みに参加しよう	皆で合わせたものを発表できるように準備、練習をする。 発表形態を考える。
	4	(知及技)年間を取り組んだことを振り返ることができる。 (思判表力)自分自身で振り返り、できたこと、継続的に取り組んだ方がいいことなどを考え、言葉で表し自己評価ができる。また、他者についてどのようなところがよかったのか表現することができる。 (学・人) 主体的・協働的に音楽活動に参加し、振り返りを通して、自己評価や他者評価を行うことができる。	(知・技) 年間を取り組んだことを振り返ろうとしている。 (思・判・表) 自分自身で振り返り、できたこと、継続的に取り組んだ方がいいことなどを考え、言葉で表し自己評価しようとしている。また、他者についてどのようなところがよかったのか等の他者評価をしようとしている。 (主学) 主体的・協働的に音楽活動に参加し、振り返りを通して自己評価や他者評価に取り組もうとしている。	1年間を振り返ってみよう	年間を通して、取り組んだことを振り返り、自己評価、他者評価をする。
留意 点 引 継 ぎ 等		・生徒の実態に応じて弾力的に教材を精選して取り組んでいく。 ○儀式・行事の曲 (「校歌」「月桃」「いのちのリレー」「時をこえ」「卒業式の歌」等)			

令和8年度 高等部 1, 3年(I 課程) 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部1, 3年(I 課程)		高校生の美術 I (日本文教出版) / その他

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間 目標	(知及技)美術表現の基礎知識を習得し、発想や構想を基に創造的に表現する。 (思判表力)感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などを個に応じた方法で創意工夫し表現する力を育てる。 (学・人)美術について興味・関心を深め主体的に学習に取り組み、生活や社会に目を向け、美術を愛好する心情を育む。			
学期 時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	25 (知及技) ●造型的な要素の働きなどを理解することができる。 (思判表力) ●造型的な良さや美しさを感じ取り、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などについて見方や感じ方を深めることができる。 (学・人) ●主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めることができる。	(知・技) ○材料や道具の扱いを理解し、形や色、質感などが感情にもたらす効果を感じることができている。 (思・判・表) ○教科書や映像から、様々な美術作品を鑑賞し、それらの良さを感じ取って、自分の意見や感想を持つことができている。 (主学) ○自らすすんで創作活動や、鑑賞の活動に取り組み、作品の造型的な良さを感じようとしている。	オリエンテーション 『美術を楽しむために』 絵や彫刻など 【描く活動・鑑賞】 『色と形であrawす』	・自分の心の中を見つめたり、気づかなかった自分の考えに気付いたりして、自分の美術を見付けて、表現についてイメージをもつ。 ・教科書を鑑賞しながら、美術の学びの意味や広がりについて考える。 ・様々な画材、モダンテクニックを使って色や形の面白さを楽しむ。
	(知及技) ●意図に応じて版画の特性を活かし、表現を考えることができる。 (思判表力) ●版画による表現の特性を生かし、彫りや刷りを工夫して独創的な表現の構想を練ることができる。 (学・人) ●主体的に創作活動に取り組み美術を愛好する心情をはぐくむことができる。	(知・技) ○版画の技法を理解し、特性を生かして、表現しようとしている。 (思・判・表) ○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫して構想を練っている。 (主学) ○自らすすんで創作活動や、鑑賞の活動に取り組もうとしている。	絵や彫刻など 【描く活動・鑑賞】 『版で表す』	・身近なものや空想や想像したものを基に主題を生み出し、版で表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。
	(知及技) ●目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成することができる。 (思判表力) ●意図に応じて材料や用具の特性を生かして作品をつくることができる。 (学・人) ●主体的に創作活動に取り組み美術を愛好する心情をはぐくむことができる。	(知・技) ○紅型のなりたちや工程などを知り、文様の形や色などを工夫して、デザインを考えようとしている。 (思・判・表) ○紅型の材料や用具、配色のきまりなどの特性を生かして表現しようとしている。 (主学) ○自らすすんで創作活動や、鑑賞の活動に取り組もうとしている。	デザインや工芸など 【つくる活動・鑑賞】 『地域の伝統工芸・紅型を知る』	・沖縄の伝統的な工芸品である紅型鑑賞し、その成り立ちや技法を知る。 ・コースターなどの小作品を簡書きの技法で自分の好みの配色に染める。
2 学 期	(知及技) ●意図に応じて材料や道具などの特性を生かして表すことができる。 (思判表力) ●表現形式の特性を生かし、形態や構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。 (学・人) ●主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めることができる。	(知・技) ○材料や道具の扱いを理解し、形や質感などが感情にもたらす効果をもとに、表現を工夫して制作しようとしている。 (思・判・表) ○身近なものを基に形の特徴をとらえて、制作しようとしている。 (主学) ○主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、作品の造形的なよさや美しさを感じ取ることができる。	絵や彫刻など 【つくる活動】 『身近なものを立体でとらえる』	・身近なものをよく見たり触ったりしながら特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・さまざまな彫刻作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。 ・塑像の基本的な技法について学び、作品制作に活かす。

	27	(知・技) ●美術作品の表し方や特徴の違いなどを捉え、作者の心情や表現の意図などについて考えることができる。 (思・判・表) ●日本の工芸作品や文化などから美意識や創造性などを感じ取り、日本美術の歴史や表現の特質について見方や感じ方を深めることができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。	(知・技) ○形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や作品の特徴などを基に、作者の心情や表現の意図などを感じ取り自分の言葉で表そうとしている。 (思・判・表) ○作品、工芸品の造形的なよさや美しさ、生活様式との関連性を感じ取り、表現の意図や工夫について考えるなどして見方や感じ方を広げることができる。 (主学) ○作品の良さや美しさを感じたり表現の意図や季節感を取り入れた工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。	鑑賞 【体験・鑑賞する活動】 『ハートアート展を鑑賞しよう』 『すぐれた美術作品を鑑賞しよう』 『茶道と日本美術』	・ハートアート展を鑑賞し、作者の表現の意図や作品に込めた思いを感じ取り、感じたことや考えたことを話し合ったり、ワークシートに感想を記入する。 ・美術史について学んだり過去の優れた美観作品を教科書やタブレットなどで鑑賞する。 ・タブレット端末やワークシートなどを活用し、作品がつくられた背景や茶道の歴史等について調べたり、調べたことを記入する。 ・季節に合わせた茶道具を使って実際に点前の体験を行う。
		(知・技) ●表現方法を創意工夫し、表現の糸を効果的に表すことができる。 (思・判・表) ●感じ取ったこと、目的や機能などを基に映像メディアの特性を活かして主題を生成することができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。	(知・技) ○意図に応じてアプリの特性を生かし、表現方法を創意工夫し、効果的に表している。 (思・判・表) ○作品作りの目的を理解して作品作りをしている。 (主学) ○映像やアプリの特性を生かした創作活動や鑑賞の活動に主体的に取り組んでいる。	映像メディア表現 『思い出ムービーをつくろう』	・タブレットの動画アプリの基本的な操作方法を知る。 ・学校での日常の印象的な写真をあつめて簡単なムービーを作る。
3 学 期		(知・技) ●造形の要素の働きを理解することができる。 (思・判・表) ●造形的な良さや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めることができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる	(知・技) ○ワークシートを記入しながら色彩や形など造形の要素の働きについて理解しようとしている。 (思・判・表) ○美術作品などを鑑賞し、色彩や形、構成などがどのような効果をもたらしているか知ろうとしている。 (主学) ○作品の造形的なよさや美しさを感じたり、表現の意図や工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。	共通事項 『色や形について知ろう』	・ワークシートを利用したり絵の具を混色したりして、色彩や形についての学習を行う。 ・有名な美術作品を鑑賞し、色や形などの働きを見つける。
		(知・技) ●構図や色彩なども効果、全体のイメージなどを捉え、や色の効果、全体のイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表すことができる。 (思・判・表) ●自分が表現したいことや想像したことなどを基に主題を生み出し、構想を創意工夫することができる。 (学・人) ●主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めることができる。	(知・技) ○形や色、構成や構図などの特徴などをもとに、表現を工夫し、創造的に表そうとしている。 (思・判・表) ○気持ちなど見えないものから主題を生み出し、表現活動の特性を感じ取り、色彩や形状、組み合わせなどを基に効果的な構想を練っている。 (主学) ○心の中や気持ちを表現する創造活動に主体的に取り組もうとしている。	共同制作の魅力 【描く活動・鑑賞】 『気持ちをあらわす』	・共同制作について学校全体や学年、クラスで意見を出し合い主題を生み出す。 ・材料や用具の特性を生かし、よりよいものになるよう共同で意見を出し合いながら見通しをもって制作する。 ・協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合い、共同制作の素晴らしさを味わう。
留意点 引継ぎ等		※授業計画及び教材をにおける描く活動やつくる活動について、理解度や興味・関心等に合わせ柔軟に対応する。 ※郷土の世界遺産や伝統工芸品の造形的な面白や見方、感じ方等も年間を通し授業内容に取り入れる。 ※年間を通し、多様な作品を味わい、自他の作品に親しむことができるよう、振り返り、鑑賞会、校内展示等を適宜取り入れる。 ※博物館や美術館を活用し、美術作品に親しむ機会を設ける。			

令和8年度 高等学部1年 I課程 外国語科 英語コミュニケーション I 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部1年 I 課程		Amity English Communication I Revised (開隆堂)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (学・人) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技) be動詞・一般動詞の現在形について理解できる (思判表力) お気に入りの場所について自身の考えや気持ちを伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど，コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) be動詞・一般動詞の現在形を理解し，4技能において活用している (思・判・表) お気に入りの場所について，考えや気持ちを伝えている (主学) 本文の景色の説明を主体的に読み取ろうとし，自身のお気に入りの場所について伝えようとしている	Lesson 1 The Beautiful Senery (7h) be動詞・一般動詞の現在形	①ワークシートを活用して，本文読解を行う ②本文の内容を捉え，文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え，文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④be動詞・一般動詞の現在形を使い，会話したり，書いたりする ⑤自身のお気に入りの場所について紹介する
		(知及技) be動詞・一般動詞の過去形を理解できる (思判表力) 日常生活や自身の友人について，考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど，コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) be動詞・一般動詞の過去形を理解し，4技能において活用している (思・判・表) 日常生活や自身の友人について，考えや気持ちを話して伝えている。 (主学) 日常生活や自身の友人について，考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 2 My Best Friends (7h) be動詞・一般動詞の過去形	①ワークシートを活用して，本文読解を行う ②本文の内容を捉え，文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え，文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④be動詞・一般動詞の過去形を使い，会話したり，書いたりする ⑤自身の友人について紹介する
		(知及技) 進行形や助動詞を理解できる (思判表力) 進行形や助動詞を用いて，提示された写真について，考えや気持ちを話して伝えることができる (主学)コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり，写真についてまとめて発表したりする	(知・技) 進行形や助動詞を理解し，4技能において活用している (思・判・表) 進行形や助動詞を用いて，提示された写真について，考えや気持ちを話して伝えている (主学) コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり，写真についてまとめて発表したりしようとしている	Lesson 3 Love for Dance (7h) 進行形/助動詞	①ワークシートを活用して，本文読解を行う ②本文の内容を捉え，文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え，文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④進行形・助動詞を使い，会話したり，書いたりする ⑤お気に入りの写真を紹介したり，説明する
		(知及技) be動詞／一般動詞／進行形／助動詞について理解できる	(知・技) be動詞／一般動詞／進行形/助動詞を理解し，4技能において活用している	FOCUS+ 1 (1h) be動詞／一般動詞／進行形／助動詞	①ワークシートを用いて，be動詞／一般動詞／進行形／助動詞について理解する
		(知及技) 不定詞を理解できる (思判表力) カプセルトイの中にあったらうれいと思うものについて考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど，コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 不定詞を理解できる (思判表力) カプセルトイの中にあったらうれいと思うものについて，考えや気持ちを話して伝えている (主学) 海外でしてみたいことやおすすめめのゲームについて，考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 4 The Capsule Toys (7h) 不定詞	①ワークシートを活用して，本文読解を行う ②本文の内容を捉え，文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え，文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④不定詞を使い，会話したり，書いたりする ⑤カプセルトイの中にあったらうれいと思うものについて紹介・説明する

2 学 期	27	(知及技) 動名詞を理解できる (思判表力) 健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 動名詞を理解し、4技能において活用している (思・判・表) 健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えている (主学) 健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 5 The History of Chocolate (7h) 動名詞	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④動名詞を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の健康に関する取り組みについて紹介する
		(知及技) 比較表現を理解できる (思判表力) 自分が子どもの頃から好きなことについて、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 比較を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) 自分が子どもの頃から好きなことについて、考えや気持ちを話して伝えている (主学) 自分が好きな教科や動物について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	Lesson 6 A Dog Trainer (7h) 比較(原級・比較級・最上級)	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④比較(比較級・最上級・原級)を使い、会話したり、書いたりする ⑤自分が好きな教科や動物について紹介する
		(知及技) 現在完了表現を理解できる (思判表力) セレンディピティや自身の発明について、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 現在完了を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) セレンディピティや自身の発明について、考えや気持ちを話して伝えている (主学) セレンディピティについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 7 Serendipity(7h) 現在完了	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④現在完了を使い、会話したり、書いたりする ⑤自分で発明品を考え、簡単な説明することができる
3 学 期	18	(知及技) 受動態を理解できる (思判表力) 誰かからもらった大切なものやサブールについて自身の考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 受動態を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) だれかからもらった大切なものやサブールについて自身の考えや気持ちを話して伝えている (主学) だれかからもらった大切なものやサブールについて自身の考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 8 Sapeurs (7h) 受動態	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④受動態を使い、会話したり、書いたりする ⑤サブールについて自身の意見をまとめる
		(知及技) 分詞の形容詞的用法を理解できる (思判表力) 将来になりたいものや挑戦してみたいことについて紹介できる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 分詞の形容詞的用法を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) 将来になりたいものや挑戦してみたいことについて、考えや気持ちを話して伝えている (主学) おすすめの映画や自分のモットーについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 9 Is Santa Real? (7h) 分詞の形容詞的用法	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④分詞の形容詞的用法を使い、会話したり、書いたりする ⑤おすすめの映画や自分のモットーについて紹介する
3 学 期		(知及技) 関係代名詞を理解できる (思判表力) 将来の夢や世界の平和に寄与した日本人について紹介することができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 関係代名詞を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) 将来の夢や平和に寄与した日本人などについて、考えや気持ちを話して伝えている (主学) 将来の夢や平和に寄与した日本人などについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 10 Clean Water (7h) 関係代名詞	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④関係代名詞を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の将来の夢や世界の平和に寄与した日本人について紹介する
		(知及技) 不定詞/動名詞/比較表現を理解できる	(知・技) 不定詞/動名詞/比較を理解し、4技能において活用できる	FOCUS+ 2 (1h) 不定詞/動名詞/比較	①ワークシートを用いて、be動詞/一般動詞/進行形/助動詞について理解する
		(知及技) 買い物の表現を理解できる (思判表力) スキットを考え、行うことができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 買い物の表現を理解し、やりとりを実際に行うことができる (主学) スキット等に参加し、自身の考えや気持ちを話して伝えようとしている	COMMUNICATE+ 2 (1h) 買い物の場面で、客と店員とのやり取り	①ワークシートを用いて、買い物の場面でのやりとりについて学習する ②店員役とお客さん役に分かれ、スキットを行う

		(知及技) 道案内の表現を理解できる (思判表力) スキットを考え、行うことができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 道案内の表現を理解し、やりとりを実際に行うことができる (主学) スキット等に参加し、自身の考えや気持ちを話して伝えようとしている	COMMUNICATE+ 1 (1h) 道案内	①ワークシートを用いて、道案内の場面でのやりとりについて学習する ②スキットを行う
留意点 引継ぎ等	年間を通して、ALTとのコミュニケーション活動を行う 英語検定の取り組み及び調べ学習においては、タブレット端末のアプリケーションを活用する				

令和8年度 高等学部1年 I課程 外国語科 論理・表現I 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部1年 I課程		Amity English Logic and Expression I (開隆堂)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 実際に英語を用いた言語活動を通して、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを表現できる力を養う。 (学・人) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
		(知及技) 中学校で学習した基本的な奈文構造や文法事項を理解できる (思判表力) 身の回りのさまざまなことについて、自分の経験や考えを伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 中学校で学習した基本的な奈文構造や文法事項を理解し、活用している (思・判・表) 身の回りのさまざまなことについて、自分の経験や考えを話して伝えようとしている (主学) 身の回りのさまざまなことについて、自分の経験や考えを話して伝えようとしている	Pre-Lesson 1～4 1 身の回りにあるものの英語 2 いろいろな品詞 3 文の種類 4 文のなりたちと文構造	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④be動詞・一般動詞の現在形を使い、会話したり、書いたりする ⑤好きなスポーツや科目などについて対話したり、自己紹介したりする
		(知及技) 現在時制を使った文を理解できる (思判表力) 好きなことやものについて聞いたり読んだりしながら、自分の考えを伝えている (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 現在時制を使った文を理解し、活用している (思・判・表) 好きなことやものについて聞いたり読んだりしながら、自分の考えを話して伝えている (主学) 好きなことやものについて聞いたり読んだりしながら、自分の考えを話して伝えようとしている	Lesson 1 自己紹介をしよう 現在形	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④現在時制を使い、会話したり、書いたりする ⑤自分の好きなことやものについて紹介する
		(知及技) 過去時制を使った文を理解できる (思判表力) 過去の出来事について、考えや気持ちを話して伝えることができる (主学)積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 過去時制を使った文を理解し、4技能において活用している (思・判・表) 過去の出来事について、考えや気持ちを話して伝えている (主学) 過去の出来事について、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson2 昨日何をした？ 過去形	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④過去時制を使い、会話したり、書いたりする ⑤過去の出来事について紹介したり、説明する
		(知及技) Lesson 2までに学んだ文法事項を理解できる	(知・技) Lesson 2までに学んだ文法事項を理解し、4技能において活用している	Action! Part 1 友だちの好きなものを聞いてみよう	①ワークシートを用いて、現在時制や過去時制について理解する ②友だちの好きなものについてインタビューし、その内容を発表する。
		(知及技) 進行形を使った文を理解できる (思判表力) 今していることや過去のある時点にしていたことについて、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 進行形を使った文を理解している (思判表力) 今していることや過去のある時点にしていたことについて、考えや気持ちを話して伝えることができる (主学) 今していることや過去のある時点にしていたことについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 3 今、何してる？ 進行形	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④進行形を使い、会話したり、書いたりする ⑤今していることや過去のある時点にしていたことについて紹介・説明する

1 学 期	13	(知及技) 未来を表す表現を使った文を理解できる (思判表力) 時間がたつと変化するものや夏休みの予定などについて、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 動名詞を理解し、4技能において活用している (思・判・表) 時間がたつと変化するものや夏休みの予定などについて、考えや気持ちを話して伝えている (主学) 時間がたつと変化するものや夏休みの予定などについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 4 花粉症について？ 未来を表す表現	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④未来を表す表現を使い、会話したり、書いたりする ⑤時間がたつと変化するものや夏休みの予定などについて紹介する
		(知及技) ファストフード店で使ういろいろな表現を理解できる	(知・技) ファストフード店で使ういろいろな表現を理解し、4技能において活用できる	Scene1 ファストフード店に行こう	①ワークシートを活用して、ファストフード店で使ういろいろな表現を理解する ②ファストフード店で使ういろいろな表現を使い、会話したり、書いたりする
				Break Time1 Crossword Puzzle	
		(知及技) 助動詞 (can, may) を使った文を理解できる (思判表力) 将来の自分に手紙を書くにあたって、自分の考えを書いて伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 助動詞 (can, may) を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) 将来の自分に手紙を書くにあたって、自分の考えを書いて伝えている (主学) 将来の自分に手紙を書くにあたって、自分の考えを書いて伝えようとしている	Lesson 5 手伝ってくれる？ 助動詞 (can, may)	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④助動詞 (can, may) を使い、会話したり書いたりする ⑤将来の自分に手紙を書く
		(知及技) 助動詞 (must, should) を理解できる (思判表力) 守らなければならないルールについて、自分の考えを伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 助動詞 (must, should) を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) 守らなければならないルールについて、自分の考えを話して伝えている (主学) 守らなければならないルールについて、自分の考えを話して伝えようとしている	Lesson 6 浅草寺に行こう 助動詞 (must, should)	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④助動詞 (must, should) を使い、会話したり、書いたりする ⑤守らなければならないルールについて発表する
		(知及技) Lesson 6までに学んだ文法事項を理解できる	(知・技) Lesson 6までに学んだ文法事項を理解している	Action! Part 2 富士山に登ろう	①ワークシートを活用して、Lesson 6までに学んだ文法事項を理解する ②山登りの際の注意点について、得た情報や自分の感想や意見などを話して伝える
		(知及技) 現在完了形 (完了・結果, 経験) を使った文を理解できる (思判表力) 過去に予定したこととその結果, これまでに経験したことについて、自分の考えを伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 現在完了形 (完了・結果, 経験) を使った文を理解している (思・判・表) 過去に予定したこととその結果, これまでに経験したことについて、自分の考えを伝えている (主学) 過去に予定したこととその結果, これまでに経験したことについて、自分の考えを伝えようとしている	Lesson 7 漢字を学ぶ秘けつ 現在完了形 (完了・結果, 経験)	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④現在完了形 (完了・結果, 経験) を使い、会話したり、書いたりする ⑤過去に予定したこととその結果, これまでに経験したことについて、自分の考えを伝える
		(知及技) 現在完了形 (完了・結果, 経験) を使った文を理解できる (思判表力) これまで継続してきたことやその様子について、自分の考えを伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 現在完了形 (完了・結果, 経験) を使った文を理解している (思・判・表) これまで継続してきたことやその様子について、自分の考えを伝えている (主学) これまで継続してきたことやその様子について、自分の考えを伝えようとしている	Lesson 8 秋葉原ですごい！ 現在完了形 (継続, 現在完了進行形)	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④現在完了形 (継続, 現在完了進行形) を使い、会話したり、書いたりする ⑤これまで継続してきたことやその様子について、自分の考えを伝える
		(知及技) 自分が紹介したいものを伝える Show & Tellの方法を理解できる	(知・技) 自分が紹介したいものを伝える Show & Tellの方法を理解している	Step Up1 プレゼンテーションをしよう	①ワークシートを用いて、Show & Tellの方法を学ぶ ②自分で紹介したいものについての自分の考えを伝える
		(知及技) 受動態を使った文を理解できる (思判表力) 好きな本や作品について、自分の考えを伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 受動態を使った文を理解している (思・判・表) 好きな本や作品について、自分の考えを伝えている (主学) 好きな本や作品について、自分の考えを伝えようとしている	Lesson 9 お手製のパン 受動態	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④受動態を使い、会話したり、書いたりする ⑤好きな本や作品について、自分の考えを伝える

2 学 期	14	(知及技) 比較級や最上級を使った文を理解できる (思判表力) 友だちや家族について、自分の考えを紹介することができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 比較級や最上級を使った文を理解している (思・判・表) 友だちや家族について、自分の考えを紹介している (主学) 友だちや家族について、自分の考えを紹介しようとしている	Lesson 10 ギネスに挑戦！ 比較（比較級、最上級）	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④比較（比較級、最上級）を使い、会話したり、書いたりする ⑤友だちや家族について、自分の考えを紹介する
		(知及技) 同等比較や倍数比較を使った文を理解できる (思判表力) 訪れたい国について、日本と比較した場合の特徴を伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを	(知・技) 同等比較や倍数比較を使った文を理解している (思・判・表) 訪れたい国について、日本と比較した場合の特徴を伝えている (主学) 訪れたい国について、日本と比較した場合の特徴を伝えようとしている	Lesson 11 大きなお弁当 比較（同等比較、倍数比較）	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④比較（同等比較、倍数比較）を使い、会話したり、書いたりする ⑤友だちや家族について、自分の考えを紹介する
		(知及技) Lesson 11までに学んだ文法事項を理解できる	(知・技) Lesson 11までに学んだ文法事項を理解している	Action! 3 「いちばん」当てクイズを作ろう	①ワークシートを活用して、オリジナルクイズを作成する ②Lesson 11までに学んだ文法事項を使い、会話したり、書いたりする ③オリジナルのクイズを作成するためにペアやグループで話し合った内容や表現を伝える
		(知及技) 道案内で使ういろいろな表現を理解できる	(知・技) 道案内で使ういろいろな表現を理解している	Scene 2 道案内をしよう	①ワークシートを活用して、道案内で使ういろいろな表現を学ぶ ②道案内での多様な状況を想定しながら、自分の意思を伝える
				Break Time2 Tongue Twisters	
		(知及技) 動名詞を使った文を理解できる (思判表力) 好きなことについて、自分の考えを伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 動名詞を使った文を理解している (思・判・表) 好きなことについて、自分の考えを伝えている (主学) 好きなことについて、自分の考えを伝えようとしている	Lesson 12 アイドル最高！ 動名詞	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④動名詞を使い、会話したり、書いたりする ⑤好きなことについて、自分の考えを伝える
		(知及技) to不定詞（名詞的用法, It is ~ to ...）を使った文を理解できる (思判表力) 将来の自分にとって必要なことについて、自分の考えを伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) to不定詞（名詞的用法, It is ~ to ...）を使った文を理解している (思・判・表) 将来の自分にとって必要なことについて、自分の考えを伝えている (主学) 将来の自分にとって必要なことについて、自分の考えを伝えようとしている	Lesson 13 備えあれば... to不定詞（名詞的用法, It is ~ to ...）	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④to不定詞（名詞的用法, It is ~ to ...）を使い、会話したり、書いたりする ⑤将来の自分にとって必要なことについて、自分の考えを伝える
		(知及技) Lesson 13までに学んだ知識を基に、パラグラフの構成を理解できる	(知・技) Lesson 13までに学んだ知識を基に、パラグラフの構成を理解している	Step Up 2 パラグラフライティングをしよう	①ワークシートを活用しながら、Lesson 13までに学んだ知識を基に、パラグラフの構成を理解する ②トピックセンテンスとサポートセンテンスの区別を意識しながら、適切に英文を配置する
		(知及技) to不定詞（副詞的用法, 形容詞的用法）を理解できる (思判表力) 最近訪れた場所とその目的について、自分の考えを伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) to不定詞（副詞的用法, 形容詞的用法）を理解している (思・判・表) 最近訪れた場所とその目的について、自分の考えを伝えている (主学) 最近訪れた場所とその目的について、自分の考えを伝えようとしている	Lesson 14 何に使うもの？ to不定詞（副詞的用法, 形容詞的用法）	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④to不定詞（副詞的用法, 形容詞的用法）を使い、会話したり、書いたりする ⑤最近訪れた場所とその目的について、自分の考えを伝える
		(知及技)分詞（現在分詞, 過去分詞）を理解できる (思判表力) 自分の友だちや家族、持ち物について自分の考えを伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 分詞（現在分詞, 過去分詞）を理解している (思・判・表) 自分の友だちや家族、持ち物について自分の考えを伝えている (主学) 自分の友だちや家族、持ち物について自分の考えを伝えようとしている	Lesson 15 あの子は誰？ 分詞（現在分詞, 過去分詞）	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④分詞（現在分詞, 過去分詞）を使い、会話したり、書いたりする ⑤自分の友だちや家族、持ち物について自分の考えを伝える
		(知及技)みやげ店で使ういろいろな表現を理解できる	(知・技) みやげ店で使ういろいろな表現を理解している	Scene 3 おみやげを買おう	①ワークシートを活用して、みやげ店で使ういろいろな表現を学ぶ ②みやげ店での多様な状況を想定しながら、自分の意思を伝える

3 学 期	8			Break Time	
		(知及技)関係代名詞（主格，目的格）を理解できる (思判表力) 自分が考えた特別な製品や大切な持ち物について，自分の考えを伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど，コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 関係代名詞（主格，目的格）を理解している (思・判・表) 自分が考えた特別な製品や大切な持ち物について，自分の考えを伝えている (主学) 自分が考えた特別な製品や大切な持ち物について，自分の考えを伝えようとしている	Lesson 16 工場見学に行こう 関係代名詞（主格，目的格）	①ワークシートを活用して，本文読解を行う ②本文の内容を捉え，文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え，文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④関係代名詞（主格，目的格）を使い，会話したり，書いたりする ⑤自分が考えた特別な製品や大切な持ち物について，自分の考えを伝える
		(知及技)Lesson 16までに学んだ文法事項を理解できる	(知・技) Lesson 16までに学んだ文法事項を理解している	Action!4 日本のおみやげをプレゼントしよう	①ワークシートを活用しながら，Lesson 16までに学んだ文法事項を使い，会話したり，書いたりする ②日本からのお土産について説明するスキットを演じる
	8	(知及技)関係代名詞（what）を使った文を理解できる (思判表力) 興味があることや忘れられないことについて，自分の考えを伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど，コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 関係代名詞（what）を使った文を理解している (思・判・表) 興味があることや忘れられないことについて，自分の考えを伝えている (主学) 興味があることや忘れられないことについて，自分の考えを伝えようとしている	Lesson 17 あの日の思い出 関係代名詞（what）	①ワークシートを活用して，本文読解を行う ②本文の内容を捉え，文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え，文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④関係代名詞（what）を使い，会話したり，書いたりする ⑤興味があることや忘れられないことについて，自分の考えを伝える
		(知及技)関係副詞を使った文を理解できる (思判表力) おすすめの場所や好きな月について，自分の考えを伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど，コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 関係副詞を使った文を理解している (思・判・表) おすすめの場所や好きな月について，自分の考えを伝えている (主学) おすすめの場所や好きな月について，自分の考えを伝えようとしている	Lesson 18 おすすめの旅行先 関係副詞	①ワークシートを活用して，本文読解を行う ②本文の内容を捉え，文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え，文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④関係副詞を使い，会話したり，書いたりする ⑤おすすめの場所や好きな月について，自分の考えを伝える
		(知及技)Lesson 18までに学んだ知識を基に，ディバートの方法を理解できる	(知・技) Lesson 18までに学んだ知識を基に，ディバートの方法を理解している	Step Up 3 ミニディバートをしよう	①ワークシートを活用しながら，Lesson 18までに学んだ知識を基に，ディバートの方法を理解する ⑤国内旅行と海外旅行のどちらがよいかについての自分たちの考えを伝えている
		(知及技)仮定法過去を使った文を理解できる (思判表力) 行ってみたい時代について，自分の考えを伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど，コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 仮定法過去を使った文を理解している (思・判・表) 行ってみたい時代について，自分の考えを伝えている (主学) 春休みに行きたい場所について，自分の考えを伝えようとしている	Lesson 19 もしも私が… 仮定法過去	①ワークシートを活用して，本文読解を行う ②本文の内容を捉え，文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え，文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④仮定法過去を使った文を理解する ⑤行ってみたい時代について，自分の考えを伝える
		(知及技)接続詞を使った文を理解できる (思判表力) 春休みに行きたい場所について，自分の考えを伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど，コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 接続詞を使った文を理解している (思・判・表) 春休みに行きたい場所について，自分の考えを伝えている (主学) 春休みに行きたい場所について，自分の考えを伝えようとしている	Lesson 20 お出かけするなら？ 接続詞	①ワークシートを活用して，本文読解を行う ②本文の内容を捉え，文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え，文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④接続詞を使った文を理解する ⑤春休みに行きたい場所について，自分の考えを伝える
		(知及技)Lesson 20までに学んだ文法事項を理解できる	(知・技) Lesson 20までに学んだ文法事項を理解している	Action! 5 お悩み相談室	①ワークシートを活用しながら，Lesson 20までに学んだ文法事項を理解する ⑤悩んでいる友だちへのアドバイスを伝える
		(知及技)メールの書き方を理解できる	(知・技) メールの書き方を理解している	Scene 4 メールを書こう	①ワークシートを活用して，メールの書き方を理解する ②いろいろな状況に即して，自分の意思を伝える
				Break Time 4 English Riddles	

令和8年度 高等部1年（I課程） 家庭科 家庭基礎 年間指導計画

6

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	高等部2学年		高等学校家庭基礎/第一学習社／他

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身につけるようにする。 （思判表力）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 （学・人）様々な人々と協同し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	（知及技）「ホームプロジェクト」の意義と実施方法について理解する。 （学・人）生活の中から課題を見出し、個人単位で主体的に計画を立てて問題の解決できる。	（知・技）「ホームプロジェクト」の意義と実施方法について理解している。 （主学）生活の中から課題を見出し、個人単位で主体的に計画を立てて問題の解決しようとしている。 ・課題提出 （家庭基礎の授業全体を通じて行う）	家庭科の学び方ー学習から実践へ ・ホームプロジェクトとは	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
	4	（知及技）食事の役割を認識し、食が心身を育むうえでも大切なものであることを理解する。 （思判表力）人間の体の生理的周期を知り、なぜ朝食をきちんととる必要があるかを考える。 （学・人）日常の食生活を振り返り、健康や生活習慣に直結する食事について学ぶ意欲を高める。	（知・技）食が食事の役割を認識し、食が心身を育むうえでも大切なものであることを理解している。 （思・判・表）人間の体の生理的周期を知り、なぜ朝食をきちんととる必要があるかを考えている。 （主学）日常の食生活を振り返り、健康や生活習慣に直結する食事について学ぶ意欲を高めている。	5章 食生活をつくる 第1節 人の一生と食事	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
	4	（知及技）健康の維持・増進、体の成長のために必要な食事摂取基準について理解する。 （思判表力）食品群別摂取量のめやすについて理解し、自分に必要な栄養素を考える。	（知・技）健康の維持・増進、体の成長のために必要な食事摂取基準について理解している。 （思・判・表）食品群別摂取量のめやすについて理解し、自分に必要な栄養素を考えることができる。	第2節 栄養と食品 ・五大栄養素 ・4つの食品群	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
2学期	5	（知及技）食中毒にはどのような種類があるかを知り、食品の取り扱い、手の清潔、台所や調理器具の衛生などの面での注意事項について理解する。 （思判表力）食品表示、栄養表示を通して内容を読みとり、身体状況に応じた食品を選択できる。 （学・人）食品添加物の用途を理解するとともに、食品に含まれている食品添加物の名称・使用目的などを調べ、購入に際しての選択法を身につける。	（知・技）食中毒にはどのような種類があるかを知り、食品の取り扱い、手の清潔、台所や調理器具の衛生などの面での注意事項について理解している。 （思・判・表）食品表示、栄養表示を通して内容を読みとり、身体状況に応じた食品を選択できるようにする。 （主学）食品添加物の用途を理解するとともに、食品に含まれている食品添加物の名称・使用目的などを調べ、購入に際しての選択法を身につけている。	第3節 食生活の安全のために	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
	5	（知及技）食品の選択・計量・器具の扱い、および包丁の使い方、野菜の切り方など調理の基本技術を習得する。 （思判表力）1日3食のバランスがとれた食事計画を考える。 （学・人）安全と衛生に気をつけて調理実習を行う。	（知・技）食品の選択・計量・器具の扱い、および包丁の使い方、野菜の切り方など調理の基本技術を習得している。 （思・判・表）1日3食のバランスがとれた食事計画を考えることができる。 （主学）安全と衛生に気をつけて調理実習を行うことができる。 ・調理実習	第4節 食生活をデザインする	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
	4	（知及技）日本各地に見られる特徴的な住まいを比較し、住まいは、条件の異なる地域の気候や風土に応じてつくられたことを理解する。 （思判表力）災害や家庭内事故の原因について知り、住まいの安全対策を考える。 （学・人）住環境が生活に大きな影響を与えることを理解し、衛生的な室内を保つための掃除ができる。	（知・技）日本各地に見られる特徴的な住まいを比較し、住まいは、条件の異なる地域の気候や風土に応じてつくられたことを理解する。 （思・判・表）災害や家庭内事故の原因について知り、住まいの安全対策を考える。 （主学）住環境が生活に大きな影響を与えることを理解し、衛生的な室内を保つための掃除ができる。	7章 住生活をつくる 第1節 人の一生と住まい 第2節 住生活の計画と選択	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
3学期	4	（知及技）家庭の生活を支える収入と支出の運営など、家計の管理について理解する。 （思判表力）生涯を見通した経済計画を立てるには、リスクへの対応策も必要であることについて考える。	（知・技）家庭の生活を支える収入と支出の運営など、家計の管理について理解できる。 （思・判・表）生涯を見通した経済計画を立てるには、リスクへの対応策も必要であることについて考えることができる。	8章 経済生活を作る 1節 私たちの暮らしと経済	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
	5	（知及技）販売方法、支払い方法が多様であることを知り、購入時に適切な判断が必要であることを理解する。 （思判表力）消費者被害の事例を通して、消費者被害の状況を理解し、消費者被害が起こる原因を考え、対策を考える。 （学・人）消費者として適切な意思決定のもとに権利を行使し、責任ある消費行動を取っていこうという態度を養う。	（知・技）販売方法、支払い方法が多様であることを知り、購入時に適切な判断が必要であることを理解できる。 （思・判・表）消費者被害の事例を通して、消費者被害の状況を理解し、消費者被害が起こる原因を考え、対策を考えることができる。 （主学）消費者として適切な意思決定のもとに権利を行使し、責任ある消費行動を取っていこうという態度を身につける。	2節 消費者問題を考える	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
留意点 引継ぎ 等	生徒の実態や理解度に合わせ、内容を柔軟に対応する。 年間を通して、手洗い等の衛生管理、清掃活動に取り組む。				

令和8年度 高等部 1年（ I 課程 ） 情報科 年間指導計画

単位数 ／ 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部 1年		高等学校 情報 I

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 （思判表力）事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 （学・人）情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	（知及技） ・SNSの利便性について具体的に理解できるようにする。 ・コミュニケーションにおけるインターネットの特性を理解できるようにする。 ・情報社会とは何かについて理解できるようにする。 ・メディアの種類と情報の特性を理解できるようにする。 ・情報セキュリティを高めるためにどのような方法があるか理解できるようにする。 ・個人で取り組む情報セキュリティ対策について理解できるようにする。 ・個人情報や知的財産権，産業財産権は法律によって扱い方が定められていることを理解できるようにする。 ・著作物，著作権，著作者人格権，著作隣接権について理解できるようにする。 ・情報通信技術の発達による社会の変化や新たな課題について理解できるようにする。 （思判表力） ・SNSの長所・短所について例をあげて説明できるようにする。 ・スマートフォンやSNSの活用について考えることができるようにする。 ・情報の特性を観点に分けて説明することができるようにする。 ・どのような状態において情報セキュリティ上のリスクがあるかを判断できるようにする。 ・リスクに備える方法を適切に表現できるようにする。 ・知的財産権や産業財産権に含まれる権利にはどのようなものがあるか，具体例とともに表現することができるようにする。 ・場面に応じて著作物をどのように活用できるか判断することができるようにする。 ・情報通信技術によって豊かになった社会を持続するためにどうすればよいか考え，表現することができるようにする。 （学・人） ・SNSの長所・短所について例をあげて説明できるようにする。 ・スマートフォンやSNSの活用について考えることができるようにする。 ・情報の特性を観点に分けて説明することができるようにする。 ・どのような状態において情報セキュリティ上のリスクがあるかを判断できるようにする。 ・リスクに備える方法を適切に表現できるようにする。 ・知的財産権や産業財産権に含まれる権利にはどのようなものがあるか，具体例とともに表現することができるようにする。 ・場面に応じて著作物をどのように活用できるか判断することができるようにする。 ・情報通信技術によって豊かになった社会を持続するためにどうすればよいか考え，表現することができるようにする。	（知・技） ・SNSの利便性について具体的に理解しようとしている。 ・コミュニケーションにおけるインターネットの特性を理解している。 ・情報社会とは何かについて理解している。 ・メディアの種類と情報の特性を理解している。 ・情報セキュリティを高めるためにどのような方法があるか理解している。 ・個人で取り組む情報セキュリティ対策について理解している。 ・個人情報や知的財産権，産業財産権は法律によって扱い方が定められていることを理解しようとしている。 ・著作物，著作権，著作者人格権，著作隣接権について理解しようとしている。 ・情報通信技術の発達による社会の変化や新たな課題について理解している。 （思・判・表） ・SNSの長所・短所について例をあげて説明している。 ・スマートフォンやSNSの活用について考えようとしている。 ・情報の特性を観点に分けて説明している。 ・どのような状態において情報セキュリティ上のリスクがあるかを判断しようとしている。 ・リスクに備える方法を適切に表現している。 ・知的財産権や産業財産権に含まれる権利にはどのようなものがあるか，具体例とともに表現している。 ・場面に応じて著作物をどのように活用できるか判断しようとしている。 ・情報通信技術によって豊かになった社会を持続するためにどうすればよいか考え，表現している。 （主学） ・SNSの長所・短所について例をあげて説明している。 ・スマートフォンやSNSの活用について考えようとしている。 ・情報の特性を観点に分けて説明している。 ・どのような状態において情報セキュリティ上のリスクがあるかを判断しようとしている。 ・リスクに備える方法を適切に表現している。 ・知的財産権や産業財産権に含まれる権利にはどのようなものがあるか，具体例とともに表現している。 ・場面に応じて著作物をどのように活用できるか判断している。 ・情報通信技術によって豊かになった社会を持続するためにどうすればよいか考え，表現している。	【単元1】 情報社会とわたしたち 「情報社会を見渡してみよう」 ①SNSの普及と情報モラル ②情報社会とは ③大切な情報を守るために ④情報社会を支える法律 ⑤著作権に関する法律 ⑥情報通信技術で変わる社会	【単元1】 情報社会とわたしたち 「情報社会を見渡してみよう」 ・ワークシート ・実習 ・検索・話し合い ・Fomsテスト，ワークシート ・ブレンストーミングとKJ法で問題を発見しよう ・情報の整理・分析を通して解決策を検討し，問題解決に向けた提案をプレゼンする ・発表したことをレポートにまとめる

2 学 期	14	(知及技) ・それぞれのメディアの特徴について理解できるようにする。 ・ネットワーク上のコミュニケーションサービスの種類と特徴を理解できるようにする。 ・ソーシャルメディアの活用方法と注意点を理解できるようにする。 ・情報を伝えるときに大切なデザインの基本について理解できるようにする。 ・情報を伝える手段であるポスター、Webによる表現の特徴を理解できるようにする。 ・色についての基礎知識を理解できるようにする。 ・情報デザインが人や社会に果たす役割を理解できるようにする。 ・問題の発見、解決のための情報収集の手法について理解できるようにする。 ・相互評価・自己評価・改善の方法について理解できるようにする。	(知及技) ・それぞれのメディアの特徴について理解している。 ・ネットワーク上のコミュニケーションサービスの種類と特徴を理解している。 ・ソーシャルメディアの活用方法と注意点を理解している。 ・情報を伝えるときに大切なデザインの基本について理解している。 ・情報を伝える手段であるポスター、Webによる表現の特徴を理解している。 ・色についての基礎知識を理解している。 ・情報デザインが人や社会に果たす役割を理解している。 ・問題の発見、解決のための情報収集の手法について理解している。 ・相互評価・自己評価・改善の方法について理解している。	【単元2】「コミュニケーションと情報デザイン」 第1節 メディアとコミュニケーション ①コミュニケーションとメディアの変遷 ②コミュニケーション手段の多様化 ③インターネット上のコミュニケーションの特性 ④ソーシャルメディアの活用と注意点 第2節 情報デザイン ①デザインの基本を見てみよう ②情報デザイン ③情報を伝えるさまざまな手段 ④誰にとってもわかりやすい情報デザインの工夫 ⑤情報デザインの流れ	【単元2】「コミュニケーションと情報デザイン」 第1節 メディアとコミュニケーション 第2節 情報デザイン ・ワークシート ・実習 ・検索・話し合い ・Formsテスト、ワークシート ・文化祭のポスター作り 1 ポスターを研究しよう 2 ポスターを企画しよう 3 ポスターを制作しよう 4 自己評価から改善につなげよう
		(思判表力) ・効果的なスライドの表現を考えることができるようにする。 ・他の発表を適切に評価し改善案を考えることができるようにする。 ・コミュニケーションにおいて気をつけるべき点について、具体的な例をあげて説明できるようにする。 ・ソーシャルメディアが社会に与える影響を考えることができるようにする。 ・実際の場面で、どのようなコミュニケーション手段を用いればよいかを判断することができるようにする。 ・ソーシャルメディアの活用法について、発信者・受信者の双方の立場に立って考えることができるようにする。 ・身近にあるポスターを使って情報を伝えるためのデザインの工夫について考えることができるようにする。 ・ユニバーサルデザイン、ユーザビリティの視点から、改善案を提案し、表現することができるようにする。	(思判表力) ・効果的なスライドの表現を考えることができる。 ・他の発表を適切に評価し改善案を考えることができる。 ・コミュニケーションにおいて気をつけるべき点について、具体的な例をあげて説明することができる。 ・ソーシャルメディアが社会に与える影響を考えることができる。 ・実際の場面で、どのようなコミュニケーション手段を用いればよいかを判断することができる。 ・ソーシャルメディアの活用法について、発信者・受信者の双方の立場に立って考えることができる。 ・身近にあるポスターを使って情報を伝えるためのデザインの工夫について考えることができる。 ・ユニバーサルデザイン、ユーザビリティの視点から、改善案を提案し、表現することができる。		
		(学・人) ・インターネットの登場によるコミュニケーションのあり方の変化について、主体的に自分の考えを深めることができるようにする。 ・ソーシャルメディアが社会に与える影響について調べ、考えを深めることができるようにする。 ・ソーシャルメディアの利便性と問題点を正しく理解し、よりよい活用法を探ろうとすることができるようにする。 ・表現の違いによってどのように印象が変わるかにについて考えようとすることができるようにする。 ・身近なポスターやWebサイトから、情報を伝えるための工夫を見つけようとするすることができるようにする。 ・ユニバーサルデザインやユーザビリティに配慮してデザインの工夫を考えようとすることができるようにする。 ・評価と振り返りの重要性について主体的に考えようとすることができるようにする。	(主学) ・インターネットの登場によるコミュニケーションのあり方の変化について、主体的に自分の考えを深めることができる。 ・ソーシャルメディアが社会に与える影響について調べ、考えを深めることができる。 ・ソーシャルメディアの利便性と問題点を正しく理解し、よりよい活用法を探ろうとすることができる。 ・表現の違いによってどのように印象が変わるかにについて考えようとすることができる。 ・身近なポスターやWebサイトから、情報を伝えるための工夫を見つけようとすることができる。 ・ユニバーサルデザインやユーザビリティに配慮してデザインの工夫を考えようとすることができる。 ・評価と振り返りの重要性について主体的に考えようとすることができる。		
8		(知及技) ・アナログとデジタルの特徴を理解できるようにする。 ・2進法による表現と情報量の単位について理解できるようにする。 ・文字や音をデジタル化する手順を標準化、量子化、符号化を含めて理解できるようにする。 (思判表力) ・数を2進法、10進法、16進法で表現することができるようにする。 ・動画を圧縮する方法について考察できるようにする。	(知及技) ・アナログとデジタルの特徴を理解している。 ・2進法による表現と情報量の単位について理解している。 ・文字や音をデジタル化する手順を標準化、量子化、符号化を含めて理解している。 (思判表力) ・数を2進法、10進法、16進法で表現することができる。 ・動画を圧縮する方法について考察している。	【単元2】「コミュニケーションと情報デザイン」 第3節 情報のデジタル化 ①デジタルデータと2進法 ②文字・音のデジタル化のしくみ ③画像のデジタル化のしくみ ④動画のデジタル化のしくみ	【単元2】「コミュニケーションと情報デザイン」 第3節 情報のデジタル化 ・ワークシート ・実習 ・検索・話し合い ・Formsテスト、ワークシート - 実習 コンピュータを使わずに情報科学を学んでみよう 1 文字を数であらわしてみよう 2 絵を数であらわしてみよう 3 身近な題材でデータ圧縮をしてみよう

		(学・人) ・データの種別を主体的に区別できるようにする。 ・デジタル化や2進法に関心を持てるようにする。 ・動画のデジタル化のしくみに関心を持ち、実習に主体的に取り組めるようにする。	(主学) ・データの種別を主体的に区別しようとしている。 ・デジタル化や2進法に関心を持とうとしている。 ・動画のデジタル化のしくみに関心を持ち、実習に主体的に取り組もうとしている。		
24		(知及技) ・コンピュータのしくみについて理解できるようにする。 ・ハードウェアの役割について理解できるようにする。 ・プログラムが実行される流れを理解できるようにする。 ・CPUで行われる計算の特徴について理解できるようにする。 ・コンピュータは決められたアルゴリズムの通りに命令を実行していることを理解できるようにする。 ・コンピュータ内蔵の機器にプログラムが組み込まれていることを理解できるようにする。 ・Scratchを用いたプログラムの基本構造やプログラムの変数と処理の流れについて理解できるようにする。 ・効率のよいプログラミングの考え方、構造化とオブジェクト指向の考え方について理解できるようにする。 (思判表力) ・作業効率が上がる方法について考えることができるようにする。 ・プログラム処理のようすを表現することができるようにする。 ・効率よく結果を出すために、条件や目的に合った簡潔でわかりやすいアルゴリズムについて考察できるようにする。 ・アルゴリズムをフローチャートでわかりやすく表現できるようにする。 ・プログラムとデータの関係について考察できるようにする。 (学・人) ・話し合いに主体的に参加できるようにする。 ・コンピュータについての知識を深める。 ・CPUの機能を主体的に調べることができるようにする。 ・普段の生活の中から、フローチャートであらわす手順やアルゴリズムを表現する図法について調べることができるようにする。 ・さまざまなプログラミング言語について関心を持ち、その特徴について調べることができるようにする。 ・Scratchでプログラムを組むことに主体的に取り組もうとしている。 ・プログラムをよりよくするための工夫について主体的に考えることができるようにする。	(知及技) ・コンピュータのしくみについて理解している。 ・ハードウェアの役割について理解している。 ・プログラムが実行される流れを理解している。 ・CPUで行われる計算の特徴について理解している。 ・コンピュータは決められたアルゴリズムの通りに命令を実行していることを理解している。 ・コンピュータ内蔵の機器にプログラムが組み込まれていることを理解している。 ・Scratchを用いたプログラムの基本構造やプログラムの変数と処理の流れについて理解している。 ・効率のよいプログラミングの考え方、構造化とオブジェクト指向の考え方について理解している。 (思判表力) ・作業効率が上がる方法について考えている。 ・プログラム処理のようすを表現することができる。 ・効率よく結果を出すために、条件や目的に合った簡潔でわかりやすいアルゴリズムについて考察している。 ・アルゴリズムをフローチャートでわかりやすく表現することができる。 ・プログラムとデータの関係について考察している。 (主学) ・話し合いに主体的に参加しようとしている。 ・コンピュータについての知識を深めようとしている。 ・CPUの機能を主体的に調べようとしている。 ・普段の生活の中から、フローチャートであらわす手順やアルゴリズムを表現する図法について調べようとしている。 ・さまざまなプログラミング言語について関心を持ち、その特徴について調べようとしている。 ・Scratchでプログラムを組むことに主体的に取り組もうとしている。 ・プログラムをよりよくするための工夫について主体的に考えようとしている。	【単元3】コンピュータとプログラミング 第1節 コンピュータのしくみ ① コンピュータの基本的な構成 ② CPUとメインメモリ ③ CPUの演算のしくみ 第2節 アルゴリズムとプログラム ① ものごとの手順とアルゴリズム ② アルゴリズムを図式化してみよう ③ プログラムとプログラミング言語 ④ プログラムの構造 ⑤ プログラムを改善するときの考え方 ⑥ プログラミングスタイルの変化 第2節 アルゴリズムとプログラム ① ものごとの手順とアルゴリズム ② アルゴリズムを図式化してみよう ③ プログラムとプログラミング言語 ④ プログラムの構造 ⑤ プログラムを改善するときの考え方 ⑥ プログラミングスタイルの変化	【単元3】コンピュータとプログラミング 第1節 コンピュータのしくみ 第2節 アルゴリズムとプログラム ・ワークシート ・実習 ・検索・話し合い ・Formsテスト、ワークシート 実習 ・アルゴリズムでプログラミングの基礎を体験しよう ・身近な手順をフローチャートであらわそう ・Scratchでプログラミングをしてみよう
3学期	18	(知及技) ・情報通信ネットワークの基本的な構成について理解できるようにする。 ・IPアドレス、ドメイン名、プロトコルのしくみやはたらきについて理解できるようにする。 ・サイバー犯罪の種類や被害にあわないためのセキュリティ対策について理解できるようにする。 ・ネットワーク環境について、機器の接続やセキュリティの確認すべきポイントについて理解できるようにする。 (思判表力) ・情報通信ネットワークの基本的な構成について説明できるようにする。 ・サイバー犯罪に対する個人と組織としてのセキュリティ対策について説明できるようにする。 ・LANの接続に必要な機器を正しく選ぶことができるようにする。	(知及技) ・情報通信ネットワークの基本的な構成について理解している。 ・IPアドレス、ドメイン名、プロトコルのしくみやはたらきについて理解している。 ・サイバー犯罪の種類や被害にあわないためのセキュリティ対策について理解している。 ・ネットワーク環境について、機器の接続やセキュリティの確認すべきポイントについて理解している。 (思判表力) ・情報通信ネットワークの基本的な構成について説明することができる。 ・サイバー犯罪に対する個人と組織としてのセキュリティ対策について説明することができる。 ・LANの接続に必要な機器を正しく選ぶことができる。	【単元4】情報通信ネットワークとデータの活用 第1節 情報通信ネットワークのしくみ ① 情報通信ネットワーク ② データ伝送のしくみ～IPアドレスとプロトコル～ ③ データ伝送のしくみ～WWWと電子メール～ ④ 情報セキュリティの重要性～個人認証～ ⑤ 情報セキュリティの重要性～暗号化～	【単元4】情報通信ネットワークとデータの活用 第1節 情報通信ネットワークのしくみ ・ワークシート ・実習 ・検索・話し合い ・Formsテスト、ワークシート 実習 ・データベースを操作してみよう

		(主・人) ・自分の身のまわりにあるネットワーク用の機器について関心を持つことができるようにする。 ・サイバー犯罪にあわないようにするためにどのような対策をとればよいのか考えることができるようにする。 ・情報セキュリティを確保するための技術を知り、情報通信ネットワークを適切に利用することができるようにする。。 ・家庭内LANの利用に関する問題点について主体的に自分の考えを深めることができるようにする。	(主学) ・自分の身のまわりにあるネットワーク用の機器について関心を持っている。 ・サイバー犯罪にあわないようにするためにどのような対策をとればよいのか考えようとしている。 ・情報セキュリティを確保するための技術を知り、情報通信ネットワークを適切に利用しようとしている。 ・家庭内LANの利用に関する問題点について主体的に自分の考えを深めようとしている。	
	留意点 引継ぎ等	教育課程で情報Ⅰが、１～３年に設定されており、３年間で実施することになっている 令和４年度は３単位（１～３年各１単位）、令和５年度は３単位（１～３年各１単位）、令和６年度６単位（１～３年各２単位） 令和６年度は、２年Ⅰ課程とⅡ課程Ａを合同で実施 令和７年度は６単位（１～３年各２単位） 令和８年度は、２年Ⅰ課程と１年Ⅰ課程は、それぞれ単独授業。 ※標準単位２単位（７０時間）で実施する内容を記載している		

令和8年度 高等部1年（Ⅰ課程） 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1学年		自主教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 探究の過程において課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念の形成に努め、探究の意義や価値を理解する。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (学・人) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、より良い社会を実現しようとする態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ・学校や自分自身、友人について知り、自分の役割や長所を実社会実生活における様々な場面で活かすことができる。 (思判表力) ・まわりの状況に応じて適切な行動をとることができる。 (学・人) ・積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度をもつことができる。	(知・技) ・学校や自分自身、友人について知り、自分の役割や長所を実社会実生活における様々な場面で活かしている。 (思・判・表) ・まわりの状況に応じて、適切な行動をとっている。 (主学) 積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。	・自己紹介/他己紹介 ・生徒総会・交流会事前準備 ・レク（バドミントン大会）	・自分自身や友人、先生の理解や交流を深める ・新入生・転入生歓迎会準備
		(知及技) ・身だしなみや就業に対する理解を深めることができる。 ・キャリア週間の内容を理解することができる。 ・校外学習の意義を理解できる。 (思判表力) ・目的の為にによりよい方法を考えることができる。 (学・人) ・実践的な集団行動をしようすることができる。	(知・技) ・身だしなみや就業に対する理解を深めている。 ・キャリア週間の内容を理解しようとする。 ・校外学習に向けた準備ができる。 (思・判・表) ・意見を出し合ってよりよい方法を導き出している。 (主学) ・周りをよく見て合わせて行動している。	・身だしなみ講話 ・就業体験事前学習 ・キャリア教育推進週間 ・実習先見学 ・校外学習	・キャリア週間の取り組み ・事前学習で目的、移動方法、役割を確認する ・行先の目的を知る ・調査、探求活動の実施
		(知及技) ・平和について考えることができる。 (思判表力) ・世の中が平和になるためにどうすべきか考える。 (学・人) ・世界平和に向けた行動につなげることができる。	(知・技) ・平和学習を通して、平和について学ぶ姿勢がある。 (思・判・表) ・平和のために自分ができることを考えている。 (主学) ・他人事でなく、自分の事として行動しようとする。	・平和学習	・平和学習を通して、過去の沖縄戦や世界中で起こっている争いについて調べる
		(知及技) ・過去に経験した行事で身に付けた経験や知識を活用できる。 (思判表力) ・課題を解決するための方法を皆で判断し、優先順位を決めることができる。 (学・人) ・仲間とコミュニケーションを図りながら活動しようすることができる。	(知・技) ・過去の行事を振り返り、自分の考えを伝えている。 ・森川フェスの活動内容を理解している。 (思・判・表) ・森川フェスを楽しむためにどうするか自分の意見をもっている。 ・それぞれの役割を皆で話し合って決めている。 (主学) ・森川フェスの成功に向けて、仲間とコミュニケーションを取りながら主体的に取り組もうとしている。	・森川フェス事前事後学習 1	・森川フェス企画、運営
2 学期	27	(知及技) ・衛生や栄養に気を付けて調理することができる。 ・販売に必要な接客ができる ・洗濯やアイロンがけを正しく行うことができる (思判表力) ・販売活動を計画、実施することで企画力を高める。 ・状況に応じて必要な行動を考えて行うことができる (学・人) ・生活に必要な技能を身に付けることができる	(知・技) ・衛生や栄養に気を付けて調理している ・販売に必要な接客を心がけている。 ・洗濯やアイロンがけを正しく行っている。 (思・判・表) ・販売活動を計画、実施することで企画力を高める。 ・状況に応じて必要な行動を考えて行っている (主学) ・生活に必要な技能を進んで身に付けようとしている	・調理実習と栄養学習 ・販売実習(校内・校外) ・生活実習	・調理を通して栄養を学ぶ ・販売活動の企画や運営 ・販売実習の利益の使い方(例：卒業パーティー費用に充当)などを考える ・洗濯とアイロンがけを学ぶ
		(知及技) ・過去に経験した行事で身に付けた経験や知識を活用できる。 (思判表力) ・課題を解決するための方法を皆で判断し、優先順位を決めることができる。 (学・人) ・仲間とコミュニケーションを図りながら活動しようすることができる。	(知・技) ・過去の行事を振り返り、自分の考えを伝えている。 ・森川フェスの活動内容を理解している。 (思・判・表) ・森川フェスを楽しむためにどうするか自分の意見をもっている。 ・それぞれの役割を皆で話し合って決めている。 (主学) ・森川フェスの成功に向けて、仲間とコミュニケーションを取りながら主体的に取り組もうとしている。	・森川フェス事前事後学習 2	・森川フェス企画、運営
		(知及技) ・産業教育フェアの出展者や商品について学習することができる。 ・校外学習について情報を集めることができる。 (思判表力) ・集団の中で判断して行動することができる。 (学・人) ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・産業教育フェアの出展者や商品について学習しようとしている。 ・校外学習先について調べようとする。 (思・判・表) ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 (主学) ・周りを意識した行動をしようとする。	・産業教育フェア見学 ・校外学習 ・実習先見学	・産業教育フェアを実際に見て学ぶ ・校外学習事前学習 ・行先の目的を知る ・調査、探求活動の実施
3 学期	18	(知及技) ・院内生徒の作品を鑑賞し良さを知ることができる。 (思判表力) ・自分の課題を発見し、目標を決めることができる。 ・情報を集めながら、校外学習の計画をたてることができる。 (学・人) ・規律や社会とのつながりを感じることができる。	(知・技) ・自分と他人の感性の違いを理解しようとする。 (思・判・表) ・自分をしっかりと分析し、改善しようとする。 (主学) ・お互いの作品を鑑賞し、みんなで協力して展示会の準備をしようとする。 ・自分で判断し責任をもって行動しようとしている。	・校外学習 ・キャリアパスポート見直しと振り返り ・くらしとお金(消費者教育) ・ハートアート展	・校外学習の企画、実施、振り返り ・暮らしとお金の関わりについて学習する。(外部人材の活用) ・ハートアート展に向けた作品準備と鑑賞
		(知及技) ・卒業を祝う会(卒業パーティー)の意義を理解することができる。 (思判表力) ・卒業生の立場になって、贈る言葉などを考え、文章にすることができる。 (学・人) ・卒業パーティーで企画、運営で周りの意見を尊重したり、自分の意見を適切に表現することができる。	(知・技) ・卒業を祝う会や卒業することの意味を理解している。 (思・判・表) ・自分なりに、祝う気持ちを表現できている。 (主学) ・それぞれの役割を皆で決め、卒業式に向け取り組んでいる。	・卒業パーティー ・おもてなし	・卒業パーティーに関する取り組み
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1年（Ⅰ課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部1年		無し

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることを理解し、行動の仕方を身につける。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、相互の意見の一致を図ったり、意思決定できるようにする。 (学・人) 生徒の障害の状態や特性等を考慮し、望ましい集団活動を通して生活経験を広げ、社会性を育む。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) ・学級での役割を果たすことができる。 (思判表力) ・自分と学級の目標を決めることができる。 (学・人) ・学級で自己の役割を振り返ることができる。	(知・技) ・他者と協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・自分と学級の課題を発見しようとする。 (主学) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・始業式 ・入学式 ・新入生転入生歓迎会	・掲示物や時間割作成 ・学期の目標決め ・新入生転入生との交流、企画、運営
		(知及技) ・災害時の避難方法を知ることができる。 ・生徒会の活動内容を理解することができる。 (思判表力) ・避難経路の判断ができる。 ・学校生活を充実させるために何が必要か考えることができる。 (学・人) ・集団の中で命を守る行動ができる。 ・自分だけでなく、皆のことも考えることができる。	(知・技) ・火災発生時の避難方法を学ぼうとしている。 ・年間の活動内容がわかる。 (思・判・表) ・自分で考えて判断しようとしている。 ・学校を楽しむ為に、自分の意見をもつ。 (主学) ・まわりの人に合わせて行動しようとしている。 ・学校の課題等を自らの問題として考えようとする。	・火災避難訓練 ・生徒総会	・避難経路、避難方法の事前学習 ・生徒総会の企画、実施
		(知及技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解する。 ・校外学習について情報を集めることができる。 ・学期の反省をすることができる。 (思判表力) ・目的の為にによりよい方法を考えることができる。 ・集団の中で判断して行動することができる。 (学・人) ・実践的な集団行動ができる。 ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義が理解できる。 ・校外学習先について調べようとする。 ・学期の振り返りをする。 (思・判・表) ・意見を出し合ってよりよい方法を導き出している。 ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 (主学) ・まわりをよく見て合わせて行動しようとしている。	・不審者対応訓練 ・終業式	・自身の身の守り方などを学習する ・学期末反省
		(知及技) ・行事の意義を理解し、成功に向けて頑張る。 (思判表力) ・参加方法を考え、皆と協力して取り組む。 (学・人) ・行事に積極的に参加する。	(知・技) ・行事の成功に向けて知恵を出し合う。 (思・判・表) ・役割分担を相談して取り組もうとする。 (主学) ・自分たちが主役であるという自覚をもつ。	・森川フェス1	・森川フェスに向けて、それぞれの役割に責任を持たせる。
2 学期	15	(知及技) ・集団の中での役割を把握することができる。 (思判表力) ・目標を決定することができる。 (学・人) ・自己実現に向け、課題を改善することができる。	(知・技) ・協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・目標を設定しようとしている。 (主学) ・学級集団とより良く関わろうとしている。	・始業式	・学期の目標決め
		(知及技) ・行事の意義を理解し、成功に向けて頑張る。 (思判表力) ・参加方法を考え、皆と協力して取り組む。 (学・人) ・行事に積極的に参加する。	(知・技) ・行事の成功に向けて知恵を出し合う。 (思・判・表) ・役割分担を相談して取り組もうとする。 (主学) ・自分たちが主役であるという自覚をもつ。	・森川フェス2	・森川フェスに向けて、それぞれの役割に責任を持たせる。
		(知及技) ・少年犯罪について考えることができる。 (思判表力) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 (学・人) ・安全に身を守る方法などを身につける。	(知・技) ・少年犯罪について考えようとしている。 (思・判・表) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 (主学) ・危ないことに巻き込まれない意識をもつようにする。	・薬物乱用防止教室	・県内と県外の現状を知る。
		(知及技) ・校外学習について情報を集めることができる。 (思判表力) ・集団の中で判断して行動することができる。 ・学期を振り返り自己評価できる。 (学・人) ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・校外学習先について調べようとする。 (思・判・表) ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 ・しっかり学期の振り返りをしようとする。 (主学) ・周りを意識した行動をしようとする。	・終業式	・学期末反省
3 学期	8	(知及技) ・院内生徒の作品を鑑賞し良さを知ることができる。 (思判表力) ・自分の課題を発見し、目標を決めることができる。 (学・人) ・院内生徒の作品に触れ、交流を図ることで所属感を感じることができる。	(知・技) ・自分と他人の感性の違いを理解しようとする。 (思・判・表) ・自分をしっかりと分析し、改善しようとする。 (主学) ・お互いの作品を鑑賞し、みんなで協力して展示会の準備をしようとする。	・始業式 ・ハートアート展	・新年の目標 ・ハートアート展に向けた作品準備と鑑賞
		(知及技) ・卒業式における身なりや振る舞いを理解することができる。 (思判表力) ・3年生への門出の言葉を考える事ができる。 (学・人) ・3年生を祝福する気持ちで式に参加することができる。	(知・技) ・卒業式の意義や参加の仕方について理解しようとしている。 (思・判・表) ・3年生への門出の言葉を考えようとしている。 (主学) ・3年生を祝福する気持ちで参加しようとしている。	・修了式 ・卒業式	・自分自身の一年を振り返る。 ・卒業式の会場設営、歌の練習。 ・卒業する先輩への門出の言葉や感謝の思いを伝える。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1年（Ⅱ課程Aグループ） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	1年Ⅱ課程A		ひとりだちするための国語

目標：（知・技）知識及び技能（思・判・表）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。 (思判表力) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うことができる。 (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度をもつ。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	37	(知及技) 本にはいろいろな種類があることを知り、幅広く読書に親しむことができる。(言葉の特徴や使い方) (思判表力) 本から必要な情報を収集し、内容の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。(A聞くこと・話すこと) (学・人) 本に触れることで、必要な知識や情報を得ることに役立つことができる。	(知・技) 本の分類番号と配置について理解している。 (思・判・表) 仲間と情報を共有しようとする。 (主学) 様々な図書の分類をよもうとしている。	オリエンテーション 図書館利用	・国語の授業の進め方や内容について確認する。 ・図書館利用のマナーについて司書の説明を話を聞きマナーの確認をする。 ・本の場所や情報収集の方法を学ぶ。
		(知及技) 文には形容詞や接続詞などに分類できることを知る。 (思判表力) 様子や行動を表す語句、接続詞など、語彙を豊かに増やしていく。 (学・人) 形容詞や接続詞など、語句の役割を理解し、文章を書くことができる。	(知・技) 文には形容詞や接続詞などに分類できることを知ろうとする。 (思・判・表) 様子や行動を表す語句、接続詞など、語彙を豊かに増やそうとしている。 (主学) 形容詞や接続詞など、語句の役割を理解し、文章を書くとしている。	言葉について学習しよう 文の成り立ち：品詞（名詞・動詞・形容詞・形容動詞・副詞、接続詞、助詞・感動詞）	・品詞の役割を知ろう ・分類しよう ・文を組み立てよう
		(知及技) 常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 (思判表力) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、熟語を用いたり文章を整えることができる。 (学・人) 絵を見て想像したことを基に文を書く。	(知・技) 常用漢字を書き、文や文章の中で使おうとする。 (思・判・表) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、熟語を用いたり、文章を整えようとする。 (主学) 絵を見て想像したことを基に文を書くとする。	辞書をつかおう1 「漢字の広場」	・漢字のなりたち ・熟語の構成
2学期	42	(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。 (思判表力) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。 (学・人) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えようとする態度をもつ。	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打っている。 (思・判・表) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。 (主学) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えようとしている。	いろいろなことを書いてみよう	・日記を書こう ・作文を書こう ・手紙を書こう ・履歴書を書こう
		(知及技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとする。 (思判表力) 相手に伝えるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。 (学・人) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとする態度をもつ。	(知・技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して自己紹介をしている。 (思・判・表) 相手に伝えるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して話している。 (主学) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとしている。	自分のことを伝えよう	・あいさつの仕方を覚えよう ・自分のことを伝えよう ・電話の使い方を覚えよう
		(知及技) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。 (思判表力) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) 相手のことを思いながら伝えたいことを表現することができる。	(知・技) 時候の挨拶や書き方の決まりを守り、文字の大きさや読みやすさを意識して書こうとしている。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、ビジネスマナーを守り伝えたいことを明確に書こうとしている。 (主学) 相手のことを思いながら伝えたいことを表現している。	「年賀状を書こう」 ～文書マナーを知る～	・年賀状の目的を知る。 ・新年の挨拶や決まり事などのマナーを守る。 ・お世話になった方へ文面を考える。
3学期	26	(知及技) 常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 (思判表力) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、熟語を用いたり文章を整えることができる。 (学・人) 絵を見て想像したことを基に文を書く。	(知・技) 常用漢字を書き、文や文章の中で使おうとする。 (思・判・表) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、熟語を用いたり、文章を整えようとする。 (主学) 絵を見て想像したことを基に文を書くとする。	辞書をつかおう2 「漢字の広場」	・漢字のなりたち ・熟語の構成
		(知及技) 接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。 (思判表力) 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。 (学・人) 接続する語句の役割、段落の役割について理解しようとする態度をもつ。	(知・技) 接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 (思・判・表) 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。 (主学) 接続する語句の役割、段落の役割について理解しようとしている。	いろいろな物を読んでみよう	・折り込み広告を読んでみよう ・新聞を読んでみよう ・詩を読んでみよう ・本を読んでみよう
		(知及技) 他の新聞を参考にしながら、自分の特徴を考えることができる。 (思判表力) 相手に伝えるように、簡潔な言葉を選ぶことができる。 (学・人) 他の人の新聞を読んで、感想を述べることができる。	(知・技) 他の新聞を参考にしながら、自分の特徴を考えようとする。 (思・判・表) 相手に伝えるように、簡潔な言葉を選ぶようとしている。 (主学) 他の人の新聞を読んで、感じたことを発表または書こうとする態度が見られる。	自分新聞を作ろう	・自分のことを伝えよう ・簡潔な言葉を見つけよう ・感想発表
留意点 ／留意等					

令和8年度 高等部 1学年（Ⅱ課程A） 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	高等部1年(Ⅱ課程A)		「ひとりだちするための社会」(日本教育研究出版)/ 自作プリント/図書教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 身近な公共施設や社会の仕組みを、体験や視覚的な資料を通して理解し、自分の生活を支える存在として認識することができる。 (思判表力) 社会の出来事やルールを自分自身の生活に照らし合わせ、「自分ならどうするか」を考え、自分なりの方法で伝える力を養うことができる。 (学・人) 地域の人や場所に親しみをもち、社会の中で自分らしく安心して過ごすためのマナーや関わり方を前向きに学ぼうとすることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 身近な公共施設や公共物の種類や役割を理解し、それらが自分たちの生活を支えていることや、税金などで支えられていることに気付くことができる。 (思判表力) 公共施設等の利用の仕方を調べ、「だれもが気持ちよく使うため」のルールやマナーの必要性について考え、自分にできる工夫や活用法を自分の言葉で表現することができる。 (学人) 公共施設等を大切にしようとする態度をもち、学習したマナーやきまりを意識して、社会の一員として主体的に生活に生かすことができる。	(知・技) 身近な公共施設や公共物の種類や役割を理解し、それらが自分たちの生活を支えていることや、税金などで支えられていることに気付くことができる。 (思判表) 公共施設等の利用の仕方を調べ、「だれもが気持ちよく使うため」のルールやマナーの必要性について考え、自分にできる工夫や活用法を自分の言葉で表現している。 (主学) 公共施設等を大切にしようとする態度をもち、学習したマナーやきまりを意識して、社会の一員として主体的に生活に生かそうとしている。	1 公共施設の役割 ① 役所 ② 銀行や郵便局 ③ 病院や保健所 ④ 仕事や生活の相談 ⑤ ライフイベント ＊この中から生徒の実態に合わせて取り組ませる	○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。 「困ったときに助けてくれる場所（交番、案内所、多目的トイレなど）」を具体的に知ることを重視する
		(知及技) 歴史上の主な事象や沖縄独自の歩みを手掛かりに、世の中の様子の変化を理解することができる。 (思判表力) 世の中の様子や人物の働き、文化遺産などの共通点や変化に着目して、人々の願いや暮らしの変化を考え、自分の言葉で表現することができる。 (学人) 平和な社会の尊さを感じ、身近な友達や周りの人と穏やかに過ごすために、自分にできることを考えることができる。	(知・技) 歴史上の主な事象や沖縄独自の歩み（琉球王国、万国津梁の精神、沖縄戦など）を手掛かりに、世の中の様子の変化を理解することができる。 (思判表) 世の中の様子や人物の働き、文化遺産などの共通点や変化に着目して、人々の願いや暮らしの変化を考え、自分の言葉で表現することができる。 (主学) 平和な社会の尊さを感じ、身近な友達や周りの人と穏やかに過ごすために、自分にできることを考えようとしている。	2 日本・沖縄の歴史 ① 日本の歴史年表（石器にも触れる） ② 近代以降の沖縄 ③ 第二次世界大戦を経て ④ 平和な社会をめざす	○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。 ●平和学習（沖縄戦の歴史）と関連づけながら、歴史を学ぶ意義や平和とは何か考え、表現することができるようにする。 ●校外学習で行く博物館の学習も連動して行う。
2 学期	30	(知及技) 地図帳や地球儀を活用して、大陸や海洋との位置関係を正しく読み取ることができる。 (思判表力) 大陸や海洋、近隣諸国との位置関係に着目して、海洋に囲まれた島国としての特色を多角的に考え、日本の国土が持つ良さや課題を自分の言葉で表現することができる。 (学人) 我が国の国土の特色に関心を持ち、世界との関わりについて自分なりの考えをまとめ、意欲的に学ぶことができる。	(知・技) 地図帳や地球儀を活用して、大陸や海洋との位置関係を正しく読み取ることができる。 (思判表) 大陸や海洋、近隣諸国との位置関係に着目して、海洋に囲まれた島国としての特色を多角的に考え、日本の国土が持つ良さや課題を自分の言葉で表現することができる。 (主学) 我が国の国土の特色に関心を持ち、世界との関わりについて自分なりの考えをまとめ、意欲的に学ぶことができる。	3 私たちの国土 ① 世界の中の日本 ② 日本の国土 ③ 自然災害を防ぐ	○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。
		(知及技) 社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解することができる。 (思判表力) 社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、自分の言葉で表現することができる。 (学人) 社よりよい社会を作るためのきまりの大切さを実感し、身近な課題の解決に自分事として関わるることができる。	(知・技) 社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解できている。 (思判表) 社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、自分の言葉で表現できている。 (主学) よりよい社会を作るためのきまりの大切さを実感し、身近な課題の解決に自分事として関わるできている。	4 私たちと民主政治 ① 政治の仕組み ② 日本国憲法 ③ 税金 ④ 社会保障	
3 学期	16	(知及技) 世界の国々の生活や文化、習慣の違いについて、資料などを活用して正しく理解することができる。 (思判表力) 外国の人々の暮らしと日本を比較し、文化の共通点や違いが生じる理由を考え、自分の言葉で表現することができる。 (学人) 世界には様々な文化があることを知り、互いの違いを否定せずに受け入れ、社会の一員として大切にすることができる。	(知・技) 世界の国々の生活や文化、習慣の違いについて、資料などを活用して正しく理解することができる。 (思判表) 外国の人々の暮らしと日本を比較し、文化の共通点や違いが生じる理由を考え、自分の言葉で表現できている。 (主学) 世界には様々な文化があることを知り、互いの違いを否定せずに受け入れ、社会の一員として大切にできている。	5 世界と日本のつながり ① 国際協力 ② 環境保全 ③ サステイナブル（持続可能）な社会をめざして	○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。
留意点 引継ぎ等		・異学年生徒同士での学習となるため、既習事項が異なる。実態に応じた学習ができるよう配慮する。 ・教師が作成したスライドを参照したり、iPadやPCなどを使用して調べ学習や発表活動などを行う。 ・生徒の興味関心を高められるように、歴史資料や関連動画などを活用する。 ・学校行事や学部行事での学習活動と関連付けさせながら取り組む。 ・評価方法：授業態度、発問評価、提出課題、ファイル（ワークシート）提出			

令和 8 年度 高等部 1 年（Ⅱ課程A） 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	高等部 1 年	白金広朗	ひとり立ちするための算数・数学 高校数学 I

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。(高等部) (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を高める。(高等部) (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことをふりかえり、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を高める。(高等部)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知及技) ・頭の中で、折りたたんだ紙に穴を空けるイメージがある。 ・予算内にどんなものが購入できるか知る。 (思判表力) ・頭の中で折り曲げた紙の展開図を描ける。 ・予算内におさめるためにどのメニューを選ぶ事ができるのか考える。 ・おつりの小銭を少なくする方法を考える。 (学・人) ・お金の支払いをするための工夫をしようとしている	(知・技) ・頭の中で、折りたたんだ紙に穴を空けたとき、穴の位置がどこかわかる。 ・予算内にどんなものを購入できるか理解することができる。 (思・判・表) ・展開図の仕組みを理解して想像することができる。 ・予算内におさめるためにどのメニューを選ぶか考えることができる。 ・おつりの小銭を少なくする方法を考える事ができる。 (主学) ・お金の支払い方の工夫をしようとしている。	コグトレ 金銭 表とグラフ	- 想像する（穴の位置） - おつりのある払い方 - 予算を考えよう - 好きな食べ物調べ - 休日に遊園地にでかけよう
		(知・技)データを自分なりに処理する。 (思・判・表)適切なグラフ、手法などを選択して分析する。 (主学)データの傾向を把握して事象の特徴をつかもうとする。	(知・技)階級、度数などの用語を理解し、データを度数分布表にまとめ、ヒストグラムをかくことができる。 (思・判・表)箱ひげ図を書くことができる。 (主学)データの代表値から、その特性や傾向などを考察しようとする。	第5章 データの分析 第1節 データの分析 統計とグラフ 代表値	- 表やグラフが多いので、生徒には書かせずにICT機器を用いて画面やスクリーンに映し、視覚的にわかりやすく説明する。 - ワークシートを用いて、自分の身の回りの統計をとらせる。 - 調べたものを発表し、関心を高める。
2 学期	41	(知・技)集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 (思・判・表)事象の考察に活用できるようにする。 (主学)筋道を立てて、物事を説明する。	(知・技)共通部分、和集合、空集合について理解している。 (思・判・表)ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察することができる。 (主学)集合について、それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。	第4章 集合と論証 第1節 集合と論証 集合と要素、命題 いろいろな証明法	生徒は最低限の要点だけをノートに書きながら問題を解く。
3 学期	27	(知・技)三角比の基本性質を用いて計算する。 (思・判・表)問題文から図を描き、値を求める。 (主学)自分なりの解法を身に付ける。	(知・技)直角三角形において、正弦・余弦・正接を求めることができる。 (思・判・表)測量の問題に三角比を活用することができる。 (主学)直接測ることのできない距離を求めることに興味をもつ。	第3章 三角比 第1節 三角比 三角比の利用 相互関係	- 図形が多いので、生徒には書かせずにICT機器を用いて画面やスクリーンに映し、視覚的にわかりやすく説明する。 - 例や例題はノートに書かえず、説明を聞くことに集中させる。 - 生徒は三角形の簡略図をノートに書きながら問題を解く。

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	高等部 1 年～ 3 年		くらしに役立つ理科（東洋館出版社）他

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする（高等部 1 ～ 2 段階階）。 （思・判・表）観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。（高等部 1 ～ 2 段階階）。 （学・人）自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う（高等部 1 ～ 2 段階階）。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	（知・技） てこの規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高2段階Cア） （思・判・表） てこの規則性について調べる中で、主にそれらの仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだすことができる。（高2段階Cイ） （学・人） てこの規則性について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとすることができる。（高2段階Cウ）	（知・技） ・力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを理解しようとしている。 （思・判・表） ・てこの規則性について、問題を思いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 （主・学） ・てこの規則性についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。	【てこの規則性】 ・てこの原理について ・てこの利用	・てこを使ってできるだけ小さい力で重い物を持ち上げるにはどうしたらよいか予想し、調べる方法を考える。 ・てこが水平につり合うときにはどのようなきまりがあるのか調べる。 ・てこを利用した道具にはどのようなものがあるかを調べる。
	14	（知・技） 人の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高2段階階Aア） （思・判・表） 人の体のつくりと働きについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身に付けることができる。（高2段階階Aイ） （学・人） 人の体のつくりと働きについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身に付けることができる。（高2段階階Aウ）	（知・技） ・体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解しようとしている。 ・食べ物、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されることを理解しようとしている。 （思・判・表） ・人や他の動物の体のつくりと働きについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・人や他の動物の体のつくりと働きについて、実験、調査などを行い、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 （主・学） ・人や他の動物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・人や他の動物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【人の体のつくりと働き】 ・呼吸 ・消化・吸収 ・血液循環 ・主な臓器の存在	・人や他の動物が生きていくためには何が必要かを考える。 ・唾液の働きを調べる方法を考え、調べる。 ・実験結果を基に、唾液がデンプンを変化させたと言えるのか考え、教師と一緒にまとめる。 ・消化と吸収の仕組み、消化管と消化液の働きを調べ教師と一緒にまとめる。 ・動物の消化管のつくりを捉える。 ・肝臓の働きについて、調べ教師と一緒にまとめる。 ・呼吸の働きについて予想し、吐き出した空気と吸う空気はどのように違うのかについて、石灰水や酸素センサーで調べる。 ・結果を基に、呼吸について考え、教師と一緒にまとめる。 ・肺の働きと呼吸の仕組みを調べ、教師と一緒にまとめる。 ・動物の呼吸の仕組みを捉える。 ・全身の血流の流れと働きについて教師と一緒にまとめる。 ・腎臓の働きを調べ、教師と一緒にまとめる。 ・人の体内にある臓器について、それぞれの名称や体内の位置を確かめる。
	15	（知・技） 植物の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高2段階Aア） （思・判・表） 植物の体のつくりと働きについて調べる中で、主にそれらの働きや関わりについて、より妥当な考えをつくりだす力を身に付けることができる。（高2段階Aイ） （学・人） 植物の体のつくりと働きについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身に付けることができる。（高2段階Aウ）	（知・技） ・植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることを理解しようとしている。 ・根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解しようとしている。 ・植物の体のつくりと働きについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 （思・判・表） ・植物の体のつくりと働きについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・植物の体のつくりと働きについて、実験などを行い、体内の水などの行方及び葉で養分をつくる働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 （主・学） ・植物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・植物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【植物と体のつくりと水の通り道】 ・でんぷんのでき方 ・水の通り道	・植物を着色した水に入れて、植物の体の水の通り道を調べ、まとめる。 ・でんぷんのでき方 ・植物がよく成長する日光が必要な理由を考え、葉に日光が当たるとでんぷんができるか調べる実験を行う。 ・葉まで運ばれた水が葉などから出ているか調べ、水は水蒸気になって葉から出ていくことをまとめる。 ・気孔を観察する。 ・植物がよく成長するために日光が必要な理由を考え、葉に日光が当たるとでんぷんができるか調べる方法を考える。 ・実験結果を基に、葉に日光が当たるとでんぷんができるか考え、まとめる。 ・植物の水の通り道や日光との関わりについて、学んだことをまとめる。
2 学期	15	（知・技） 生命の連続性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高1 段階Aア） （思・判・表） 生命の連続性について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身に付けることができる。（高1 段階Aイ） （学・人） 生命の連続性について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身に付けることができる。（高1 段階Aウ）	（知・技） ・植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを理解しようとしている。 ・植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを理解しようとしている。 ・植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解しようとしている。 （思・判・表） ・植物の発芽や成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・植物の発芽や成長について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 （主・学） ・植物の発芽や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・植物の発芽や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【植物の発芽、成長、結実】 ・種子の中の養分 ・発芽の条件 ・成長の条件 ・植物の受粉・結実 ・植物の受粉・結実	・種子の発芽と温度や空気との関係性を調べる条件を整え、実験を行う。 ・種子が発芽する条件についてまとめる。 ・種子が発芽するときの子葉の働きを調べる。 ・種子が発芽するときの養分についてまとめる。 ・日光と成長、肥料と成長との関係性を調べる実験を行う。 ・日光と成長との関係、肥料と成長との関係についてまとめる。 ・植物の発芽と成長について、学んだことをまとめる。 ・ヘチマやアサガオの花のつくりを調べる。 ・ヘチマやアサガオのおしべの働きを考え、花粉を顕微鏡で観察する。

3 学 期	8	(知・技) 流れる水の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高1段階Bア) (思・判・表力) 流れる水の働きについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。(高1段階Bイ) (学・人) 流れる水の働きについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。(高1段階Bウ)	(知・技) ・流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解しようとしている。 ・川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・流れる水の働きと土地の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・流れる水の働きと土地の変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【流れる水のはたらきと土地の変化】 ・流れる水の働き ・川の上流・下流と川原の石	・水の量を変えて、流れる水の働きを調べる。 ・流れる水の働きについてまとめる。 ・川の写真を見て、気づいたことや疑問に思ったことを話し合う。 ・流れる水の働きが大きくなるのはどのようなときか、予想する。 ・流れる水の量と土地の様子の変化との関係性を調べるための方法を考える。 ・川の上流・下流の川原の石を比較し、それらの違いについて話し合い、まとめる。
	8	(知・技) 土地のつくりと変化についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高2段階Bア) (思・判・表力) 土地のつくりと変化について調べる中で、主にそれらの変化や関係について、より妥当な考えをつくりだすことができる。(高2段階Bイ) (学・人) 土地のつくりと変化について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとすることができる。(高2段階Bウ)	(知・技) ・土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また、層には化石が含まれているものがあることを理解しようとしている。 ・地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・土地のつくりと変化について、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・土地のつくりと変化について、観察、実験、調査などを行い、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・土地のつくりと変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・土地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【土地のつくりと変化】 ・土地の構成物と地層の広がり ・地層のでき方と化石 ・火山の噴火や地震による土地の変化	・崖の様子や資料写真を見て、大地の下がどのようなになっているのか考え、地層についてまとめる。 ・水の働きでできた地層の特徴や火山の働きでできた地層の特徴をまとめる。 ・流れる水の働きによる地層のでき方を予想し、容器に土を流し込むモデル実験を通して調べる。 ・水の働きによる地層のでき方や特徴について、まとめる。 ・化石について知る。 ・火山の働きによる地層のでき方を写真や資料で調べ、まとめる。 ・大地のつくりについて、学んだことをまとめる。 ・地震や火山の噴火による大地の変化について調べる。 ・調べたことを発表し、地震と火山の噴火による大地の変化についてまとめる。 ・地震や火山の噴火による災害や、災害に対する備えについて、調べたり、考えたりする。 ・資料を読んで、地震に関係する言葉の意味や、過去の記録から学んだり後世へ伝えたりする取り組みを知る。 ・資料を読んで、火山の恵みについて捉える。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1年（Ⅱ課程） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	高等部1年Ⅱ課程		MOUSA 1 他

目標：〔知及技〕知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：〔知・技〕知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（〔知及技〕曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、身体表現等の技能を身に付けるようにする。 （〔思判表力〕音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。 （学・人）主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにすることができる。）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期（25）	2	〔知及技〕各学期や年間の予定や、授業の取り組みを知る。 （〔思判表力〕自分のやりたいこと、やってみたいこと、自分ができるとは何かを考え、言葉などで表すことができる。 （学・人）年間の予定を知り、自分の目標を決定し、意欲的に音楽の学習活動に取り組むことができる。）	〔知・技〕各学期や年間の予定や授業の取り組みを知ろうとしている。 （〔思・判・表〕自分のやりたいこと、やってみたいことを考え、自分ができるとは何かを考え、言葉などで表そうとしている。 （主学）年間の予定を理解し、自分の目標を決定し主体的・協働的に音楽の学習活動に取り組もうとしている。	オリエンテーション ・学期や年間の取り組みを知ろう ・自分は何に興味があるのか考えてみよう ・興味のあることや自分の得意なことは何か探してみよう	・学期ごとの取り組みを知り、各学期や年間の目標と計画を立てる。 自分の興味はあることは何か、得意なことは何か、やりたいことは何かを探す。
	7	〔知及技〕曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解することができる。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けることができる。 （〔思判表力〕音色、リズム、速度、テクスチャア、強弱、形式、講成を知覚し、それらの働きを感じながら知覚したことと感受したことに関わりについて考え、演奏することができる。 （学・人）曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習に取り組むことができる。）	〔知・技〕曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解している。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 （〔思・判・表〕音色、リズム、速度、テクスチャア、強弱、形式、講成を知覚し、それらの働きを感じながら知覚したことと感受したことに関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 （主学）曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ハンドクラップアンサンブルに挑戦しよう ボディーパーカッションやCUPSに挑戦しよう	・ハンドクラップアンサンブル「Giocosolo」 ・ボディーパーカッション・CUPS 「Clap, Tap with CUPS!」他
	8	〔知及技〕いろいろな楽器の種類や音色・響きを知ることができる。楽譜を見て旋律楽器や打楽器を演奏することができる。 （〔思判表力〕自分でやりたい楽器やパートを選択し、きれいな音をだすためにどうしたらいいか工夫することができる。 （学・人）自分のパートの練習に主体的に取り組むことができる。）	〔知・技〕楽譜をみて演奏することや音色や響きに気をつけて、旋律楽器や打楽器を演奏しようとしている。 （〔思・判・表〕自分でやりたい楽器やパートを選択し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている、工夫しようとしている。 （主学）いろいろな楽器に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	楽器に触れてみよう、音を鳴らしてみよう	・演奏しやすい楽器から選択。 ・楽器紹介 ・個別練習 ※生徒の実態に応じて取り組む。 トーンチャイム、ドラム、キーボード、鉄琴、木琴、ウクレレ等
	8	〔知及技〕各声部の楽器の音色や伴奏を聴いて音に合わせて演奏することができる。 （〔思判表力〕自分の演奏する部分まで待つことや、合図に合わせて演奏すること、周りの音や順番、状況を把握し、他者と合わせて演奏することについて思いや意図をもつ。 （学・人）他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む、音と合奏できる。）	〔知・技〕各声部の楽器の音色や伴奏を聴いて音に合わせて演奏しようとしている。 （〔思・判・表〕自分の演奏する部分まで待つことや、合図に合わせて演奏すること、周りの音や順番、状況を把握し、他者と合わせて演奏することについて思いや意図をもっている。 （主学）他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	器楽アンサンブルを楽しもう	・海の声 ・小さな恋のうた 他
2学期（27）	9	〔知及技〕曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 （〔思判表力〕鑑賞についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。自分なりに感じたことを言葉等で表現できる。 （学・人）音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。）	〔知・技〕曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解しようとしている。 （〔思・判・表〕音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとする思いを持っている。 （主学）音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	いろいろな曲を聴いてみよう	・鑑賞のルール ・曲の聴き方 ・色々なジャンルの曲を聴く ・ワークシート
	9	〔知及技〕個々が選択した表現方法で、演奏に必要な技能を身に付けることができる。 （〔思判表力〕よりよい表現ができるために創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習に生かすことができる。 （学・人）自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に練習へ取り組むことができる。）	〔知・技〕個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けようとしている。 （〔思・判・表〕よりよい表現ができるように、自分のよいところや課題は何かを知り、思いや意図をもって創意工夫をしている。 （主学）自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に音楽活動へ取り組もうとしている。	自分で選択した表現方法に取り組んでみよう ・目標設定 ・練習 ・振り返り	生徒が個々で選択した表現活動を個別活動で取り組む。 [歌唱] ・発声や音程に気を付けて歌う ・曲をどのように表現したらよいか探る他 [器楽][リズム] ・奏法について ・楽譜の読み方について ・練習 他 [創作] ・創作内容の選定、決定 ・創作活動 他 [ダンス] ・選曲、振り付けの創作 ・練習 他

	9	(知及技) 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 (思判表力) 相手の演奏を聴きながら、自分の担当するパートを他者と合わせるためにどうしたらよいかを考え演奏に生かすことができる。 (学・人) 集団の中でも主体的・協働的に音楽活動に参加できる。	(知・技)他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 相手の演奏を聴きながら、自分の担当するパートを他者と合わせるためにどのようにしたよいかを考え演奏に生かそうとしている。 (主学) 集団の中でも、主体的・協働的に音楽活動に参加しようとしている。	皆で合わせて演奏しよう	個々で選択した表現方法を合わせて、集団活動へつなげる。
3 学 期 (1 8)	14	(知及技) 皆と一緒に演奏できる技能を身に付け、発表することができる。 (思判表力) どの発表形態なら自分は参加できるかを考え、発表方法を工夫しながら、自分が参加できる方法を見つける。 (学・人) 主体的・協働的に発表に参加できる。	(知・技) 皆と一緒に演奏できる技能を身に付け、皆と一緒に発表しようとしている。 (思判表力) どの発表形態なら自分は参加できるかを考え、発表方法を工夫しながら、自分が参加できる方法を見つけようとしている。 (主学) 主体的・協働的に発表に参加しようとしている。	行事に向けて取り組もう ・卒業式 など	行事の内容に合わせて取り組む。
	4	(知・技) 年間で取り組んだことを振り返ることができる。 (思判表力) 自分自身で振り返り、できたこと、頑張ったことなどを考え、言葉で表すことができる。 (学・人) 振り返りを通して、自己評価や他者評価を行うことができる。	(知・技) 年間で取り組んだことを振り返ろうとしている。 (思・判・表) 自分自身で振り返り、できたこと、頑張ったことなどを考え、言葉で表そうとしている。 (主学) 振り返りを通して、自己評価や他者評価を行うおうとしている。	1年を振り返って、まとめ	・学習内容の振り返り ・できたこと、がんばったことなどを自分自身で評価する。 ・他の皆はどうだったか、他のみんなからみて自分はどうかだったかの他者評価 ・ワークシート
留意点 引継ぎ等		・生徒の実態に応じて弾力的に教材を精選して取り組んでいく。 ○儀式・行事の曲（「校歌」「月桃」「いのちのリレー」「時をこえ」「卒業式の歌」等）			

令和8年度 高等部 1～3年(Ⅱ課程) 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒		担当者	
2/70		高等部1～3年(Ⅱ課程)			
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)生徒の実態に応じて、創造的な視点について理解し、発想や構想を工夫し、創造的に表すことができる。 (思判表力)感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などを個に応じた方法で工夫し表現することができる。 (学・人)美術について興味・関心を深め主体的に学習に取り組み、生活や社会に目を向け、美術を愛好する心情を育む。□ □ □			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技) ●形や色彩、材料やひかりなどの働きを理解することができる。 (思判表力) ●美術作品などの良さや美しさを感じとり、作者の心情や表現の意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を広げることができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を培う。	(知・技) ○材料や道具の扱いを理解し、形や色、質感などが感情にもたらす効果を感じることができている。 (思・判・表) ○教科書や映像から、様々な美術作品を鑑賞し、それらの良さを感じ取って、自分の意見や感想を持つことができる。 (主学) ○自らすすんで楽しく創作活動や、鑑賞の活動に取り組もうとしている。	オリエンテーション 『美術を楽しむために』 絵や彫刻など 【描く活動・鑑賞】 『色と形であらわす』	・自分の心の中を見つめたり、気づかなかった自分の考えに気付いたりして、自分の美術を見付けて、表現についてイメージをもつ。 ・教科書を鑑賞しながら、美術の学びの意味や広がりについて考える。 ・様々な画材、モダンテクニックを使って色や形の面白さを楽しむ。
		(知及技) ●材料や用具の特性や活かし方などを身につけ、表したいことに合わせて創意工夫して表すことができる。 (思判表力) ●身近なものを見つめ、感じ取ったことを基に主題を生み出し創意工夫して表現する構想を練ることができる。 (学・人) ●身近なものを描いた作品を鑑賞し、さまざまな表現の工夫を感じ取ることができる。	(知・技) ○形や色、質感などが感情にもたらす効果をもとに、身近なものを全体のイメージで捉えることを理解しようとしている。 (思・判・表) ○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫して構想を練っている。 (主学) ○友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図や工夫などについて考えるなどして、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	絵や彫刻など 【描く活動・鑑賞】 『版で表す』	・身近なものをよく見たり、触ったりして特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。
			(知及技) ●表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かし方を身につけ、意図に応じて表現方法を工夫することができる。 (思判表力) ●造型的なよさや美しさ、表現の糸や工夫などについて考え主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み、創作活動の喜びを味わい、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。	(知・技) ○紅型のなりたちや工程などを知り、配色を考えようとしている。 (思・判・表) ○紅型の材料や用具、配色のきまりなどの特性を生かして表現しようとしている。 (主学) ○地域の伝統工芸について自ら知ろうとし、創作活動や鑑賞の活動に楽しく取り組もうとしている。	デザインや工芸など 【つくる活動・鑑賞】 『地域の伝統工芸・紅型を知る』
		(知及技) ●材料や用具の扱いを身につけ、身近なものをよく見つめ、表したいことに合わせて表現方法を工夫して表すことができる。 (思判表力) ●美術作品などの造型的なよさや美しさを感じ取り作者の心情や表現の意図について見方や感じ方を広げることができる。 (学・人) ●楽しく作品制作や鑑賞の活動に取り組み、よさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。	(知・技) ○材料や道具の扱いを理解し、形や量感などが感情にもたらす効果をもとに、表現を工夫して制作しようとしている。 (思・判・表) ○美術作品を鑑賞し、造型的なよさや美しさを感じ取り作者の心情や表現の意図などについて感想を持ち、記録したり発表しようとしている (主学) ○作品の造形的なよさや美しさを感じたり、表現の意図や工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。	絵や彫刻など 【つくる活動】 『身近なものを立体でとらえる』	・身近なものをよく見て特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・さまざまな彫刻作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。 ・塑像の基本的な技法について学び、作品制作に活かす。

2 学 期	27	(知及技) ●美術作品の表し方や特徴の違いなどを捉え、作者の心情や表現の意図などについて考えることができる。 (思判表力) ●生活の中の美術作品や文化などの良さや美しさを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について感じ方を広げることができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。	(知・技) ○形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や作品の特徴などを基に、作者の心情や表現の意図などをとらえようとしている。 (思・判・表) ○工芸品を見たり、実際に使ってみて造形的な良さや美しさを感じ取り、表現の意図や工夫について考えたり、見方や感じ方を広げることができる。 (主学) ○作品の良さや美しさを感じたり表現の意図や工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。	鑑賞 〔体験・鑑賞する活動〕 『ハートアート展を鑑賞しよう』 『すぐれた美術作品を鑑賞しよう』 『茶道と日本美術』	・ハートアート展を鑑賞し、作者の表現の意図や作品に込めた思いを感じ取り、感じたことや考えたことを話し合ったり、ワークシートに感想を記入する。 ・美術史について学んだり過去の優れた美観作品を教科書やタブレットなどで鑑賞する。 ・タブレット端末やワークシートなどを活用し、作品がつくられた背景や茶道の歴史等について調べたり、調べたことを記入する。 ・実際に季節に合わせた茶道具を使って点前の体験を行う。
		(知及技) ●材料や用具の扱いを身につけ、身近なものをよく見つめ、表したいことに合わせて表現方法を工夫して表すことができる。 (思判表力) ●造形的な良さや美しさ、表現の糸や工夫などについて考え主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる	(知・技) ○意図に応じてアプリの特性を生かし、表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表している。 (思・判・表) ○感じたことや考えたことを基に、主題を生成し、アプリの特性を生かして構成やエフェクトなどを生かし創意工夫して表現しようとしている。 (主学) ○簡単な映像表現の特性を生かした創作活動や鑑賞の活動に主体的に取り組んでいる。	映像メディア表現 『思い出ムービーをつくろう』	・タブレットの動画アプリの基本的な操作方法を知る。 ・学校での日常の印象的な写真をあつめて簡単なムービーを作る。
3 学 期		(知及技) ●色彩やかたち、材料や光などの基本的な働きを理解することができる。 (思判表力) ●造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる	(知・技) ○ワークシートを記入しながら色彩や形などの働きについて理解しようとしている。 (思・判・表) ○美術作品などを鑑賞し、色彩や形、構成などがどのような効果をもたらしているか知ろうとしている。 (主学) ○作品の造形的な良さや美しさを感じたり、表現の意図や工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。	共通事項 『色や形について知ろう』	・ワークシートを利用したり絵の具を混色したりして、色彩や形についての学習を行う。 ・有名な美術作品を鑑賞し、色や形などの働きを見つける。
		(知及技) ●材料や用具の扱いを身につけ、表したいことに合わせて意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。 (思判表力) ●自分が表現したいことや想像したことなどを基に主題を生み出し、構想を創意工夫することができる。 (学・人) ●楽しく作品制作や鑑賞の活動に取り組み、よさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。	(知・技) ○形や色、構成や構図などの特徴などをもとに、表現を工夫しようとしている。 (思・判・表) ○見えないものをあらわした作品の造形的な良さや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) ○美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく見えないものを形や色であらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	共同制作の魅力 〔描く活動・鑑賞〕 『気持ちをあらわす』	・共同制作について学校全体や学年、クラスで意見を出し合い主題を生み出す。 ・材料や用具の特性を生かし、よりよいものになるよう共同で意見を出し合いながら見通しをもって制作する。 ・協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合い、共同制作の素晴らしさを味わう。
留意点 引継ぎ等		※授業計画及び教材をにおける描く活動やつくる活動について、理解度や興味・関心等に合わせ柔軟に対応する。 ※郷土の世界遺産や伝統工芸品の造形的な面白や見方、感じ方等も年間を通し授業内容に取り入れる。 ※年間を通し、多様な作品を味わい、自他の作品に親しむことができるよう、振り返り、鑑賞会、校内展示等を適宜取り入れる。 ※博物館や美術館を活用し、美術作品に親しむ機会を設ける。			

令和 8 年度 高等部 1～3 年（Ⅱ課程A） 保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	高等部 1～3 年		現代高等保健体育(大修館書店)／その他

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (学・人) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる効果があることを発言したり、書いたりしている。 ・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、関わり合うことができる。 (思・判・表) ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた運動強度や回数を考えている。 (主学) 体づくり運動に自主的に取り組もうとしている。	体づくり運動	<例示>体ほぐしの運動 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。 ・ 仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。 〈実生活に生かす運動の計画の行い方の例〉 ○ 健康に生活するための体力の向上を図る運動の計画と実践 ・ 運動不足の解消や体調維持のために、食事や睡眠などの生活習慣の改善も含め、休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むこと。
		(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、言ったり書き出したりしている。 ・ゴールの枠内にシュートをコントロールしたり、ターゲットに向かって投げの力をコントロールしている。 (思・判・表) 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 (主学) 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。	球技	○ターゲット型 ・ ターゲットに向かって力をコントロールしながらボールを投げること。 ・ 仲間と相談をしながら作戦を考えること。 ○ゴール型 ・ ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。 ・ 味方が操作しやすいパスを送ること。 ・ 守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。
		(知及技) 水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 (思判表力) 水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・水泳の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、効率的に泳ぐためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 (思・判・表) 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 (主学) 水の事故防止の心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとしている。	水泳	ア クロール 15～50m程度 ・ 水面上の腕は、ローリングの動きに合わせてリラックスして前方へ動かすこと。 イ 平泳ぎ 15～50m程度 ・ 肩より前で、両手で逆ハート型を描くように強くかくこと。 ・ ブルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの蹴り終わりに合わせて伸び(グライド)をとり、1回のストロークで大きく進むこと。

		(知及技) 健康な生活と疾病の予防について理解することができる。 (思判表力) 熱中症について知り、その予防方法や手当の仕方について理解することができる。 (学・人) 活動に適した環境について答えることができる。	(知・技) 健康は、主体と環境の関わりの中で成り立っていることを理解している。 (思・判・表) 熱中症になりやすい環境について知り、予防方法について答えている。 (主学) 環境が健康に及ぼす影響について考えようとしている。	保健分野 ・健康な生活と疾病予防 ・健康と環境	1 健康の成り立ち 2 調和のとれた生活 3 活動に適する環境 4 熱中症の予防と手当
2 学 期	42	(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・戦術や作戦に応じ、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、言ったり書き出したりしている。 (思・判・表) 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 (主学) 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。	球技	○ゴール型 ・ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。 ・味方が操作しやすいパスを送ること。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。
		(知及技) 武道の楽しさや喜びに触れ、伝統的な考え方やその行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。 (中1段階ア) (思判表力) 武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 武道に進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) 武道の特徴をとらえて基本的な動きを身につけている。 (思・判・表) 武道の学習成果を踏まえて、自己に適した簡単な技能を見付けている。 (主学) 一人一人の違いに応じた動きや役割を大切にしようとしている。	武道	○空手 ・突き、蹴り等の基本的な動き ・上段受け、中段受け、下段受け等の動き ・普及型Ⅰ、Ⅱ
		(知及技) 思春期における体の発達について理解することができる。 (思判表力) 心身の基本的な機能の発達について理解している。 (学・人) 心身の機能の発達と心の健康について実生活と結び付けて取り組むことができる。	(知・技) 思春期は、身長や体重が急速に発育する時期に当たることを理解している。 (思・判・表) 自分自身の心の変化を見つめるとともに、他者との望ましい関係について考えている。 (主学) 望ましい発育・発達のためにどんな生活を送ったらよいかを考え、自己の生活に活かそうとしている。	保健分野 ・心身の機能の発達 ・健康な生活と疾病の予防	1 体の発育・発達 体の各器官はどのように発育・発達するか理解する。 2 呼吸器・循環器の発達 呼吸器・循環器はどのように発達するか理解する。 3 生殖機能の成熟 思春期の体の変化や月経、射精、妊娠は、どんな仕組みで起こるか理解する。 4 性とう向き合うか 性情報への対処について考える。 5 感染症の種類と予防 性感染症を含めた感染症の種類や予防方法について知る。
3 学 期	26	(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 (思・判・表) 球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。 (主学) 互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。	球技	○ネット型 ・サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。 ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。 ・ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすること。

	(知及技) 心身の機能の発達や心身相関について理解することができる。 (思判表力) 心の健康について考えて、よりよいコミュニケーションの方法について理解することができる。 (学・人) ストレスが心身に及ぼす影響について知り、自己にあったストレスへの対処法を身に付けることができる。	(知・技) 心は様々な経験や学習によって発達し、体の健康にも影響することを理解している。 (思・判・表) よりよいコミュニケーションの方法について考え、表現している。 (主学) ストレスへの対処について、実生活に結び付けて考ようとしている。	保健分野 (心の健康)	5 心の発達 心のはたらきについて理解する。 6 社会性の発達 人とのコミュニケーションについて考える。 7 ストレスへの対処 リラクゼーションの方法を身に付ける。
	(知及技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方を知り、安全な行い方を身に付けることができる。 (思判表力) 運動や文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 運動やスポーツの効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方について理解し、安全にきをつけて活動を進めている。 (思・判・表) 運動や文化としてのスポーツの意義についての課題を自分なりに発見し、考えたことを他者に伝えている。 (主学) 運動やスポーツの効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義について積極的に学ぼうとしている。	体育理論	(1) スポーツの文化的な特性や現代のスポーツの発展 (2) 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (3) 豊かなスポーツライフの設計の仕方
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 高等部1～3年（Ⅱ課程A）職業科年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部1～3年生 1年（SH）、2年（UK・HA）、3年（YM）		楽しい職業科 わたしの夢につながる

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技） ・働くことの意義や、将来の職業生活に係る技能やマナーを身に付ける。 （思・判・表） ・将来の進路について考え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。 （学・人） ・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名 （関連教科）	単元・題材の活動内容
1 学期 ～ 3 学期	70	①～②作業 ・職業について理解を深めることができる。（知・技） ・仲間と協力して実習をおこない、お互いの気持ちを表現することができる。（思・判・表） ③～⑤作業 ・作品作り（挿絵の枠型づくり） （知・技）（思・判・表）（学・人） ⑥産業現場に等における実習・販売学習（学・人） ⑦季節毎の野菜や草花の栽培 （知・技）（学・人） ※情報機器の基本操作学習 （知・技）	①作業に必要な知識や技能について知ろうとしている。（知・技） ②自分の役割を理解し、協力して作業に取り組もうとしている。（思・判・表） ③作業工程が分かり、使用する道具の扱い方に慣れようとしている。（知・技） ④安全について気づき、工夫しようとしている。（思・判・表） ⑤作品の製作を通して達成感や働く喜びを感じることができる。（主・学） ⑥進路に関わることに興味を持ち、お金の取り扱いや、接客のマナーを学ぼうとしている。（主・学） ⑦作業内容や手順（作業場の準備、作業工程、片付け、清掃）を理解し取り組もうとしている。（知・技）（主・学） ※情報機器の基本的操作を学習しようとしている。（知・技）	①（木材加工） 共通課題の作成 ②（木材加工） 共通課題の作成 ③（木材加工） 共通課題の作成 ④（木材加工） 共通課題の作成 ⑤（木材加工） 共通課題の作成 ⑥情報機器を使用してお金の計算 ⑦農業 ※情報	①服装、身だしなみについて確認する。報告・連絡・相談について確認し、適切な声の大きさでできるよう練習する。毎時、木工室の約束を確認する。 ②役割分担を決め、協力して作業を行う。 ③作業前に作業内容の確認をする。機械や工具の使用方法を学び繰り返し練習する。 ④機械や工具の危険性を伝え、その都度安全確認を行う。 ⑤けがき、切断、磨き、組み立て、塗装、仕上げ等、一連の作業を通して達成感や働く喜びを享受する。 ⑥働くことの目的について知り、情報機器を使用して具体的な生活場面における計算を行うことができる。 ⑦農作業（土作り、畝立て、元肥）馬鈴薯、レタスなどの冬野菜の植え付け、花壇、ポットへの草花の定植。管理作業（灌水、追肥、摘心、摘花、収穫） ※PCの基本的操作、文字入力、各種ソフトウェア名取り扱い方のスキルの習得や情報モラル、情報セキュリティなどの光と影の学習を行う。 ※各種例文の作成、スキルの定着を図る。 ※キーボードのショートカットキーの習得。
年間を通しての指		・分担区清掃 （学・人）	・協力して分担区の清掃作業に取り組もうとしている。（主・学）	・校内整備	・自分たちの活動範囲である場所の清掃活動を通して身の回りがきれいになる喜びを享受する。
留意点 引継ぎ等		※生徒の体調にあわせて、実習を行い適時休憩を入れる。（無理はさせない） ※プランター栽培は時期を考慮して実施する。 ※機械・工具等を使用する際の生徒の安全管理の徹底。 ※PCのスキルの獲得については、繰り返し指導し達成できたところまでを本人と確認する。 ※評価資料・・・活動の記録、作品等など。			

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	高等部1学年		いちばんわかりやすい家事のきほん大辞典

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付けるようにする。 （思判表力）家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 （学・人）家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	（知及技）自分の成長と家族や家庭生活との関わりが判り、家庭生活が家族の協力によって営まれていることにきづくことができる。 （思判表力）家族とのよりよい関わりについて考え、表現すること。 （知及技）職業・家庭の学習内容を知る。	（知・技）自分の成長を振り返り、将来の生活について考えようとしている。 （思・判・表）家族とのよりよい関わりについて考え、表現しようとしている。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度、ワークシート等	・オリエンテーション 一年間、三年間の授業の流れ ・教科目標の確認	・自分の成長を振り返り、働いて生活する大人になるために、自分が頑張りたいことをワークシートにまとめる。 ・働く意義や働く上で必要な力について知り、家庭内の役割について考えワークシートにまとめる。 ・パワーポイントを用いながら教科の目標や、学習内容を確認する。 ・3年間で身に付けたい目標をたてる。
2学期	15	（知及技）衣服と社会生活との関わりがわかり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。 （思判表力）衣服の選択について考え工夫することができる。 （知及技）目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱について理解し、適切にできること。 （思判表力）目的に応じた縫い方について考え、工夫すること。	（知・技）衣服と社会生活との関わりがわかり、目的に応じた衣服を選択することができる。 （思・判・表）個性を生かす着用や衣服の選択をしようとしている。 （知・技）目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱について身に付けようとしている。 （思・判・表）目的に応じた縫い方について考え、実践しようとしている。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度、完成作品、ワークシート等	・衣服の選択 ・布を用いた製作	①服装、身だしなみについて確認する。 ・セルフ針や補助具を活用しながら個に応じた教材教具を活用する ・学習を繰り返し取り組む ・毎時間目標を確認・評価をする
3学期	7	（知及技）日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができること。 （思判表力）基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現すること。	（知・技）目的、栄養、価格、調理の能率を考えて選択することが大切であることを理解できる。 （知・技）調理実習に用いる食品や調理用具を安全と衛生に留意した取扱い方を理解できる。 （思・判・表）日常食の調理の仕方や調理計画について考え表現できる。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度、完成作品、ワークシート等	食生活 調理の基礎、簡単な調理	・身支度 ・道具の準備 ・計量 ・調理 ・試食、後片付け ・家庭科室のさまりや利用方法を確認する。
留意点 引継ぎ等		年間を通して、手洗い等の衛生管理、清掃活動に取り組む。 調理実習は、感染症対策を行い時期を検討して実施可否を判断する。			

令和8年度 高等部1年 II課程A 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時間	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部1年 II課程A		ドラえもんはじめての英語ドリル 基本の英語表現

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞させる外国語に興味や関心を持ち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。 (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	22	(知及技) 英語であいさつができる。 アルファベットが読める。 食べ物を英語で言うことができる。 (思判表力) 簡単な英語で自己紹介ができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) アルファベットを理解している英語で挨拶している 食べ物の英単語を理解している (思・判・表) 簡単な英語で自己紹介している (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	挨拶・自己紹介・年齢・家族に関する英語 レッスン1-8	歌やゲーム、カード・ワークシートを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・Hello. How are you? ・My name is～. ・I'm from～. ・I'm ～years old. ・How old are you?
		(知及技) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を言うことができる (思判表力) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を理解している (思・判・表) 自分の好きなことや将来のやりたい職業を表現している (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	趣味・食べ物・スポーツ・職業・教科に関する英語 レッスン9-14	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・I like～. ・What is your hobby? ・I want to be～.
		(知及技) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現が英語で言うことができる (思判表力) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う、単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現を理解している (思・判・表) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現を英語でしている (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	曜日、日付、天気、誕生日に関する英語 レッスン15-20	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・Thank you for ～.You are welcome. ・Sorry for～. ・Could you please～? ・May I～? ・Let's～.
2学期	30	(知及技) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する表現を言うことができる (思判表力) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する表現を理解している (思・判・表) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する表現をすることができる。 (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関する英語 レッスン21-27	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・It's ten o'clock/Monday/April/sunny. ・I'm good/Tired. ・She is～/He is～.
		(知及技) 日常生活に関連する表現を言うことができる (思判表力) 日常生活に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) 日常生活に関連する表現を理解している (思・判・表) 日常生活に関連する表現をすることができる。 (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	日常生活に関連する単語や表現 レッスン28-33	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・What's for breakfast? ・Wash the dishes. ・Brush your teeth. ・Take shower.
3学期	18	(知及技) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を言うことができる (思判表力) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を理解している (思・判・表) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現 レッスン34-36	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・I have piano lesson today. ・Take a right at the next light. ・I'll have a cheese burger and a medium orange juice.
留意点 引継ぎ等		・年間を通して、ALTとの交流を図る。特に外国の文化を学ぶ際は、ALTを活用する。 ・カード等を用いて、口頭や文字以外での意思表示もできるようにする。			

令和8年度 高等部 1～3年（Ⅱ課程） 情報科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部 1～3年		なし

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身につけるとともに、情報社会と人との関わりについて理解することができるようにする。 （思判表力）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	（知及技） 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ることができるようにする。[高1段階] （思判表力） 必要な情報が伝わるように効果的なコミュニケーションや問題解決のために、情報を整理したり、目的や意図をもった情報を受け手に対して分かりやすく伝達する。[高1段階] （学・人） 身近にある情報や情報技術を活用することができるようにする。[高1段階]	（知・技） 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ろうとしている。 （思・判・表） 必要な情報が伝わるように効果的なコミュニケーションや問題解決のために、情報を整理したり、目的や意図をもった情報を受け手に対して分かりやすく伝達しようとしている。 （主学） 身近にある情報や情報技術を活用しようとしている。	【単元1】 コンピュータ、iPadの基本的な操作 【単元2】 パソコンを利用した自己紹介	【単元1】 コンピュータ、iPadの基本的な操作 ・タイピング練習 ・Teamsログイン ・サーバーのデータについて ・フォルダ作成、データ量について 【単元2】 パソコンを利用した自己紹介 ・Teamsを使った自己紹介 ・canva 好きなものを集めたコラージュ作成
		（知及技） 身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技能を身に付けることができるようにする。[高1段階] （思判表力） 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて表現し、振り返り、表現を見直すことができるようにする。[高1段階] （学・人） 情報や情報技術を適切に活用することができるようにする。[高1段階]	（知・技） 身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技能を身に付けようとしている。 （思・判・表） 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて表現し、振り返り、表現を見直そうとしている。 （主学） 情報や情報技術を適切に活用しようとしている。	【単元3】文化祭のポスター・チラシなどの作成	【単元3】「文化祭のポスター・チラシなどの作成」 ・ポスターやチラシを作成・工夫（行事に合わせた取り組み） ・画像やフォント、レイアウトなどを工夫 ・作成 ・発表、評価、見直し
2 学期	15	（知及技） 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ることができるようにする。[高1段階] （思判表力） データの収集、整理及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行することができるようにする。[高1段階] （学・人） 身近にある情報や情報技術を活用することができるようにする。[高1段階]	（知・技） 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ろうとしている。 （思・判・表） データの収集、整理及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行しようとしている。 （主学） 身近にある情報や情報技術を活用しようとしている。	【単元4】身近にあるデータをコンピュータで処理してみよう	【単元4】「身近にあるデータをコンピュータで処理してみよう」 ・身近な生活に必要な支出など、年間に必要な金額や季節ごとに変わってくる状況などを数値化し比較する ・数値データを指定された表に入力する ・技能検定
3 学期	7	（知及技） 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ることができるようにする。[高段階] （思・判・表） 身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えようとしている。 （学・人） 情報社会に関わろうとする態度を養うことができるようにする。[高段階]	（知・技） 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ろうとしている。 （思・判・表） 身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えようとしている。 （主学） 情報社会に関わろうとする態度を養うとしている。	【単元5】生活に関わるクレジットカード、電子マネー、キャッシュレス決済の活用	【単元5】「生活に関わるクレジットカード、電子マネー、キャッシュレス決済の活用」 ・情報通信技術の進歩による購入方法の変化に対して適切に対応できるようにする。 ・クレジットカードについての基礎知識 ・電子マネーやキャッシュレス決済などの利用方法 ・安全に利用する方法とトラブル時の対応
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1年（Ⅱ課程Aグループ） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1年Ⅱ課程A		私たちの未来 未来の私たち

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度をもつ。			
学期	時数	ねらい	評価の視点	教材名 「主題名」 【内容項目】	学習活動
1 学期	12	これまでの自分の経験を振り返りながら、心の弱さを乗り越えさせるものとは何か、考える、気づく。	【多面的・多角的に考える】 登場人物の姿や自分の経験から、人の醜さや甘え、それを乗り越える強さや誇りなど、人が悩みながら生きる姿について、考えを深めているか。 【自分ごととして考える】 自分の心の弱さを見つめ、その弱さを乗り越えるために大切にしたいことについて考えているか。	「自分で決める」 「自分らしさを伸ばす」 「新たな発想を生み出す」 「生活をつくる」 「勇気を出す」 【自主、自立、個性の伸長、向上心】 ★教科書 A：自分のこと	・教科書を読む ・自分の経験を振り返る ・考えをまとめる ・討論する ・発表する
		生命の尊さを知り、生命あるものを大切にしようとする気持ちを育てる。	【多面的・多角的に考える】 命を大切にすることはどのようなことか、他者の意見を手がかりに自分の考えを広げようとする意欲をもち、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 戦争を体験した人々の立場に立ち、現在の平和に対する考えを深めている。	「慰霊の日：平和について考える」 【生命の尊さ】	・講話を聞く ・感想を書く
2 学期	15	人と人とがわかり合うために大切なことは何かを考え、行動に移せるようになる。	【多面的・多角的に考える】 相手とわかり合うことについて、他者との関係性や自分への影響などのさまざまな側面から考えているか。 【自分ごととして考える】 これまでに、どんなふうに相手に考えを伝えたり、相手を理解したりしようとしてきたかと、自分を振り返っているか。	「思いやりに応える」 「友情を深める」 「礼儀の大切さ」 「互いに分かり合う」 【相互理解、思いやり、感謝、友情、礼儀】 ★教科書 B：人との関わり	・教科書を読む ・自分の経験を振り返る ・考えをまとめる ・討論する ・発表する
		よりよい集団の一員であるためには、どんな考えが大切なのかについて考え、自分の役割と責任を自覚し、協力して集団生活を向上させようとする判断力を育てる。	【多面的・多角的に考える】 集団の意義と目的を理解しながら役割を果たすことについて、さまざまな立場や見方で考えを深めているか。 【自分ごととして考える】 自分は、集団の中での役割や責任について、どんな考えをもっていたかと自分を振り返っているか。	「決まりに向き合う」 「みんなのために」 「家族のことを考える」 「郷土の伝統を受け継ぐ」 「世界に心を向ける」 「公平に接する」 「働くことの意味」 「集団の一人として」 「日本人としてできること」 【よりよい学校生活、集団生活の充実、公共心、伝統と文化】 ★教科書 C：集団の中で	・教科書を読む ・自分の経験を振り返る ・考えをまとめる ・討論する ・発表する
		友達と互いに理解し、信頼し、助け合おうとする気持ちを育てる。	【多面的・多角的に考える】 「相手」がどのような状況なのか考え、発言する。他の人の意見に触れながら考えを深める。 【自分ごととして考える】 相手という存在に対するイメージを描いたり、その人が参加しやすい方法を考えたりする際に、具体的な場面を想起しながら考えている。	「院内で学ぶ児童生徒と交流しよう」 【友情、信頼】	・カードゲームやボードゲーム等、企画、運営
3 学期	8	人の感動の源にあるものを見つめ、人が、人間の力を越えたものを前に心動かされるその思いを大切にしようとする心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 話し合いを通して、感動する対象や感動する心の在り方は多様であることについて考えているか。 【自分ごととして考える】 これまで自分自身が感動したものや出来事を理由や条件とともに振り返っているか。	「命の尊さ」 「感動を伝える」 「自然を守り抜く」 「志高く生きる」 【生命の尊さ、感動、畏敬の念】 ★教科書 D：輝く命	・作品の鑑賞の仕方を学習する。 ・教科書を読む ・自分の経験を振り返る ・考えをまとめる ・討論する ・発表する
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部1年（Ⅱ課程） 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2/70		1 学年			自主教材
目標：（知・技）知識及び技能（思・判・表）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主・学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知・技）探究の過程において課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念の形成に努め、探究の意義や価値を理解する。 （思・判・表）実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 （学・人）探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、より良い社会を実現しようとする態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	（知・技） ・学校や自分自身、友人について知り、自分の役割や長所を実社会実生活における様々な場面で活かすことができる。 （思・判・表） ・まわりの状況に応じて適切な行動をとることができる。 （学・人） ・積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度をもつことができる。	（知・技） ・学校や自分自身、友人について知り、自分の役割や長所を実社会実生活における様々な場面で活かしている。 （思・判・表） ・まわりの状況に応じて、適切な行動をとっている。 （主・学） ・積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。	・自己紹介/他己紹介 ・生徒総会・交流会事前準備 ・レク（バドミントン大会）	・自分自身や友人、先生の理解や交流を深める ・新入生・転入生歓迎会準備
		（知・技） ・身だしなみや就業に対する理解を深めることができる。 ・キャリア週間の内容を理解することができる。 ・校外学習の意義を理解できる。 （思・判・表） ・目的の為にによりよい方法を考えることができる。 （学・人） ・実践的な集団行動をしようすることができる。	（知・技） ・身だしなみや就業に対する理解を深めている。 ・キャリア週間の内容を理解しようとする。 ・校外学習に向けた準備ができる。 （思・判・表） ・意見を出し合ってよりよい方法を選び出している。 （主・学） ・周りをよく見て合わせて行動している。	・身だしなみ講話 ・就業体験事前学習 ・キャリア教育推進週間 ・実習先見学 ・校外学習	・キャリア週間の取り組み ・事前学習で目的、移動方法、役割を確認する ・行先の目的を知る ・調査、探求活動の実施
		（知・技） ・平和について考えることができる。 （思・判・表） ・世の中が平和になるためにどうすべきか考える。 （学・人） ・世界平和に向けた行動につなげることができる。	（知・技） ・平和学習を通して、平和について学ぶ姿勢がある。 （思・判・表） ・平和のために自分ができることを考えている。 （主・学） ・他人事でなく、自分の事として行動しようとする。	・平和学習	・平和学習を通して、過去の沖縄戦や世界中で起こっている争いについて調べる
		（知・技） ・過去に経験した行事で身に付けた経験や知識を活用できる。 （思・判・表） ・課題を解決するための方法を皆で判断し、優先順位を決めることができる。 （学・人） ・仲間とコミュニケーションを図りながら活動しようすることができる。	（知・技） ・過去の行事を振り返り、自分の考えを伝ええている。 ・森川フェスの活動内容を理解している。 （思・判・表） ・森川フェスを楽しむためにどうするか自分の意見をもっている。 ・それぞれの役割を皆で話し合っている。 （主・学） ・森川フェスの成功に向けて、仲間とコミュニケーションを取りながら主体的に取り組もうとしている。	・森川フェス事前事後学習 1	・森川フェス企画、運営
2 学期	27	（知・技） ・衛生や栄養に気を付けて調理することができる。 ・販売に必要な接客ができる ・洗濯やアイロンがけを正しく行うことができる （思・判・表） ・販売活動を計画、実施することで企画力を高める。 ・状況に応じて必要な行動を考えて行うことができる （学・人） ・生活に必要な技能を身に付けることができる	（知・技） ・衛生や栄養に気を付けて調理している ・販売に必要な接客を心がけている。 ・洗濯やアイロンがけをについて、道具の扱い方を身に身につけている。 （思・判・表） ・販売活動を計画、実施することで企画力を高める。 ・状況に応じて必要な行動を考えて行っている。 （主・学） ・生活に必要な技能を進んで身に付けようとしている	・調理実習と栄養学習 ・販売実習（校内・校外） ・生活実習	・調理を通して栄養を学ぶ ・販売活動の企画や運営 ・販売実習の利益の使い方（例：卒業パーティー費用に充当）などを考える ・洗濯とアイロンがけを学ぶ
		（知・技） ・過去に経験した行事で身に付けた経験や知識を活用できる。 （思・判・表） ・課題を解決するための方法を皆で判断し、優先順位を決めることができる。 （学・人） ・仲間とコミュニケーションを図りながら活動しようすることができる。	（知・技） ・過去の行事を振り返り、自分の考えを伝ええている。 ・森川フェスの活動内容を理解している。 （思・判・表） ・森川フェスを楽しむためにどうするか自分の意見をもっている。 ・それぞれの役割を皆で話し合っている。 （主・学） ・森川フェスの成功に向けて、仲間とコミュニケーションを取りながら主体的に取り組もうとしている。	・森川フェス事前事後学習 2	・森川フェス企画、運営
		（知・技） ・産業教育フェアの出展者や商品について学習することができる。 ・校外学習について情報を集めることができる （思・判・表） ・集団の中で判断して行動することができる （学・人） ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる	（知・技） ・産業教育フェアの出展者や商品について学習しようとしている。 ・校外学習先について調べようとする。 （思・判・表） ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 （主・学） ・周りを意識した行動をしようとする。	・産業教育フェア見学 ・校外学習 ・実習先見学	・産業教育フェアを実際に見て学ぶ ・校外学習事前学習 ・行先の目的を知る ・調査、探求活動の実施
3 学期	18	（知・技） ・院内生徒の作品を鑑賞し良さを知ることができる。 （思・判・表） ・自分の課題を発見し、目標を決めることができる。 ・情報を集めながら、校外学習の計画をたてること （学・人） ・規律や社会とのつながりを感じることができる	（知・技） ・自分と他人の感性の違いを理解しようとする。 （思・判・表） ・自分をしっかりと分析し、改善しようとする。 （主・学） ・お互いの作品を鑑賞し、みんなで協力して展示会の準備をしようとする。 ・自分で判断し責任をもって行動しようとしている。	・校外学習 ・キャリアパスポート見直しと振り返り ・くらしとお金（消費者教育） ・ハートアート展	・校外学習の企画、実施、振り返り ・暮らしとお金の関わりについて学習する。（外部人材の活用） ・ハートアート展に向けた作品準備と鑑賞
		（知・技） ・卒業を祝う会（卒業パーティー）の意義を理解することができる。 （思・判・表） ・卒業生の立場になって、贈る言葉などを考え、文章にすることができる。 （学・人） ・卒業パーティーで企画、運営で周りの意見を尊重したり、自分の意見を適切に表現することができる。	（知・技） ・卒業を祝う会や卒業することの意味を理解している。 （思・判・表） ・自分なりに、祝う気持ちを表現できている。 （主・学） ・それぞれの役割を皆で決め、卒業式に向け取り組んでいる。	・卒業パーティ ・おもてなし	・卒業パーティに関する取り組み
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1年（Ⅱ課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
1/35		高等部 1 年			無し
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることを理解し、行動の仕方を身につける。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、相互の意見の一致を図ったり、意思決定できるようにする。 (学・人) 生徒の障害の状態や特性等を考慮し、望ましい集団活動を通して生活経験を広げ、社会性を育む。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) ・学級での役割を果たすことができる。 (思判表力) ・自分と学級の目標を決めることができる。 (学・人) ・学級で自己の役割を振り返ることができる。	(知・技) ・他者と協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・自分と学級の課題を発見しようとする。 (主学) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・始業式 ・入学式 ・新入生転入生歓迎会	・掲示物や時間割作成 ・学期の目標決め ・新入生転入生との交流、企画、運営
		(知及技) ・災害時の避難方法を知ることができる。 ・生徒会の活動内容を理解することができる。 (思判表力) ・避難経路の判断ができる。 ・学校生活を充実させるために何が必要か考えることができる。 (学・人) ・集団の中で命を守る行動ができる。 ・自分だけでなく、皆のことも考えることができる。	(知・技) ・火災発生時の避難方法を学ぼうとしている。 ・年間の活動内容がわかる。 (思・判・表) ・自分で考えて判断しようとしている。 ・学校を楽しむ為に、自分の意見をもつ。 (主学) ・まわりの人に合わせて行動しようとしている。 ・学校の課題等を自らの問題として考えようとする。	・火災避難訓練 ・生徒総会	・避難経路、避難方法の事前学習 ・生徒総会の企画、実施
		(知及技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解する。 ・校外学習について情報を集めることができる。 ・学期の反省をすることができる。 (思判表力) ・目的の為にによりよい方法を考えることができる。 ・集団の中で判断して行動することができる。 (学・人) ・実践的な集団行動ができる。 ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義が理解できる。 ・校外学習先について調べようとする。 ・学期の振り返りをする。 (思・判・表) ・意見を出し合ってよりよい方法を導き出している。 ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 (主学) ・まわりをよく見て合わせて行動しようとしている。	・不審者対応訓練 ・終業式	・自身の身の守り方などを学習する ・学期末反省
		(知及技) ・行事の意義を理解し、成功に向けて頑張る。 (思判表力) ・参加方法を考え、皆と協力して取り組む。 (学・人) ・行事に積極的に参加する。	(知・技) ・行事の成功に向けて知恵を出し合う。 (思・判・表) ・役割分担を相談して取り組もうとする。 (主学) ・自分たちが主役であるという自覚をもつ。	・森川フェス 1	・森川フェスに向けて、それぞれの役割に責任を持たせる。
2 学期	15	(知及技) ・集団の中での役割を把握することができる。 (思判表力) ・目標を決定することができる。 (学・人) ・自己実現に向け、課題を改善することができる。	(知・技) ・協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・目標を設定しようとしている。 (主学) ・学級集団とより良く関わろうとしている。	・始業式	・学期の目標決め
		(知及技) ・行事の意義を理解し、成功に向けて頑張る。 (思判表力) ・参加方法を考え、皆と協力して取り組む。 (学・人) ・行事に積極的に参加する。	(知・技) ・行事の成功に向けて知恵を出し合う。 (思・判・表) ・役割分担を相談して取り組もうとする。 (主学) ・自分たちが主役であるという自覚をもつ。	・森川フェス 2	・森川フェスに向けて、それぞれの役割に責任を持たせる。
		(知及技) ・少年犯罪について考えることができる。 (思判表力) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 (学・人) ・安全に身を守る方法などを身につける。	(知・技) ・少年犯罪について考えようとしている。 (思・判・表) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 (主学) ・危ないことに巻き込まれない意識をもつようにする。	・薬物乱用防止教室	・県内と県外の現状を知る。
		(知及技) ・校外学習について情報を集めることができる。 (思判表力) ・集団の中で判断して行動することができる。 ・学期を振り返り自己評価できる。 (学・人) ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・校外学習先について調べようとする。 (思・判・表) ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 ・しっかり学期の振り返りをしようとする。 (主学) ・周りを意識した行動をしようとする。	・終業式	・学期末反省
3 学期	8	(知及技) ・院内生徒の作品を鑑賞し良さを知ることができる。 (思判表力) ・自分の課題を発見し、目標を決めることができる。 (学・人) ・院内生徒の作品に触れ、交流を図ることで所属感を感じることができる。	(知・技) ・自分と他人の感性の違いを理解しようとする。 (思・判・表) ・自分をしっかりと分析し、改善しようとする。 (主学) ・お互いの作品を鑑賞し、みんなで協力して展示会の準備をしようとする。	・始業式 ・ハートアート展	・新年の目標 ・ハートアート展に向けた作品準備と鑑賞
		(知及技) ・卒業式における身なりや振る舞いを理解することができる。 (思判表力) ・3年生への門出の言葉を考える事ができる。 (学・人) ・3年生を祝福する気持ちで式に参加することができる。	(知・技) ・卒業式の意義や参加の仕方について理解しようとしている。 (思・判・表) ・3年生への門出の言葉を考えようとしている。 (主学) ・3年生を祝福する気持ちで参加しようとしている。	・修了式 ・卒業式	・自分自身の一年を振り返る。 ・卒業式の会場設営、歌の練習。 ・卒業する先輩への門出の言葉や感謝の思いを伝える。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部2年（I 課程） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	2年I 課程		『新編 現代の国語』（第一学習社）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 （思判表力）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 （学・人）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	（知及技）読書の意義と効用を理解する。 （思判表力）教材のテーマやキーワードから積極的に興味や関心を広げ、関連する書籍を読む。 （学・人）教材のテーマやキーワードから積極的に興味や関心を広げ、関連する書籍を読む。	（知及技）読書の意義と効用を理解することができたか。 （思・判・表）教材のテーマやキーワードから積極的に興味や関心を広げ、関連する書籍を読もうとしている。 （主学）教材のテーマやキーワードから積極的に興味や関心を広げ、関連する書籍を読もうとしている。	読書のしるべ	・図書館の利用 ・本の紹介 ・感想を書く
	11	（知及技）スピーチメモの概要を理解して作ることができる。 （思判表力）自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、発表する。 （学・人）他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を身につける。	（知・技）スピーチメモの概要を理解して書く。 （思・判・表）自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、発表しようとする。 （主学）他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を知り、考えて文にしたり発言しようとする。	スピーチで自分を伝える	・主張と論拠 ・個別と一般化 ・論述の仕方 ・漢字・熟語の学習
	11	（知及技）主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 （思判表力）筆者が開発した「弱いロボット」について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述することができる。 （学・人）本文を読んでロボットと人間との関係性について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとする態度をもつ。	（知・技）主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解している。 （思・判・表）筆者が開発した「弱いロボット」について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述している。 （主学）本文を読んでロボットと人間との関係性について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。	岡田美智男「『弱いロボット』の誕生」	・主張と論拠 ・個別と一般化 ・論述の仕方 ・漢字・熟語の学習
	11	（知及技）語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 （思判表力）比喩について理解し、作品に示された作者の思いを読み取ることができる。 （学・人）粘り強く文章の種類や構成について理解し、今までの学習を生かして感じたこと、考えたことを説明しようとしている。	（知・技）語句を調べ、語句を使った文を作ることができる。 （思・判・表）比喩について理解し、作品に示された作者の思いを読み取り、大意を整理することができる。 （主学）粘り強く文章の種類や構成について理解し、今までの学習を生かして感じたこと、考えたことを説明しようとしている。	詩を楽しむ 六月（茨木のり子）	・語句、語彙の学習 ・詩の音読 ・詩の種類、構成 ・詩の読み取り

2 学 期	11	(知及技) 常用漢字を文や文章の中で活用することができる。 (思判表力) イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察することができる。 (学・人) 本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとする態度をもつ。	(知・技) 常用漢字を文や文章の中で活用している。 (思・判・表) イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察している。 (主学) 本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。	鷺谷いづみ「イースター島になぜ森がないのか」	・常用漢字の学習 ・イースター島の歴史 ・人類と生態系のあり方
	10	(知及技) 敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 (思判表力) 相手や場に応じた表現が選択できるようになる。 (学・人) 積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使うことができる。	(知・技) 敬語表現を意識した言葉遣いを理解しようとする。 (思・判・表) 相手や場に応じた表現が選択しようとする。 (主学) 積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。	待遇表現	・敬語表現の理解 ・話し言葉と書き言葉の違い ・実際の応用
	11	(知及技) 話し合いの進め方のルールを理解する。 (思判表力) 今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、話し合いによって結論を出そうとしている。 (学・人) 進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話すことができる。	(知・技) 話し合いの進め方のルールを理解しようとする。 (思・判・表) 今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、話し合いによって結論を出そうとしている。 (主学) 進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。	合意形成のための話し合いを行う	・プレゼンテーションの準備 ・アイデア、情報を集める ・プレゼンテーションの練習
	10	(知及技) 相手に情報を適切に伝える文章の書き方を習得する。 (思判表力) 教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書くことができる。 (学・人) 書いた手紙文を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫することができるようにしている。	(思・判・表) 自分の経験の中から意見を導き出している。 (主学) 目的に応じてテーマを決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。	実用的な手紙文の書き方	・実用的な手紙文として、依頼文と案内文の書き方を理解し、実践する。 ・相手に情報を適切に伝える文章の書き方を習得する。 ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書こうとしている。 ・書いた手紙文を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。
3 学 期	10	(思判表力) 自分の経験の中から意見を導き出すことができる。 (学・人) 目的に応じてテーマを決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとする態度をもつ。	(思・判・表) 自分の経験の中から意見を導き出している。 (主学) 目的に応じてテーマを決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。	社会に対する意見文を書く	・意見文の書き方 ・自分の経験 ・意見文発表
	16	(知及技) 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 (思判表力) 文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解することができる。 (学・人) 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする態度をもつ。	(知・技) 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解している。 (思・判・表) 文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解している。 (主学) 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	論理分析【対比】「間」の感覚	・主張と論拠 ・個別と一般化 ・対比構造を用いた論理の展開
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 高等部 2 年（I 課程） 地理歴史科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2 学年 I 課程		『高等学校 改訂版 地理総合』 （第一学習社） ／『教科書準拠 改訂版 地理総合 ノート』（第一学習社） 世界を変えるSDGs＊図書教材/新聞 中学生の地理（帝国書院）

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技） 世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を高める。 （思・判・表） 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して概念などを活用して考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。 （学・人） 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	（知・技） ・地球上のすべての位置は緯度・経度であらわせることや、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解することができる。 （思・判・表） ・各地図投影法の特徴を踏まえ、目的や用途に応じて適切な地図を選び、使い分けができる。 （学・人） ・GISがどのような場面で活用されているか調べ、自らも日常生活の中で活用していこうとする姿勢が見られる。	（知・技） ・地球上のすべての位置は緯度・経度であらわせることや、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解している。 （思・判・表） ・各地図投影法の特徴を踏まえ、目的や用途に応じて適切な地図を選び、使い分けができています。 （主・学） ・GISがどのような場面で活用されているか調べ、自らも日常生活の中で活用していこうとする姿勢が見られる。	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 1 章 球面上の世界と地図	①地球上の位置 ②世界の時差 ③世界地図の見方・使い方 ④地図があらわす情報 ⑤デジタル化された地図 ⑥地理情報システムの活用
	8	（知・技） ・日本の貿易の変化や、貿易摩擦について理解することができる。 （思・判・表） ・国境・領土問題の平和的解決のために必要なことについて、考察を深めることができる。 （学・人） ・新聞や書籍、インターネットなどを用いて、現在世界で起こっている国境・領土問題や、日本の領域と周辺国との領土問題について調べようとする姿勢が見られる。	（知・技） ・日本の貿易の変化や、貿易摩擦について理解している。 （思・判・表） ・国境・領土問題の平和的解決のために必要なことについて、考察を深めることができる。 （主・学） ・新聞や書籍、インターネットなどを用いて、現在世界で起こっている国境・領土問題や、日本の領域と周辺国との領土問題について調べようとする姿勢が見られる。	2 章 国家の結びつきとグローバル化する世界	①国家の領域と国境 ②日本の領域とさまざまな領土問題 ③国家をこえた結びつき ④交通機関の発達と縮小する世界 ⑤情報・通信で一体化する世界 ⑥拡大する世界の貿易と物流 ⑦グローバル化と人の移動による結びつき
	7	（知・技） ・世界の気候帯にはそれぞれどのような特徴があり、そこではどのような生活が営まれているのか、理解することができる。 （思・判・表） ・教科書掲載の写真読解のワークに取り組み、複数の写真を比較して共通点や相違点について考察することができる。 （学・人） ・多様な生活文化の基盤となる地形や気候について、積極的に学ぼうとする姿勢が見られる。	（知・技） ・世界の気候帯にはそれぞれどのような特徴があり、そこではどのような生活が営まれているのか、理解している。 （思・判・表） ・教科書掲載の写真読解のワークに取り組み、複数の写真を比較して共通点や相違点について考察することができる。 （主・学） ・多様な生活文化の基盤となる地形や気候について、積極的に学ぼうとする姿勢が見られる。	第2編 国際理解と国際協力	1 章 生活文化の多様性と国際理解 1 節 人々の生活の舞台となる地形 2 節 人々の生活に彩りを与える気候

2 学 期	15	(知及技) ・言語や宗教が各地の生活文化とどのようにかかわっているのか、歴史的背景も踏まえて理解することができる。 (思判表力) ・多様な価値観やアイデンティティを持つ世界の人々と共生していくために必要なことについて、考察を深めることができる。 (学・人) ・衣食住や産業、宗教などの具体的な事例を通して、世界各地の特色ある生活文化について、積極的に学ぼうとする姿勢が見られる。	(知・技) ・言語や宗教が各地の生活文化とどのようにかかわっているのか、歴史的背景も踏まえて理解している。 (思・判・表) ・多様な価値観やアイデンティティを持つ世界の人々と共生していくために必要なことについて、考察を深めることができる。 (主学) ・衣食住や産業、宗教などの具体的な事例を通して、世界各地の特色ある生活文化について、積極的に学ぼうとする姿勢が見られる。		3節 「衣」から見る世界 4節 「食」から見る世界 5節 「住」から見る世界 6節 暮らしを豊かにする産業 7節 世界の言語・宗教と人々の生活 8節 多文化共生に向けて
	7	(知及技) ・SDGsが定められた背景や、それぞれの目標の内容を理解することができる。 (思判表力) ・世界で見られる貧困問題、人口問題などについて、自分たちの生活との関連性について考察することができる。 (学・人) ・SDGsの実現に向けて、世界で見られる地球的課題を自分事として捉え、積極的に学ぼうとする姿勢が見られる。	(知・技) ・SDGsが定められた背景や、それぞれの目標の内容を理解している。 (思・判・表) ・世界で見られる貧困問題、人口問題などについて、自分たちの生活との関連性について考察することができる。 (主学) ・SDGsの実現に向けて、世界で見られる地球的課題を自分事として捉え、積極的に学ぼうとする姿勢が見られる。	2章 地球的課題と国際協力	1節 持続可能な社会を目指して 2節 すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて
	5	(知及技) ・都市・居住問題について、世界や日本ではどのような問題が生じており、問題解決のためにどのような取り組みがなされているのか理解することができる。 (思判表力) ・世界のエネルギー利用の変遷や課題を踏まえ、持続可能な社会の実現に向けた資源・エネルギー利用について考察を深めることができる。 (学・人) ・身の回りの都市問題に関心を持ち、地域の課題解決に向けて学習した内容を振り返ろうとする姿勢が見られる。	(知・技) ・都市・居住問題について、世界や日本ではどのような問題が生じており、問題解決のためにどのような取り組みがなされているのか理解している。 (思・判・表) ・世界のエネルギー利用の変遷や課題を踏まえ、持続可能な社会の実現に向けた資源・エネルギー利用について考察を深めることができる。 (主学) ・身の回りの都市問題に関心を持ち、地域の課題解決に向けて学習した内容を振り返ろうとする姿勢が見られる。	2章 地球的課題と国際協力	3節 自然と調和した豊かな社会に向けて
3 学 期	8	(知及技) ・地球温暖化による影響について、身近な事例も踏まえながら理解することができる。 (思判表力) ・地球温暖化の解決のために行われている取り組みを踏まえ、高校生ができることについて考察を深めることができる。 (学・人) ・地球環境問題を自分事として捉え、その解決に向けて身近なところから行動しようとする姿勢が見られる。	(知・技) ・地球温暖化による影響について、身近な事例も踏まえながら理解している。 (思・判・表) ・地球温暖化の解決のために行われている取り組みを踏まえ、高校生ができることについて考察を深めることができる。 (主学) ・地球環境問題を自分事として捉え、その解決に向けて身近なところから行動しようとする姿勢が見られる。	2章 地球的課題と国際協力	4節 現役世代と将来世代のための地球 5節 平和で公正な社会に向けて
	10	(知及技) ・自然災害に備えるためには日常の備えが重要であり、減災に向けた地域防災力の向上が重要であることを理解することができる。 (思判表力) ・地域防災力を高めるために個人ができることについて、考察を深めることができる。 (学・人) ・自然環境の特徴や、災害の特徴とその備えについて積極的に学んでいこうとする姿勢が見られる。	(知・技) ・自然災害に備えるためには日常の備えが重要であり、減災に向けた地域防災力の向上が重要であることを理解している。 (思・判・表) ・地域防災力を高めるために個人ができることについて、考察を深めることができる。 (主学) ・自然環境の特徴や、災害の特徴とその備えについて積極的に学んでいこうとする姿勢が見られる。	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災	1節 人々の暮らしを取りまく自然環境 2節 変動帯の自然と防災 3節 湿润地域の自然と防災 4節 自然災害への備え
留意点 引継ぎ等		・評価方法：授業態度、発問評価、提出課題、単元テスト（小テスト）、ノート（プリント）提出 ・生徒の興味関心を高められるように、資料や関連動画などを活用する。 ＊iPadなどを活用し、プリントをまとめさせる。 ＊時事ニュース等を随時取り上げる。			

令和8年度 高等学部 2年（Ⅰ課程） 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	高等部2年		高校数学A（実教出版）／その他

目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技)数量や図形についての基礎的・基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりすることができる。 (思・判・表)数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し考察する力、数学の用語、記号を用いて思考を深め、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。 (学・人)身近な生活の中にある数学の事象に触れ、数学への興味・関心を高め、数学の良さを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善しようとする態度や創造性を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知・技)落ち着いて、丁寧に計算する。 (思・判・表)多面的な見方、考え方ができるようにする。 (学・人)まわりの意見を取り入れて、さらに自分の解答に自信をもつ。	(知・技)nPrやcPrの計算ができる。 (思・判・表)いろいろな並び方や選び方について、順列や組合せを利用して考察することができる。 (主学)自信をもって、問題に取り組もうとする。	①集合、集合の要素と個数 ②和の法則と積の法則 ③順列・重複順列・円順列 ④組合せ ⑤確率の意味・確率の計算、独立な試行の確率、反復試行の確率、条件付き確率	・既習事項を確認し、各自で問題を解く。 ・習熟度別に対応できるように、応用問題にも取り組む。 ・生徒は黒板で解答を行い、他の生徒にも説明する。 ・生徒が見つけた別解などは、タブレットで画面に映して、みんなに紹介する。
2学期	30	(知・技)角の2等分線と線分の比や三角形の外心・内心・重心の性質を用いて、いろいろな線分の長さや角度などを求めることができる。 (思・判・表)図形を多面的にとらえ、問題文から図を描き、値を求める。 (学・人)自分なりの解法を身に付ける。	(知・技)いろいろな線分の長さや角度などを求めることができる。 (思・判・表)図形を多面的にとらえ、問題文から図を描き、値を求める。 (主学)直接測ることのできない長さや角度を求めることに興味をもつ。	①三角形と比、三角形の重心・外心・内心、角の二等分線と線分の比 ②円周角の定理、円に内接する四角形、円と直線、接線と弦のつくる角、方べきの定理、2つの円 ③作図 ④直線や平面の位置関係、多面体	・図形が多いので、生徒には書かずにICT機器を用いて画面やスクリーンに映し、視覚的にわかりやすく説明する。 ・例や例題はノートに書かずに、説明を聞くことに集中させる。 ・生徒は図形の簡略図をノートに書きながら問題を解く。
3学期	16	(知・技)2進法を中心に10進法以外の数の表し方について理解し、加法・乗法の計算が行えるようにする。 (思・判・表)約数や倍数に関する事象を論理的に考察し、整数の性質について深く理解できるようにする。 (学・人)自分なりの解法を身に付ける。	(知・技)10進法以外の表記法やその加法、減法について理解している。 (思・判・表)10進法の表記法を見直すことにより、n進法の仕組みを考察することができる。 (主学)昔の記数法について、その利点や欠点について考察しようとしている。	①記数法 ②約数と倍数 ③整数の割り算と商・余り	・生徒は黒板で解答を行い、他の生徒にも説明する。 ・生徒が見つけた別解などは、タブレットで画面に映して、みんなに紹介する。
留意点 引継ぎ等		ICTを機器を活用して、視覚的に理解できるような授業を行う。 単元を横断的に扱う課題も設定し、年間を通して学習指導要領の目標を達成できるようにする。			

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部 2 年		改定地学基礎 （東京書籍） ／ニューサポート改定地学基礎 （東京書籍）

目標：(知及技)知識及び技能 （思判表力)思考力、判断力、表現力等 （学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：A(知・技)知識・技能 B(思・判・表)思考・判断・表現 C(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活や社会との関連を図りながら，地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表力)観察，実験などを行い，科学的に探究する力を身に付けている。 (学・人)地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，自然環境の保全に寄与する態度を身に付けている。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ・私たちの大地について、大地とその働き、地震、火山活動の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表力) ・私たちの大地について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (学・人) ・私たちの大地に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	(知・技) ・私たちの大地について、大地とその働き、地震、火山活動の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表) ・私たちの大地について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (主学) ・私たちの大地に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第1編 私たちの大地 第1章 大地とその動き 第2章 地震 第3章 火山活動	第1編 私たちの大地 第1章 大地とその動き 実習 1 地球の大きさと形を求めよう 実習 2 岩石と鉄の密度の比較 第2章 地震 実習 3 震源の深さを求める 第3章 火山活動
2 学期	27	(知及技) ・私たちの空と海について、地球大気の特徴、大気・海水の特徴とその運動、日本の天気と気象災害の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表力) ・私たちの空と海について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (学・人) ・私たちの空と海に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	(知・技) ・私たちの空と海について、地球大気の特徴、大気・海水の特徴とその運動、日本の天気と気象災害の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表) ・私たちの空と海について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (主学) ・私たちの大地 に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第2編 私たちの海と空 第1章 地球大気の特徴とその運動 第2章 大気の特徴とその運動 第3章 海水の特徴とその運動 第4章 日本の天気と気象災害	第2編 私たちの海と空 第1章 地球大気の特徴 実習 4 大気の高さによる気圧と温度の変化を調べる 第2章 大気の特徴とその運動 実習 5 緯度ごとの太陽放射のりょうと地球放射の量を比較する 第3章 海水の特徴とその運動 第4章 日本の天気と気象災害
3 学期	18	(知及技) ・私たちの宇宙の誕生について、宇宙の構造と進化、太陽系の誕生の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表力) ・私たちの宇宙の誕生について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (学・人) ・私たちの宇宙の誕生に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	(知・技) ・私たちの宇宙の誕生について、宇宙の構造と進化、太陽系の誕生の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表) ・私たちの宇宙の誕生について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (主学) ・私たちの宇宙の誕生に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第3編 私たちの宇宙の誕生 第1章 宇宙の構造と進化 第2章 太陽系の誕生	第3編 私たちの宇宙の誕生 第1章 宇宙の構造と進化 第2章 太陽系の誕生
		(知及技) ・私たちの地球の歴史について、地層と化石の観察、古生物の変遷と地球環境の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表力) ・私たちの地球の歴史について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (学・人) ・私たちの地球の歴史に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	(知・技) ・私たちの地球の歴史について、地層と化石の観察、古生物の変遷と地球環境の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表) ・私たちの地球の歴史について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (主学) ・私たちの地球の歴史に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第4編 私たちの宇宙の誕生 第1章 地層と化石の観察 第2章 古生物の変遷と地球環境	第4編 私たちの宇宙の誕生 第1章 地層と化石の観察 実習 6 露頭を観察して過去のできごとを推察する 第2章 古生物の変遷と地球環境
		(知及技) ・地球に生きる私たちについて、日本の自然の恵みと防災、地球環境と私たちの生活、これからの地球環境の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表力) ・地球に生きる私たちについて、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (学・人) ・地球に生きる私たちに関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	(知・技) ・地球に生きる私たちについて、日本の自然の恵みと防災、地球環境と私たちの生活、これからの地球環境の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表) ・地球に生きる私たちについて、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (主学) ・地球に生きる私たちに関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第5編 地球に生きる私たち 第1章 日本の自然の恵みと防災 第2章 地球環境と私たちの生活 終章 これからの地球環境	第5編 地球に生きる私たち 第1章 日本の自然の恵みと防災 実習 7 災害発生時の行動を想定する 第2章 地球環境と私たちの生活 終章 これからの地球環境
留意点 引継ぎ等		【評価方法】授業態度、発問評価、レポート、小テスト ・生徒の実態に応じて、実験実習を精選して行う。			

令和 8 年度 高等部 2年（I 課程） 保健体育科 体育 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	高等部2年		現代高等保健体育(大修館書店)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (学・人) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して行う		(知及技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てて取り組むことができる。 (思判表力) 自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることができる。	(知・技) ・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを言ったり書き出したりしている。 (思・判・表) ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 (主学) 体づくり運動に自主的に取り組もうとしている。	体づくり運動	<例示>体ほぐしの運動 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりする。 ・ 仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりする。 〈実生活に生かす運動の計画の行い方の例〉 ○ 健康に生活するための体力の向上を図る運動の計画と実践 ・ 運動不足の解消や体調維持のために、食事や睡眠などの生活習慣の改善も含め、休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組む。
1 学期	37	(知及技) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しゲームを展開することができる。 (思判表力) 生涯にわたり運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしながら一人一人の違いに応じたプレイを展開することができる。	(知・技) ・球技の型や種目によって必要な体力要素があり、その型や種目の技能に関連させながら体力を高めている。・自分の得意な投げ方でねらった方向にボールを投げている・サービスでは、ボールに変化をつけて打っている。 (思・判・表) 課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 (主学) 作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。	球技	○ ターゲット型 ・ ターゲットに向かって力をコントロールしながら、ボールを投げる。 ・ 仲間と協力しながらゲームを進行する。 ○ ネット型 ・ サービスでは、ボールに変化をつけて打つ。 ・ ボールを相手側のコートを守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返す。 ・ ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込む。
		(知及技) 記録の向上や自己や仲間の課題を解決するなどの楽しさや喜びを味わい、自己に適した泳法で泳ぐことができる (思判表力) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ルールやマナーを大切にしようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなど、事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保して水泳に取り組むことができる。	(知・技) ・水泳では、各種目や運動の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、効率のよい泳ぎにつながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習したことを挙げている。 (思・判・表) グループでの学習で、状況に応じて自己や仲間の役割を提案している。 (主学) 水泳の事故防止の心得を遵守し、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	水泳	ア クロール 15～50m程度 ・ 流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つこと。 イ 平泳ぎ 15～50m程度 ・ 手を前方に大きく伸ばした後に肘を曲げ、加速させながら内側にかき込み、抵抗を減らすために素早く手を前に戻すストロークの動きをすること。 ・ ブルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの蹴り終わりに合わせて伸び(グライド)をとり、1回のストロークで大きく進むこと。
		(知及技) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について知ることができる。 (思判表力) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。 (学・人) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技) 近年では、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあり、日本の文化の発信に貢献していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (思・判・表) スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。 (主学) スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	体育理論（スポーツの発祥と発展）	1 スポーツの始まりと変遷 ・ スポーツがどのように始まったのかを説明する。 2 文化としてのスポーツ ・ 運動との比較から文化としてのスポーツの特徴を説明する。

2 学 期	41	(知及技) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しゲームを展開することができる。 (思判表力) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようすることができる。	(知・技) ・戦術や作戦に応じ、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、言ったり書き出したりしている。・ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。 (思・判・表) 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 (主学) 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。	球技	○ゴール型 ・ゴールの枠内にシュートをコントロールする。 ・味方が操作しやすいパスを送る。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープする。
		(知及技) 武道の楽しさや喜びに触れ、伝統的な考え方やその行い方を理解し、基本的な動きや技能を身に付けることができる。 (思判表力) 武道についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたことを他者に伝えたり発表したりすることができる。 (学・人) 武道に進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具、自己や他者の安全に留意したりしながら、運動をすることができる。	(知・技) 武道の特徴をとらえて基本的な動きやマナーを身につけている。 (思・判・表) 武道の学習成果を踏まえて、自己に適した簡単な技能や態度を見付けている。 (主学) 一人一人の違いに応じた動きや態度、役割を大切にしようとしている。	武道	○空手 ・上段突き、中段突き ・正面蹴り、足刀蹴り ・上段受け、中段受け、下段受け等の動き ・普及型Ⅰ、Ⅱ
		(知及技) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができる。 (思判表力) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。 (学・人) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技) 現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (思・判・表) スポーツの経済的効果が環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 (主学) スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	体育理論（スポーツの発祥と発展）	3 オリンピックとパラリンピックの意義 ・オリンピズムとオリンピックの価値について説明する。 4 スポーツが経済に及ぼす効果 ・スポーツにかかわる業種について例をあげて説明する。
3 学 期	27	(知及技) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しゲームを展開することができる。 (思判表力) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることができる。	(知・技) ・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするために、自己観察や他者観察などを行っている。・ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 (思・判・表) 球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。 (主学) 互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。	球技	○ネット型 ・サービスでは、ボールをねらった場所に打つ。 ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込む。 ・ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりする。
		(知及技) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について知ることができる。 (思判表力) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。 (学・人) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技) スポーツに関わる人々の増加は、例えば、地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (思・判・表) スポーツの高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 (主学) スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	体育理論（スポーツの発祥と発展）	5 スポーツの高潔さとドーピング ・ドーピングがなぜスポーツを破壊する行為になるのかを具体的に説明する。 6 スポーツと環境 ・スポーツは環境とどのように調和していけばよいのか説明する。
留意点 引継ぎ等		・体育は2学年かけて指導する教科であるため、学習指導要領に則り単元・題材の目標は(中3高1程度)と記載している。 ・体づくり運動は年間を通して行う。			

令和 8 年度 高等部 2年（I 課程） 保健体育科 保健 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部 2年		現代高等保健体育(大修館書店)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (学・人) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) ・安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であることを理解する。 ・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があることを理解する。 (思判表力)安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。 (学・人)安全な社会生活について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	(知・技)・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AED などを用いて心肺蘇生法ができる。 (思・判・表)・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 (主学)安全な社会づくりや、応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	2単元 安全な社会生活	1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全 4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法
2 学期	14	(知及技)生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解する。 (思判表力)生涯を通じる健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 (学・人)生涯を通じる健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	(知・技)・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (思・判・表)・生涯の各段階における健康、結婚生活と健康、加齢と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 (主学)生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	3単元 生涯を通じる健康	1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康

3 学 期	9	(知及技) 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解する。 (思判表力) 生涯を通じる健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 (学・人) 生涯を通じる健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	(知・技) ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (思・判・表) ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 (主学) 労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	3 単元 生涯を通じる健康	8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	高等部2年Ⅰ課程		MOUSA 1/他

年間目標		（知及技）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景等との関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 （思判表力）自己のイメージを個性豊かに音楽表現できるよう創意工夫をすることや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 （学・人）主体的・協働的に音楽の幅広い活動を通して、自分なりの音楽表現方法をみつけ、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 （25）	2	（知及技）年間の予定や、授業の取り組みを理解できる。色々な表現方法があることを理解できる。 （思判表力）自分のやりたいこと、やってみたいこと、自分ができる表現方法は何かを考え、言葉で表すことができる。 （学・人）年間の予定を知り、自分の目標を決定し、意欲的に音楽の学習活動に取り組むことができる。	（知・技）年間の予定や授業の取り組みを理解し、色々な表現方法があることを学ぼうとしている。 （思・判・表）自分のやりたいこと、やってみたいことを考え、自分ができる表現方法は何かを考え、言葉で表そうとしている。 （主学）年間の予定を理解し、自分の目標を決定し主体的・協働的に音楽の学習活動に取り組もうとしている。	オリエンテーション ・学期や年間の取り組みを知ろう ・自分は何に興味があるのか考えてみよう ・興味のあることや自分の得意な表現方法は何か探してみよう	・学期ごとの取り組みを知り、年間の目標と計画を立てる。 ・色々な表現方法の紹介。 （独唱、合唱、独奏、合奏、創作、ダンス、手話他） ・自分の興味はあることは何か、得意な表現方法は何か、やりたいことは何かを探す。
	8	（知及技）曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解することができる。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けることができる。 （思判表力）音色、リズム、速度、テクスチャア、強弱、形式、講成を知覚し、それらの動きを感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考え、演奏することができる。 （学・人）曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習に取り組むことができる。	（知・技）曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解している。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 （思・判・表）音色、リズム、速度、テクスチャア、強弱、形式、講成を知覚し、それらの動きを感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 （主学）曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ハンドクラップアンサンブルに挑戦しよう ボディーパーカッションやCUPSに挑戦しよう	・ハンドクラップアンサンブル 「Giocoso」 ・ボディーパーカッション ・CUPS 「Clap, Tap with CUPS!」他
	7	（知及技）個々が選択した表現方法で、演奏に必要な技能を身に付けることができる。 （思判表力）よりよい表現ができるように創意工夫をし、自分のよいところや課題は何かを知り、練習に生かすことができる。 （学・人）自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に練習へ取り組むことができる。	（知・技）個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）よりよい表現ができるように、自分のよいところや課題は何かを知り、思いや意図をもって創意工夫をしている。 （主学）自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に音楽活動へ取り組もうとしている。	自分で選択した表現方法に取り組んでみよう ・目標設定 ・練習 ・振り返り	生徒が個々で選択した表現活動を個別活動で取り組む。 [歌唱] ・発声や音程に気を付けて歌う ・曲をどのように表現したらよいか探る他 [器楽] [リズム] ・奏法について ・楽譜の読み方について ・練習 他 [創作] ・創作内容の選定、決定 ・創作活動 他
	8	（知及技）各声部の楽器の音色や伴奏を聴いて音を合わせて演奏することができる。 （思判表力）自分の演奏する部分まで待つことや、合図に合わせて演奏すること、周りの音や順番、状況を把握し、他者と合わせて演奏することについて思いや意図をもつ。 （学・人）他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む、皆と合奏できる。	（知・技）各声部の楽器の音色や伴奏を聴いて音を合わせて演奏しようとしている。 （思・判・表）自分の演奏する部分まで待つことや、合図に合わせて演奏すること、周りの音や順番、状況を把握し、他者と合わせて演奏することについて思いや意図をもっている。 （主学）他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	器楽アンサンブルを楽しもう	・海の声 ・小さな恋のうた 他
2学期 （27）	9	（知及技）曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 （思判表力）鑑賞についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。自分なりに感じたことを言葉等で表現できる。 （学・人）音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	（知・技）曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解しようとしている。 （思・判・表）音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとする思いを持っている。 （主学）音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	いろいろなジャンルの音楽を知ろう	・鑑賞のルール ・曲の聴き方 ・色々なジャンルの曲を聴く ・ワークシート
	9	（知及技）個々が選択した表現方法に必要な技能を身に付けることができる。 （思判表力）よりよい表現ができるように創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習にいかすことができる。 （学・人）自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に練習に取り組むことができる。	（知・技）個々人が選択した表現方法に必要な技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）よりよい表現ができるように、自分のよいところや課題は何かを知り、思いや意図をもって創意工夫をしている。 （主学）自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に音楽活動へ取り組もうとしている。	新しい表現方法にチャレンジしよう	新しい表現方法を個々で選択しチャレンジする。 [歌唱] ・発声や音程に気をつけて歌う。 ・曲をどのように表現したらよいか探る 他 [器楽] [リズム] ・奏法について ・楽譜の読み方について ・練習 他 [創作] ・創作内容の選定、決定 ・創作活動 他

	9	(知及技)他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 (思判表力)相手の演奏を聴きながら、自分の担当するパートを他者と合わせるためにどうしたらよいかを考え演奏に生かす。 (学・人) 集団の中でも主体的・協働的に音楽活動に参加できる。	(知・技)他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 相手の演奏を聴きながら、自分の担当するパートを他者と合わせるためにどのようにしたらよいかを考え演奏に生かそうとしている。 (主学) 集団の中でも、主体的・協働的に音楽活動に参加しようとしている。	皆で合わせて演奏しよう	個々で選択した表現方法を合わせて、集団活動へつなげる。
3 学期 (18)	14	(知・技) 他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、皆と一緒に発表できる。 (思判表力)どの発表形態なら自分たちが発表できるかを考え、発表方法を工夫しながら、自分たちで表現できる。 (学・人) 主体的・協働的に音楽活動に参加し、皆の前で発表できる。	(知・技)他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、皆と一緒に発表しようとしている。 (思・判・表) どのように演奏するか、どの発表形態なら自分たちができるか等を考え、思いや意図をもって発表方法を工夫し表現しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に音楽活動に参加し、皆の前で発表しようとしている。	行事に向けた取り組みに参加しよう	皆で合わせたものを発表できるように準備、練習をする。 発表形態を考える。
	4	(知及技) 年間で取り組んだことを振り返ることができる。 (思判表力)自分自身で振り返り、できたこと、継続的に取り組んだ方がいいことなどを考え、言葉で表し自己評価ができる。また、他者についてもどんなところがよかったのか表現することができる。 (学・人) 主体的・協働的に音楽活動に参加し、振り返りを通して、自己評価や他者評価を行うことができる。	(知・技) 年間で取り組んだことを振り返ろうとしている。 (思・判・表)自分自身で振り返り、できたこと、継続的に取り組んだ方がいいことなどを考え、言葉で表し自己評価しようとしている。また、他者についてもどのようなところがよかったのか等の他者評価をしようとしている。 (主学) 主体的・協働的に音楽活動に参加し、振り返りを通して自己評価や他者評価に取り組もうとしている。	1年間で振り返ってみよう	年間を通して、取り組んだことを振り返り、自己評価、他者評価をする。
留意 点 引継 ぎ等		・生徒の実態に応じて弾力的に教材を精選して取り組んでいく。 ○儀式・行事の曲（「校歌」「月桃」「いのちのリレー」「時をこえ」「卒業式の歌」等）			

令和8年度 高等部 2年(I 課程) 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部1, 3年(I 課程)		高校生の美術 I (日本文教出版) / その他

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間 目標	(知及技)美術表現の基礎知識を習得し、発想や構想を基に創造的に表現する。 (思判表力)感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などを個に応じた方法で創意工夫し表現する力を育てる。 (学・人)美術について興味・関心を深め主体的に学習に取り組み、生活や社会に目を向け、美術を愛好する心情を育む。			
学期 時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	25 (知及技) ●造型的な要素の働きなどを理解することができる。 (思判表力) ●造型的な良さや美しさを感じ取り、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などについて見方や感じ方を深めることができる。 (学・人) ●主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めることができる。	(知・技) ○材料や道具の扱いを理解し、形や色、質感などが感情にもたらす効果を感じることができている。 (思・判・表) ○教科書や映像から、様々な美術作品を鑑賞し、それらの良さを感じ取って、自分の意見や感想を持つことができている。 (主学) ○自らすすんで創作活動や、鑑賞の活動に取り組み、作品の造型的な良さを感じようとしている。	オリエンテーション 『美術を楽しむために』 絵や彫刻など 【描く活動・鑑賞】 『色と形であrawす』	・自分の心の中を見つめたり、気づかなかった自分の考えに気付いたりして、自分の美術を見付けて、表現についてイメージをもつ。 ・教科書を鑑賞しながら、美術の学びの意味や広がりについて考える。 ・様々な画材、モダンテクニックを使って色や形の面白さを楽しむ。
	(知及技) ●意図に応じて版画の特性を活かし、表現を考えることができる。 (思判表力) ●版画による表現の特性を生かし、彫りや刷りを工夫して独創的な表現の構想を練ることができる。 (学・人) ●主体的に創作活動に取り組み美術を愛好する心情をはぐくむことができる。	(知・技) ○版画の技法を理解し、特性を生かして、表現しようとしている。 (思・判・表) ○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫して構想を練っている。 (主学) ○自らすすんで創作活動や、鑑賞の活動に取り組みようとしている。	絵や彫刻など 【描く活動・鑑賞】 『版で表す』	・身近なものや空想や想像したものを基に主題を生み出し、版で表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。
	(知及技) ●目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成することができる。 (思判表力) ●意図に応じて材料や用具の特性を生かして作品をつくることができる。 (学・人) ●主体的に創作活動に取り組み美術を愛好する心情をはぐくむことができる。	(知・技) ○紅型のなりたちや工程などを知り、文様の形や色などを工夫して、デザインを考えようとしている。 (思・判・表) ○紅型の材料や用具、配色のきまりなどの特性を生かして表現しようとしている。 (主学) ○自らすすんで創作活動や、鑑賞の活動に取り組みようとしている。	デザイン 【つくる活動・鑑賞】 『地域の伝統工芸・紅型を知る』	・沖縄の伝統的な工芸品である紅型鑑賞し、その成り立ちや技法を知る。 ・コースターなどの小作品を簡書きの技法で自分の好みの配色に染める。
2 学 期	(知及技) ●意図に応じて材料や道具などの特性を生かして表すことができる。 (思判表力) ●表現形式の特性を生かし、形態や構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。 (学・人) ●主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めることができる。	(知・技) ○材料や道具の扱いを理解し、形や質感などが感情にもたらす効果をもとに、表現を工夫して制作しようとしている。 (思・判・表) ○身近なものを基に形の特徴をとらえて、制作しようとしている。 (主学) ○主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、作品の造形的なよさや美しさを感じ取ることができる。	絵や彫刻など 【つくる活動】 『身近なものを立体でとらえる』	・身近なものをよく見たり触ったりしながら特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・さまざまな彫刻作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。 ・塑像の基本的な技法について学び、作品制作に活かす。

	27	(知・技) ●美術作品の表し方や特徴の違いなどを捉え、作者の心情や表現の意図などについて考えることができる。 (思・判・表) ●日本の工芸作品や文化などから美意識や創造性などを感じ取り、日本美術の歴史や表現の特質について見方や感じ方を深めることができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。	(知・技) ○形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や作品の特徴などを基に、作者の心情や表現の意図などを感じ取り自分の言葉で表そうとしている。 (思・判・表) ○作品、工芸品の造形的なよさや美しさ、生活様式との関連性を感じ取り、表現の意図や工夫について考えるなどして見方や感じ方を広げることができる。 (主学) ○作品の良さや美しさを感じたり表現の意図や季節感を取り入れた工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。	鑑賞 【体験・鑑賞する活動】 『ハートアート展を鑑賞しよう』 『すぐれた美術作品を鑑賞しよう』 『茶道と日本美術』	・ハートアート展を鑑賞し、作者の表現の意図や作品に込めた思いを感じ取り、感じたことや考えたことを話し合ったり、ワークシートに感想を記入する。 ・美術史について学んだり過去の優れた美観作品を教科書やタブレットなどで鑑賞する。 ・タブレット端末やワークシートなどを活用し、作品がつくられた背景や茶道の歴史等について調べたり、調べたことを記入する。 ・季節に合わせた茶道具を使って実際に点前の体験を行う。
		(知・技) ●表現方法を創意工夫し、表現の糸を効果的に表すことができる。 (思・判・表) ●感じ取ったこと、目的や機能などを基に映像メディアの特性を活かして主題を生成することができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。	(知・技) ○意図に応じてアプリの特性を生かし、表現方法を創意工夫し、効果的に表している。 (思・判・表) ○作品作りの目的を理解して作品作りをしている。 (主学) ○映像やアプリの特性を生かした創作活動や鑑賞の活動に主体的に取り組んでいる。	映像メディア表現 『思い出ムービーをつくろう』	・タブレットの動画アプリの基本的な操作方法を知る。 ・学校での日常の印象的な写真をあつめて簡単なムービーを作る。
3 学 期		(知・技) ●造形の要素の働きを理解することができる。 (思・判・表) ●造形的な良さや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めることができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる	(知・技) ○ワークシートを記入しながら色彩や形など造形の要素の働きについて理解しようとしている。 (思・判・表) ○美術作品などを鑑賞し、色彩や形、構成などがどのような効果をもたらしているか知ろうとしている。 (主学) ○作品の造形的なよさや美しさを感じたり、表現の意図や工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。	共通事項 『色や形について知ろう』	・ワークシートを利用したり絵の具を混色したりして、色彩や形についての学習を行う。 ・有名な美術作品を鑑賞し、色や形などの働きを見つける。
		(知・技) ●構図や色彩なども効果、全体のイメージなどを捉え、や色の効果、全体のイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表すことができる。 (思・判・表) ●自分が表現したいことや想像したことなどを基に主題を生み出し、構想を創意工夫することができる。 (学・人) ●主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めることができる。	(知・技) ○形や色、構成や構図などの特徴などをもとに、表現を工夫し、創造的に表そうとしている。 (思・判・表) ○気持ちなど見えないものから主題を生み出し、表現活動の特性を感じ取り、色彩や形状、組み合わせなどを基に効果的な構想を練っている。 (主学) ○心の中や気持ちを表現する創造活動に主体的に取り組もうとしている。	共同制作の魅力 【描く活動・鑑賞】 『気持ちをあらわす』	・共同制作について学校全体や学年、クラスで意見を出し合い主題を生み出す。 ・材料や用具の特性を生かし、よりよいものになるよう共同で意見を出し合いながら見通しをもって制作する。 ・協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合い、共同制作の素晴らしさを味わう。
留意点 引継ぎ等		※授業計画及び教材をにおける描く活動やつくる活動について、理解度や興味・関心等に合わせ柔軟に対応する。 ※郷土の世界遺産や伝統工芸品の造形的な面白や見方、感じ方等も年間を通し授業内容に取り入れる。 ※年間を通し、多様な作品を味わい、自他の作品に親しむことができるよう、振り返り、鑑賞会、校内展示等を適宜取り入れる。 ※博物館や美術館を活用し、美術作品に親しむ機会を設ける。			

令和8年度 高等学部2年 I課程 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部2年 I 課程		Amity English Communication I (開隆堂)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができるよう力を養う。 (学・人) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) be動詞・一般動詞の現在形について理解できる (思判表力) お気に入りの場所について自身の考えや気持ちを伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) be動詞・一般動詞の現在形を理解し、4技能において活用している (思・判・表) お気に入りの場所について、考えや気持ちを伝えている (主学) 本文の景色の説明を主体的に読み取ろうとし、自身のお気に入りの場所について伝えようとしている	Lesson 1 The Beautiful Senery (7h) be動詞・一般動詞の現在形	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④be動詞・一般動詞の現在形を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身のお気に入りの場所について紹介する
		(知及技) be動詞・一般動詞の過去形を理解できる (思判表力) 日常生活や自身の友人について、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) be動詞・一般動詞の過去形を理解し、4技能において活用している (思・判・表) 日常生活や自身の友人について、考えや気持ちを話して伝えている (主学) 日常生活や自身の友人について、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 2 My Best Friends (7h) be動詞・一般動詞の過去形	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④be動詞・一般動詞の過去形を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の友人について紹介する
		(知及技) 進行形や助動詞を理解できる (思判表力) 進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えることができる (主学)コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり、写真についてまとめて発表したりする	(知・技) 進行形や助動詞を理解し、4技能において活用している (思・判・表) 進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えている (主学) コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり、写真についてまとめて発表したりしている	Lesson 3 Love for Dance (7h) 進行形/助動詞	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④進行形・助動詞を使い、会話したり、書いたりする ⑤お気に入りの写真を紹介したり、説明する
		(知及技) be動詞／一般動詞／進行形／助動詞について理解できる	(知・技) be動詞／一般動詞／進行形／助動詞を理解し、4技能において活用している	FOCUS+ 1 (1h) be動詞／一般動詞／進行形／助動詞	①ワークシートを用いて、be動詞／一般動詞／進行形／助動詞について理解する
		(知及技) 不定詞を理解できる (思判表力) 好きな動物について、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 進行形や助動詞を理解できる (思判表力) 進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えることができる (主学) コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり、写真についてまとめて発表したりする	Lesson 4 Endangered Species (7h) 不定詞	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④不定詞を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の好きな動物について紹介・説明する

2 学 期	27	(知及技) 動名詞を理解できる (思判表力) 健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 動名詞を理解し、4技能において活用している (思・判・表) 健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えている (主学) 健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 5 The History of Chocolate (7h) 動名詞	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④動名詞を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の健康に関する取り組みについて紹介する
		(知及技) 比較表現を理解できる (思判表力) 学校での生活や好きな教科について、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 比較を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) 学校での生活や好きな教科について、考えや気持ちを話して伝えている (主学) 学校での生活について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	Lesson 6 Our School (7h) 比較(原級・比較級・最上級)	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④比較(比較級・最上級・原級)を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の学校について紹介する
		(知及技) 現在完了表現を理解できる (思判表力) セレンディビティや自身の発明について、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 現在完了を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) セレンディビティや自身の発明について、考えや気持ちを話して伝えている (主学) セレンディビティについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 7 Serendipity(7h) 現在完了	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④現在完了を使い、会話したり、書いたりする ⑤自分で発明品を考え、簡単な説明することができる
3 学 期	18	(知及技) 受動態を理解できる (思判表力) 誰かからもらった大切なものやサブールについて自身の考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 受動態を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) だれかからもらった大切なものやサブールについて自身の考えや気持ちを話して伝えている (主学) だれかからもらった大切なものやサブールについて自身の考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 8 Sapeurs (7h) 受動態	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④受動態を使い、会話したり、書いたりする ⑤サブールについて自身の意見をまとめる
		(知及技) 分詞の形容詞的用法を理解できる (思判表力) 自身の好きな映画について紹介できる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 分詞の形容詞的用法を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) 好きな映画について、考えや気持ちを話して伝えている (主学) 好きな映画について、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 9 Special Makeup Effects (7h) 分詞の形容詞的用法	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④分詞の形容詞的用法を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の好きな映画について紹介する
		(知及技) 関係代名詞を理解できる (思判表力) 将来の夢や世界の平和に寄与した日本人について紹介することができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 関係代名詞を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) 将来の夢や平和に寄与した日本人などについて、考えや気持ちを話して伝えている (主学) 将来の夢や平和に寄与した日本人などについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 10 Clean Water (7h) 関係代名詞	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④関係代名詞を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の将来の夢や世界の平和に寄与した日本人について紹介する
		(知及技) 不定詞/動名詞/比較表現を理解できる	(知・技) 不定詞/動名詞/比較を理解し、4技能において活用できる	FOCUS+ 2 (1h) 不定詞/動名詞/比較	①ワークシートを用いて、be動詞/一般動詞/進行形/助動詞について理解する
		(知及技) 買い物の表現を理解できる (思判表力) スキットを考え、行うことができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 買い物の表現を理解し、やりとりを実際に行うことができる (主学) スキット等に参加し、自身の考えや気持ちを話して伝えようとしている	COMMUNICATE+ 2 (1h) 買物の場面で、客と店員とのやり取り	①ワークシートを用いて、買い物の場面でのやりとりについて学習する ②店員役とお客さん役に分かれ、スキットを行う
		(知及技) 道案内の表現を理解できる (思判表力) スキットを考え、行うことができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 道案内の表現を理解し、やりとりを実際に行うことができる (主学) スキット等に参加し、自身の考えや気持ちを話して伝えようとしている	COMMUNICATE+ 1 (1h) 道案内	①ワークシートを用いて、道案内の場面でのやりとりについて学習する ②スキットを行う
留意点 引継ぎ等		年間を通して、ALTとのコミュニケーション活動を行う 英語検定の取り組み及び調べ学習においては、タブレット端末のアプリケーションを活用する			

単位数 / 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部 2 年		改定地学基礎 (東京書籍) ／ニューサポート改定地学基礎 (東京書籍)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：A (知・技)知識・技能 B (思・判・表)思考・判断・表現 C (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表力) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。 (学・人) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を身に付けている。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技) ・私たちの大地について、大地とその働き、地震、火山活動の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表力) ・私たちの大地について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (学・人) ・私たちの大地に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	(知・技) ・私たちの大地について、大地とその働き、地震、火山活動の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表) ・私たちの大地について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (主学) ・私たちの大地に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第1編 私たちの大地 第1章 大地とその動き 第2章 地震 第3章 火山活動	第1編 私たちの大地 第1章 大地とその動き 実習 1 地球の大きさと形を求めよう 実習 2 岩石と鉄の密度の比較 第2章 地震 実習 3 震源の深さを求める 第3章 火山活動
2学期	27	(知及技) ・私たちの空と海について、地球大気の特徴、大気・海水の特徴とその運動、日本の天気と気象災害の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表力) ・私たちの空と海について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (学・人) ・私たちの空と海に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	(知・技) ・私たちの空と海について、地球大気の特徴、大気・海水の特徴とその運動、日本の天気と気象災害の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表) ・私たちの空と海について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (主学) ・私たちの大地に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第2編 私たちの海と空 第1章 地球大気の特徴 第2章 大気の特徴とその運動 第3章 海水の特徴とその運動 第4章 日本の天気と気象災害	第2編 私たちの海と空 第1章 地球大気の特徴 実習 4 大気の高さによる気圧と温度の変化を調べる 第2章 大気の特徴とその運動 実習 5 緯度ごとの太陽放射のりょうと地球放射の量を比較する 第3章 海水の特徴とその運動 第4章 日本の天気と気象災害
3学期	18	(知及技) ・私たちの宇宙の誕生について、宇宙の構造と進化、太陽系の誕生の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表力) ・私たちの宇宙の誕生について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (学・人) ・私たちの宇宙の誕生に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	(知・技) ・私たちの宇宙の誕生について、宇宙の構造と進化、太陽系の誕生の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表) ・私たちの宇宙の誕生について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (主学) ・私たちの宇宙の誕生に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第3編 私たちの宇宙の誕生 第1章 宇宙の構造と進化 第2章 太陽系の誕生	第3編 私たちの宇宙の誕生 第1章 宇宙の構造と進化 第2章 太陽系の誕生
		(知及技) ・私たちの地球の歴史について、地層と化石の観察、古生物の変遷と地球環境の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表力) ・私たちの地球の歴史について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (学・人) ・私たちの地球の歴史に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	(知・技) ・私たちの地球の歴史について、地層と化石の観察、古生物の変遷と地球環境の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表) ・私たちの地球の歴史について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (主学) ・私たちの地球の歴史に関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第4編 私たちの宇宙の誕生 第1章 地層と化石の観察 第2章 古生物の変遷と地球環境	第4編 私たちの宇宙の誕生 第1章 地層と化石の観察 実習 6 露頭を観察して過去のできごとを推察する 第2章 古生物の変遷と地球環境
		(知及技) ・地球に生きる私たちについて、日本の自然の恵みと防災、地球環境と私たちの生活、これからの地球環境の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表力) ・地球に生きる私たちについて、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (学・人) ・地球に生きる私たちに関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	(知・技) ・地球に生きる私たちについて、日本の自然の恵みと防災、地球環境と私たちの生活、これからの地球環境の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 (思判表) ・地球に生きる私たちについて、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 (主学) ・地球に生きる私たちに関する事物、現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第5編 地球に生きる私たち 第1章 日本の自然の恵みと防災 第2章 地球環境と私たちの生活 終章 これからの地球環境	第5編 地球に生きる私たち 第1章 日本の自然の恵みと防災 実習 7 災害発生時の行動を想定する 第2章 地球環境と私たちの生活 終章 これからの地球環境
留意点 引継ぎ等		【評価方法】授業態度、発問評価、レポート、小テスト ・生徒の実態に応じて、実験実習を精選して行う。			

令和8年度 高等部2年（I課程） 家庭科 家庭基礎 年間指導計画

6 単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	高等部2学年		高等学校家庭基礎/第一学習社／他

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身につけるようにする。 (思判表力)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (学・人)様々な人々と協同し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技)「ホームプロジェクト」の意義と実施方法について理解する。 (学・人)生活の中から課題を見出し、個人単位で主体的に計画を立てて問題の解決できる。	(知・技)「ホームプロジェクト」の意義と実施方法について理解している。 (主学)生活の中から課題を見出し、個人単位で主体的に計画を立てて問題の解決しようとしている。 ・課題提出 (家庭基礎の授業全体を通じて行う)	家庭科の学び方－学習から実践へ ・ホームプロジェクトとは	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
	4	(知及技)食事の役割を認識し、食が心身を育むうえでも大切なものであることを理解する。 (思判表力)人間の体の生理的周期を知り、なぜ朝食をきちんととる必要があるかを考える。 (学・人)日常の食生活を振り返り、健康や生活習慣に直結する食事について学ぶ意欲を高める。	(知・技)食が食事の役割を認識し、食が心身を育むうえでも大切なものであることを理解している。 (思・判・表)人間の体の生理的周期を知り、なぜ朝食をきちんととる必要があるかを考えている。 (学・人)日常の食生活を振り返り、健康や生活習慣に直結する食事について学ぶ意欲を高めている。	5章 食生活をつくる 第1節 人の一生と食事	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
	4	(知及技)健康の維持・増進、体の成長のために必要な食事摂取基準について理解する。 (思判表力)食品群別摂取量のめやすについて理解し、自分に必要な栄養素を考える。	(知・技)健康の維持・増進、体の成長のために必要な食事摂取基準について理解している。 (思・判・表)食品群別摂取量のめやすについて理解し、自分に必要な栄養素を考えることができる。	第2節 栄養と食品 ・五大栄養素 ・4つの食品群	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
2 学期	5	(知及技)食中毒にはどのような種類があるかを知り、食品の取り扱い、手の清潔、台所や調理器具の衛生などの面での注意事項について理解する。 (思判表力)食品表示、栄養表示を通して内容を読みとり、身体状況に応じた食品を選択できる。 (学・人)食品添加物の用途を理解するとともに、食品に含まれている食品添加物の名称・使用目的などを調べ、購入に際しての選択法を身につける。	(知・技)食中毒にはどのような種類があるかを知り、食品の取り扱い、手の清潔、台所や調理器具の衛生などの面での注意事項について理解している。 (思・判・表)食品表示、栄養表示を通して内容を読みとり、身体状況に応じた食品を選択できるようにする。 (主学)食品添加物の用途を理解するとともに、食品に含まれている食品添加物の名称・使用目的などを調べ、購入に際しての選択法を身につけている。	第3節 食生活の安全のために	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
	5	(知及技)食品の選択・計量・器具の扱い、および包丁の使い方、野菜の切り方など調理の基本技術を習得する。 (思判表力)1日3食のバランスがとれた食事計画を考える。 (学・人)安全と衛生に気をつけて調理実習を行う。	(知・技)食品の選択・計量・器具の扱い、および包丁の使い方、野菜の切り方など調理の基本技術を習得している。 (思判表力)1日3食のバランスがとれた食事計画を考えることができる。 (主学)安全と衛生に気をつけて調理実習を行うことができる。 ・調理実習	第4節 食生活をデザインする	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
	4	(知及技)日本各地に見られる特徴的な住まいを比較し、住まいは、条件の異なる地域の気候や風土に応じてつくられたことを理解する。 (思判表力)災害や家庭内事故の原因について知り、住まいの安全対策を考える。 (学・人)住環境が生活に大きな影響を与えることを理解し、衛生的な室内を保つための掃除ができる。	(知・技)日本各地に見られる特徴的な住まいを比較し、住まいは、条件の異なる地域の気候や風土に応じてつくられたことを理解する。 (思・判・表)災害や家庭内事故の原因について知り、住まいの安全対策を考える。 (主学)住環境が生活に大きな影響を与えることを理解し、衛生的な室内を保つための掃除ができる。	7章 住生活をつくる 第1節 人の一生と住まい 第2節 住生活の計画と選択	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。

3 学 期	4	(知及技)家庭の生活を支える収入と支出の運営など、家計の管理について理解する。 (思判表力)生涯を見通した経済計画を立てるには、リスクへの対応策も必要であることについて考える。	(知・技)家庭の生活を支える収入と支出の運営など、家計の管理について理解できる。 (思・判・表)生涯を見通した経済計画を立てるには、リスクへの対応策も必要であることについて考えることができる。	8章 経済生活を作る 1節 私たちの暮らしと経済	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
	5	(知及技)販売方法、支払い方法が多様であることを知り、購入時に適切な判断が必要であることを理解する。 (思判表力)消費者被害の事例を通して、消費者被害の状況を理解し、消費者被害が起こる原因を考え、対策を考える。 (学・人)消費者として適切な意思決定のもとに権利を行使し、責任ある消費行動を取っていかうという態度を養う。	(知・技)販売方法、支払い方法が多様であることを知り、購入時に適切な判断が必要であることを理解できる。 (思・判・表)消費者被害の事例を通して、消費者被害の状況を理解し、消費者被害が起こる原因を考え、対策を考えることができる。 (主学)消費者として適切な意思決定のもとに権利を行使し、責任ある消費行動を取っていかうという態度を身につける。	2節 消費者問題を考える	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
留意点 引継ぎ 等	生徒の実態や理解度に合わせ、内容を柔軟に対応する。 年間を通して、手洗い等の衛生管理、清掃活動に取り組む。				

令和8年度 高等部 2年（ I 課程 ） 情報科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部 2年		高等学校 情報 I

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 （思判表力）事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 （学・人）情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	23	（知及技） ・情報を伝えるときに大切なデザインの基本について理解できるようにする。 （思判表力） ・集計表の作成に必要な処理について考察できるようにする。 ・収集した情報から，解決策を考えることができるようにする。 ・調査の結果と分析をもとに，提案の内容を考察できるようにする。 （主・人） ・情報サービスで解決できる課題について，自分の考えを深めることができるようにする。 ・情報を整理する場面やその構築例について自分の考えを深めることができるようにする。	（知及技） ・情報を伝えるときに大切なデザインの基本について理解している。 （思判表力） ・集計表の作成に必要な処理について考察している。 ・収集した情報から，解決策を考えることができる。 ・調査の結果と分析をもとに，提案の内容を考察している。 （主学） ・情報サービスで解決できる課題について，自分の考えを深めようとしている。 ・情報を整理する場面やその構築例について自分の考えを深めようとしている。	【単元2】「コミュニケーションと情報デザイン」 第2節 情報デザイン ②情報デザイン	【単元2】「コミュニケーションと情報デザイン」 第2節 情報デザイン ・ワークシート ・実習 ・検索・話し合い ・Formsテスト，ワークシート
	8	（知及技） ・情報を伝える手段であるポスター，Webによる表現の特徴を理解できるようにする。 ・色についての基礎知識を理解できるようにする。 ・問題の発見，解決のための情報収集の手法について理解できるようにする。 ・相互評価・自己評価・改善の方法について理解できるようにする。 （思判表力） ・他の発表を適切に評価し改善案を考えることができるようにする。 ・ソーシャルメディアの活用法について，発信者・受信者の双方の立場に立って考えることができるようにする。 ・身近にあるポスターを使って情報を伝えるためのデザインの工夫について考えることができるようにする。 （学・人） ・ソーシャルメディアの利便性と問題点を正しく理解し，よりよい活用法を探ろうとすることができるようにする。 ・表現の違いによってどのように印象が変わるかについて考えようとすることができるようにする。 ・身近なポスターやWebサイトから，情報を伝えるための工夫を見つけようとするができるようにする。 ・評価と振り返りの重要性について主体的に考えようとするができるようにする。	（知及技） ・情報を伝える手段であるポスター，Webによる表現の特徴を理解している。 ・色についての基礎知識を理解している。 ・問題の発見，解決のための情報収集の手法について理解している。 ・相互評価・自己評価・改善の方法について理解している。 （思判表力） ・他の発表を適切に評価し改善案を考えることができる。 ・ソーシャルメディアの活用法について，発信者・受信者の双方の立場に立って考えることができる。 ・身近にあるポスターを使って情報を伝えるためのデザインの工夫について考えることができる。 （主学） ・ソーシャルメディアの利便性と問題点を正しく理解し，よりよい活用法を探ろうとすることができる。 ・表現の違いによってどのように印象が変わるかについて考えようとするができる。 ・身近なポスターやWebサイトから，情報を伝えるための工夫を見つけようとするができる。 ・評価と振り返りの重要性について主体的に考えようとすることができる。	【単元2】「コミュニケーションと情報デザイン」 第2節 情報デザイン ③情報を伝えるさまざまな手段 ④誰にとってもわかりやすい情報デザインの工夫 ⑤情報デザインの流れ	【単元2】「コミュニケーションと情報デザイン」 第2節 情報デザイン ・ワークシート ・実習 ・検索・話し合い ・Formsテスト，ワークシート ・文化祭のポスター作り☑ 1 ポスターを研究しよう 2 ポスターを企画しよう 3 ポスターを制作しよう 4 自己評価から改善につなげよう 5 発表！ 相互評価をしよう
	8	（知及技） ・情報量の単位について理解できるようにする。 ・動画のデータ量を計算する方法を理解できるようにする。 ・データを圧縮する方法と特徴を理解できるようにする。 （思判表力） ・動画を圧縮する方法について考察できるようにする。 ・目的に応じた適切な圧縮方法を考え，表現することができるようにする。	（知及技） ・情報量の単位について理解している。 ・動画のデータ量を計算する方法を理解している。 ・データを圧縮する方法と特徴を理解している。 （思判表力） ・動画を圧縮する方法について考察している。 ・目的に応じた適切な圧縮方法を考え，表現することができる。	【単元2】「コミュニケーションと情報デザイン」 第3節 情報のデジタル化☑ ①デジタルデータと2進法	【単元2】「コミュニケーションと情報デザイン」 第3節 情報のデジタル化 ・ワークシート ・実習 ・検索・話し合い ・Formsテスト，ワークシート

2 学 期		(学・人) ・データの種別を主体的に区別できるようにする。 ・動画のデジタル化のしくみに関心を持ち、実習に主体的に取り組めるようにする。 ・画像を別々のファイル形式で保存したときのファイルサイズを比較できるようにする。	(主学) ・データの種別を主体的に区別しようとしている。 ・動画のデジタル化のしくみに関心を持ち、実習に主体的に取り組もうとしている。 ・画像を別々のファイル形式で保存したときのファイルサイズを比較しようとしている。		
	22	(知及技) ・コンピュータは決められたアルゴリズムの通りに命令を実行していることを理解できるようにする。 ・Google Colaboratoryを用いたプログラムの基本構造やプログラムの変数と処理の流れについて理解できるようにする。 ・効率のよいプログラミングの考え方、構造化とオブジェクト指向の考え方について理解できるようにする。 (思判表力) ・作業効率が上がる方法について考えることができるようにする。 ・プログラム処理のようすを表現することができるようにする。 ・効率よく結果を出すために、条件や目的に合った簡潔でわかりやすいアルゴリズムについて考察できるようにする。 ・プログラムとデータの関係について考察できるようにする。 (学・人) ・さまざまなプログラミング言語について関心を持ち、その特徴について調べることができるようにする。 ・Google Colaboratoryでプログラムを組むことに主体的に取り組もうとしている。 ・プログラムをよりよくするための工夫について主体的に考えることができるようにする。	(知及技) ・コンピュータは決められたアルゴリズムの通りに命令を実行していることを理解している。 ・Google Colaboratoryを用いたプログラムの基本構造やプログラムの変数と処理の流れについて理解している。 ・効率のよいプログラミングの考え方、構造化とオブジェクト指向の考え方について理解している。 (思判表力) ・作業効率が上がる方法について考えている。 ・プログラム処理のようすを表現することができる。 ・効率よく結果を出すために、条件や目的に合った簡潔でわかりやすいアルゴリズムについて考察している。 ・プログラムとデータの関係について考察している。 (主学) ・さまざまなプログラミング言語について関心を持ち、その特徴について調べようとしている。 ・Google Colaboratoryでプログラムを組むことに主体的に取り組もうとしている。 ・プログラムをよりよくするための工夫について主体的に考えようとしている。	【単元3】コンピュータとプログラミング 第2節 アルゴリズムとプログラム ① ものごとの手順とアルゴリズム ② アルゴリズムを図式化してみよう ③ プログラムとプログラミング言語 ④ プログラムの構造 ⑤ プログラムを改善するときの考え方 ⑥ プログラミングスタイルの変化	【単元3】コンピュータとプログラミング 第1節 コンピュータのしくみ 第2節 アルゴリズムとプログラム ・ワークシート ・実習 ・検索・話し合い ・Formsテスト、ワークシート 実習 ・Google Colaboratoryでテキストプログラミングの基礎を体験しよう ・身近な手順をフローチャートであらわそう ・Python言語でプログラミングコードを記述してみよう
3 学 期	9	(知及技) ・情報サービスの実例を理解できるようにする。 ・情報システムにデータベースが欠かさないことを理解できるようにする。 (思判表力) ・情報サービスにはどのような情報システムが必要か考えることができるようにする。 ・実例に応じてどのようなデータベースをつくり、どのように操作してデータを取り出すか考えることができるようにする。 (主・人) ・情報サービスで解決できる課題について、自分の考えを深めることができるようにする。 ・データベースが必要となる場面やその構築例について自分の考えを深めることができるようにする。	(知及技) ・情報サービスの実例を理解している。 ・情報システムにデータベースが欠かさないことを理解している。 (思判表力) ・情報サービスにはどのような情報システムが必要か考えている。 ・実例に応じてどのようなデータベースをつくり、どのように操作してデータを取り出すか考えている。 (主学) ・情報サービスで解決できる課題について、自分の考えを深めようとしている。 ・データベースが必要となる場面やその構築例について自分の考えを深めようとしている。	【単元4】情報通信ネットワークとデータの活用 第2節 情報システムとデータベース ①情報サービスとそれを支える情報システム ②データベース ③データの形式とデータモデル	【単元4】情報通信ネットワークとデータの活用 第2節 情報システムとデータベース ・ワークシート ・実習 ・検索・話し合い ・Formsテスト、ワークシート 実習 ・データベースを操作してみよう
留意点 引継ぎ等		教育課程で情報Ⅰが、1～3年に設定されており、3年間で実施することになっている 令和4年度は3単位（1～3年各1単位）、令和5年度は3単位（1～3年各1単位）、令和6年度6単位（1～3年各2単位） 令和6年度は、2年Ⅰ課程とⅡ課程Aを合同で実施 令和7年度は6単位（1～3年各2単位） 令和8年度は、2年Ⅰ課程と1年Ⅰ課程は、それぞれ単独授業。 ※標準単位2単位（70時間）で実施する内容を記載している			

令和8年度 高等部2年（Ⅰ課程） 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2学年		自主教材

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （学・人）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 探究の過程において課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念の形成に努め、探究の意義や価値を理解する。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (学・人) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、より良い社会を実現しようとする態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ・学校や自分自身、友人について知り、自分の役割や長所を実社会実生活における様々な場面で活かすことができる。 (思判表力) ・まわりの状況に応じて適切な行動をとることができる。 (学・人) ・積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度をもつことができる。	(知・技) ・学校や自分自身、友人について知り、自分の役割や長所を実社会実生活における様々な場面で活かしている。 (思・判・表) ・まわりの状況に応じて、適切な行動をとっている。 (主学) ・積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。	・自己紹介/他己紹介 ・生徒総会・交流会事前準備 ・レク (バドミントン大会)	・自分自身や友人、先生の理解や交流を深める ・新入生・転入生歓迎会準備
		(知及技) ・身だしなみや就業に対する理解を深めることができる。 ・キャリア週間の内容を理解することができる。 (思判表力) ・校外学習の意義を理解できる。 (思判表力) ・目的の為によりよい方法を考えることができる。 (学・人) ・実践的な集団行動をしようとするすることができる。	(知・技) ・身だしなみや就業に対する理解を深めている。 ・キャリア週間の内容を理解しようとする。 (思・判・表) ・校外学習に向けた準備ができる。 (思・判・表) ・意見を出し合ってよりよい方法を選び出している。 (主学) ・周りをよく見て合わせて行動している。	・身だしなみ講話 ・就業体験事前学習 ・キャリア教育推進週間 ・実習先見学 ・校外学習	・キャリア週間の取り組み ・事前学習で目的、移動方法、役割を確認する ・行先の目的を知る ・調査、探求活動の実施
		(知及技) ・平和について考えることができる。 (思判表力) ・世の中が平和になるためにどうすべきか考える。 (学・人) ・世界平和に向けた行動につなげることができる。	(知・技) ・平和学習を通して、平和について学が姿勢がある。 (思・判・表) ・平和のために自分ができることを考えている。 (主学) ・他人事でなく、自分の事として行動しようとする。	・平和学習	・平和学習を通して、過去の沖縄戦や世界中で起こっている争いについて調べる
		(知及技) ・過去に経験した行事で身に付けた経験や知識を活用できる。 (思判表力) ・課題を解決するための方法を皆で判断し、優先順位を決めることができる。 (学・人) ・仲間とコミュニケーションを図りながら活動しようとする ことができる。	(知・技) ・過去の行事を振り返り、自分の考えを伝えている。 ・森川フェスの活動内容を理解している。 (思・判・表) ・森川フェスを楽しむためにどうするか自分の意見をもっている。 ・それぞれの役割を皆で話し合って決めている。 (主学) ・森川フェスの成功に向けて、仲間とコミュニケーションを取りながら主体的に取り組もうとしている。	・森川フェス事前事後学習1	・森川フェス企画、運営
2 学期	27	(知及技) ・衛生や栄養に気を付けて調理することができる ・販売に必要な接客ができる ・洗濯やアイロンがけを正しく行うことができる (思判表力) ・販売活動を計画、実施することで企画力を高める。 ・状況に応じて必要な行動を考えて行うことができる (学・人) ・生活に必要な技能を身に付けることができる	(知・技) ・衛生や栄養に気を付けて調理している ・販売に必要な接客を心がけている。 ・洗濯やアイロンがけをについて、道具の扱い方を身に付けている。 (思・判・表) ・販売活動を計画、実施することで企画力を高める。 ・状況に応じて必要な行動を考えて行っている (主学) ・生活に必要な技能を進んで身に付けようとしている	・調理実習と栄養学習 ・販売実習(校内・校外) ・生活実習	・調理を通して栄養を学ぶ ・販売活動の企画や運営 ・販売実習の利益の使い方 (例：卒業パーティー費用に充当)などを考える ・洗濯とアイロンがけを学ぶ
		(知及技) ・過去に経験した行事で身に付けた経験や知識を活用できる。 (思判表力) ・課題を解決するための方法を皆で判断し、優先順位を決めることができる。 (学・人) ・仲間とコミュニケーションを図りながら活動しようとする ことができる。	(知・技) ・過去の行事を振り返り、自分の考えを伝えている。 ・森川フェスの活動内容を理解している。 (思・判・表) ・森川フェスを楽しむためにどうするか自分の意見をもっている。 ・それぞれの役割を皆で話し合って決めている。 (主学) ・森川フェスの成功に向けて、仲間とコミュニケーションを取りながら主体的に取り組もうとしている。	・森川フェス事前事後学習2	・森川フェス企画、運営
		(知及技) ・産業教育フェアの出展者や商品について学習することができる。 ・校外学習について情報を集めることができる。 (思判表力) ・集団の中で判断して行動することができる。 (学・人) ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・産業教育フェアの出展者や商品について学習しようとしている。 ・自分 ・校外学習先について調べようとする。 (思・判・表) ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 (主学) ・周りを意識した行動をしようとする。	・産業教育フェア見学 ・校外学習 ・実習先見学	・産業教育フェアを実際に見て学ぶ ・校外学習事前学習 ・行先の目的を知る ・調査、探求活動の実施
3 学期	18	(知及技) ・院内生徒の作品を鑑賞し良さを知ることができる。 (思判表力) ・自分の課題を発見し、目標を決めることができる。 ・情報を集めながら、校外学習の計画を立てることができる。 (学・人) ・規律や社会とのつながりを感じることができる。	(知・技) ・自分と他人の感性の違いを理解しようとする。 (思・判・表) ・自分をしっかりと分析し、改善しようとする。 (主学) ・お互いの作品を鑑賞し、みんなで協力して展示会の準備をしようとする。 ・自分で判断し責任をもって行動しようとしている。	・校外学習 ・キャリアパスポート 見直しと振り返り ・くらしとお金 (消費者教育) ・ハートアート展	・校外学習の企画、実施、振り返り ・暮らしとお金の関わりについて学習する。(外部人材の活用) ・ハートアート展に向けた作品準備と鑑賞
		(知及技) ・卒業を祝う会(卒業パーティー)の意義を理解することができる。 (思判表力) ・卒業生の立場になって、贈る言葉などを考え、文章にすることができる。 (学・人) ・卒業パーティーで企画、運営で周りの意見を尊重したり、自分の意見を適切に表現することができる。	(知・技) ・卒業を祝う会や卒業することの意味を理解している。 (思・判・表) ・自分なりに、祝う気持ちを表現できている。 (主学) ・それぞれの役割を皆で決め、卒業式に向け取り組んでいる。	・卒業パーティ ・おもてなし	・卒業パーティに関する取り組み
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2年（Ⅰ課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部2年		無し

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることを理解し、行動の仕方を身につける。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、相互の意見の一致を図ったり、意思決定できるようにする。 (学・人) 生徒の障害の状態や特性等を考慮し、望ましい集団活動を通して生活経験を広げ、社会性を育む。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) ・学級での役割を果たすことができる。 (思判表力) ・自分と学級の目標を決めることができる。 (学・人) ・学級で自己の役割を振り返ることができる。	(知・技) ・他者と協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・自分と学級の課題を発見しようとする。 (主学) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・始業式 ・入学式 ・新入生転入生歓迎会	・掲示物や時間割作成 ・学期の目標決め ・新入生転入生との交流、企画、運営
		(知及技) ・災害時の避難方法を知ることができる。 ・生徒会の活動内容を理解することができる。 (思判表力) ・避難経路の判断ができる。 ・学校生活を充実させるために何が必要か考えることができる。 (学・人) ・集団の中で命を守る行動ができる。 ・自分だけでなく、皆のことも考えることができる。	(知・技) ・火災発生時の避難方法を学ぼうとしている。 ・年間の活動内容がわかる。 (思・判・表) ・自分で考えて判断しようとしている。 ・学校を楽しむ為に、自分の意見をもつ。 (主学) ・まわりの人に合わせて行動しようとしている。 ・学校の課題等を自らの問題として考えようとする。	・火災避難訓練 ・生徒総会	・避難経路、避難方法の事前学習 ・生徒総会の企画、実施
		(知及技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解する。 ・校外学習について情報を集めることができる。 ・学期の反省をすることができる。 (思判表力) ・目的の為にによりよい方法を考えることができる。 ・集団の中で判断して行動することができる。 (学・人) ・実践的な集団行動ができる。 ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義が理解できる。 ・校外学習先について調べようとする。 ・学期の振り返りをする。 (思・判・表) ・意見を出し合ってよりよい方法を導き出している。 ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 (主学) ・まわりをよく見て合わせて行動しようとしている。	・不審者対応訓練 ・終業式	・自身の身の守り方などを学習する ・学期末反省
		(知及技) ・行事の意義を理解し、成功に向けて頑張る。 (思判表力) ・参加方法を考え、皆と協力して取り組む。 (学・人) ・行事に積極的に参加する。	(知・技) ・行事の成功に向けて知恵を出し合う。 (思・判・表) ・役割分担を相談して取り組もうとする。 (主学) ・自分たちが主役であるという自覚をもつ。	・森川フェス1	・森川フェスに向けて、それぞれの役割に責任を持たせる。
2 学期	15	(知及技) ・集団の中での役割を把握することができる。 (思判表力) ・目標を決定することができる。 (学・人) ・自己実現に向け、課題を改善することができる。	(知・技) ・協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・目標を設定しようとしている。 (主学) ・学級集団とより良く関わろうとしている。	・始業式	・学期の目標決め
		(知及技) ・行事の意義を理解し、成功に向けて頑張る。 (思判表力) ・参加方法を考え、皆と協力して取り組む。 (学・人) ・行事に積極的に参加する。	(知・技) ・行事の成功に向けて知恵を出し合う。 (思・判・表) ・役割分担を相談して取り組もうとする。 (主学) ・自分たちが主役であるという自覚をもつ。	・森川フェス2	・森川フェスに向けて、それぞれの役割に責任を持たせる。
		(知及技) ・少年犯罪について考えることができる。 (思判表力) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 (学・人) ・安全に身を守る方法などを身につける。	(知・技) ・少年犯罪について考えようとしている。 (思・判・表) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 (主学) ・危ないことに巻き込まれない意識をもつようにする。	・薬物乱用防止教室	・県内と県外の現状を知る。
		(知及技) ・校外学習について情報を集めることができる。 (思判表力) ・集団の中で判断して行動することができる。 ・学期を振り返り自己評価できる。 (学・人) ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・校外学習先について調べようとする。 (思・判・表) ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 ・しっかり学期の振り返りをしようとする。 (主学) ・周りを意識した行動をしようとする。	・終業式	・学期末反省
3 学期	8	(知及技) ・院内生徒の作品を鑑賞し良さを知ることができる。 (思判表力) ・自分の課題を発見し、目標を決めることができる。 (学・人) ・院内生徒の作品に触れ、交流を図ることで所属感を感じることができる。	(知・技) ・自分と他人の感性の違いを理解しようとする。 (思・判・表) ・自分をしっかりと分析し、改善しようとする。 (主学) ・お互いの作品を鑑賞し、みんなで協力して展示会の準備をしようとする。	・始業式 ・ハートアート展	・新年の目標 ・ハートアート展に向けた作品準備と鑑賞
		(知及技) ・卒業式における身なりや振る舞いを理解することができる。 (思判表力) ・3年生への門出の言葉を考える事ができる。 (学・人) ・3年生を祝福する気持ちで式に参加することができる。	(知・技) ・卒業式の意義や参加の仕方について理解しようとしている。 (思・判・表) ・3年生への門出の言葉を考えようとしている。 (主学) ・3年生を祝福する気持ちで参加しようとしている。	・修了式 ・卒業式	・自分自身の一年を振り返る。 ・卒業式の会場設営、歌の練習。 ・卒業する先輩への門出の言葉や感謝の思いを伝える。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2年（Ⅱ課程Aグループ） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	2年Ⅱ課程A		ひとりだちするための国語

目標：(知・技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。 (思判表力) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うことができる。 (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度をもつ。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知及技) 本にはいろいろな種類があることを知り、幅広く読書に親しむことができる。(言葉の特徴や使い方) (思判表力) 本から必要な情報を収集し、内容の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。(A聞くこと・話すこと) (学・人) 本に触れることで、必要な知識や情報を得ることに役立つことができる。	(知・技) 本の分類番号と配置について理解している。 (思・判・表) 仲間と情報を共有しようとする。 (主学) 様々な図書の分類をようとしている。	オリエンテーション 図書館利用	・国語の授業の進め方や内容について確認する。 ・図書館利用のマナーについて司書の説明を話を聞きマナーの確認をする。 ・本の場所や情報収集の方法を学ぶ。
		(知及技) 文には形容詞や接続詞などに分類できることを知る。 (思判表力) 様子や行動を表す語句、接続詞など、語彙を豊かに増やしていく。 (学・人) 形容詞や接続詞など、語句の役割を理解し、文章を書くことができる。	(知・技) 文には形容詞や接続詞などに分類できることを知ろうとする。 (思・判・表) 様子や行動を表す語句、接続詞など、語彙を豊かに増やそうとしている。 (主学) 形容詞や接続詞など、語句の役割を理解し、文章を書くこととしている。	言葉について学習しよう 文の成り立ち；品詞（名詞・動詞・形容詞・形容動詞・副詞・接続詞・助詞・感動詞）	・品詞の役割を知ろう ・分類しよう ・文を組み立てよう
		(知及技) 常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 (思判表力) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、熟語を用いたり文章を整えることができる。 (学・人) 絵を見て想像したことを基に文を書く。	(知・技) 常用漢字を書き、文や文章の中で使おうとする。 (思・判・表) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、熟語を用いたり、文章を整えようとする。 (主学) 絵を見て想像したことを基に文を書くこととする。	辞書をつかおう1 「漢字の広場」	・漢字のなりたち ・熟語の構成
2 学期	42	(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。 (思判表力) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。 (学・人) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えようとする態度をもつ。	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打っている。 (思・判・表) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。 (主学) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えようとしている。	いろいろなことを書いてみよう	・日記を書く ・作文を書く ・手紙を書く ・履歴書を書く
		(知及技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとする。 (思判表力) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。 (学・人) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとする態度をもつ。	(知・技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して自己紹介をしている。 (思・判・表) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して話している。 (主学) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとしている。	自分のことを伝えよう	・あいさつの仕方を覚えよう ・自分のことを伝えよう ・電話の使い方を覚えよう
		(知及技) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。 (思判表力) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) 相手のことを思いながら伝えたいことを表現することができる。	(知・技) 時候の挨拶や書き方の決まりを守り、文字の大きさや読みやすさを意識して書こうとしている。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、ビジネスマナーを守り伝えたいことを明確に書こうとしている。 (主学) 相手のことを思いながら伝えたいことを表現している。	「年賀状を書く」 ～文書マナーを知る～	・年賀状の目的を知る。 ・新年の挨拶や決まり事などのマナーを守る。 ・お世話になった方へ文面を考える。
		(知及技) 常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 (思判表力) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、熟語を用いたり文章を整えることができる。 (学・人) 絵を見て想像したことを基に文を書く。	(知・技) 常用漢字を書き、文や文章の中で使おうとする。 (思・判・表) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、熟語を用いたり、文章を整えようとする。 (主学) 絵を見て想像したことを基に文を書くこととする。	辞書をつかおう2 「漢字の広場」	・漢字のなりたち ・熟語の構成
3 学期	26	(知及技) 接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。 (思判表力) 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。 (学・人) 接続する語句の役割、段落の役割について理解しようとする態度をもつ。	(知・技) 接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 (思・判・表) 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。 (主学) 接続する語句の役割、段落の役割について理解しようとしている。	いろいろな物を読んでみよう	・折り込み広告を読んでみよう ・新聞を読んでみよう ・詩を読んでみよう ・本を読んでみよう
		(知及技) 他の新聞を参考にしながら、自分の特徴を考えることができる。 (思判表力) 相手に伝わるように、簡潔な言葉を選ぶことができる。 (学・人) 他の人の新聞を読んで、感想を述べることができる。	(知・技) 他の新聞を参考にしながら、自分の特徴を考えようとする。 (思・判・表) 相手に伝わるように、簡潔な言葉を選ぶようとしている。 (主学) 他の人の新聞を読んで、感じたことを発表または書こうとする態度が見られる。	自分新聞を作ろう	・自分のことを伝えよう ・簡潔な言葉を見つけよう ・感想発表
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2学年（Ⅱ課程A） 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	高等部2年(Ⅱ課程A)		「ひとりだちするための社会」(日本教育研究出版)/ 自作プリント/図書教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 身近な公共施設や社会の仕組みを、体験や視覚的な資料を通して理解し、自分の生活を支える存在として認識することができる。 (思判表力) 社会の出来事やルールを自分自身の生活に照らし合わせ、「自分ならどうするか」を考え、自分なりの方法で伝える力を養うことができる。 (学・人) 地域の人や場所に親しみをもち、社会の中で自分らしく安心して過ごすためのマナーや関わり方を前向きに学ぼうとすることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 身近な公共施設や公共物の種類や役割を理解し、それらが自分たちの生活を支えていることや、税金などで支えられていることに気付くことができる。 (思判表力) 公共施設等の利用の仕方を調べ、「だれもが気持ちよく使うため」のルールやマナーの必要性について考え、自分にできる工夫や活用法を自分の言葉で表現することができる。 (学人) 公共施設等を大切にしようとする態度をもち、学習したマナーやきまりを意識して、社会の一員として主体的に生活に生かすことができる。	(知・技) 身近な公共施設や公共物の種類や役割を理解し、それらが自分たちの生活を支えていることや、税金などで支えられていることに気付くことができる。 (思判表) 公共施設等の利用の仕方を調べ、「だれもが気持ちよく使うため」のルールやマナーの必要性について考え、自分にできる工夫や活用法を自分の言葉で表現している。 (主学) 公共施設等を大切にしようとする態度をもち、学習したマナーやきまりを意識して、社会の一員として主体的に生活に生かそうとしている。	1 公共施設の役割 役所 ② 銀行や郵便局 ③ 病院や保健所 ④ 仕事や生活の相談 ⑤ ライフイベント *この中から生徒の実態に合わせて取り組ませる	○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。 「困ったときに助けてくれる場所（交番、案内所、多目的トイレなど）」を具体的に知ることを重視する
		(知及技) 歴史上の主な事象や沖縄独自の歩みを手掛かりに、世の中の様子の変化を理解することができる。 (思判表力) 世の中の様子や人物の働き、文化遺産などの共通点や変化に着目して、人々の願いや暮らしの変化を考え、自分の言葉で表現することができる。 (学人) 平和な社会の尊さを感じ、身近な友達や周りの人と穏やかに過ごすために、自分にできることを考えることができる。	(知・技) 歴史上の主な事象や沖縄独自の歩み（琉球王国、万国津梁の精神、沖縄戦など）を手掛かりに、世の中の様子の変化を理解することができる。 (思判表) 世の中の様子や人物の働き、文化遺産などの共通点や変化に着目して、人々の願いや暮らしの変化を考え、自分の言葉で表現することができる。 (主学) 平和な社会の尊さを感じ、身近な友達や周りの人と穏やかに過ごすために、自分にできることを考えようとしている。	2 日本・沖縄の歴史 ① 日本の歴史年表（石器にも触れる） ② 近代以降の沖縄 ③ 第二次世界大戦を経て ④ 平和な社会をめざす	○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。 ●平和学習（沖縄戦の歴史）と関連づけながら、歴史を学ぶ意義や平和とは何か考え、表現することができるようにする。 ●校外学習で行く博物館の学習も連動して行う。
2 学期	30	(知及技) 地図帳や地球儀を活用して、大陸や海洋との位置関係を正しく読み取ることができる。 (思判表力) 大陸や海洋、近隣諸国との位置関係に着目して、海洋に囲まれた島国としての特色を多角的に考え、日本の国土が持つ良さや課題を自分の言葉で表現することができる。 (学人) 我が国の国土の特色に関心を持ち、世界との関わりについて自分なりの考えをまとめ、意欲的に学ぶことができる。	(知・技) 地図帳や地球儀を活用して、大陸や海洋との位置関係を正しく読み取ることができる。 (思判表) 大陸や海洋、近隣諸国との位置関係に着目して、海洋に囲まれた島国としての特色を多角的に考え、日本の国土が持つ良さや課題を自分の言葉で表現することができる。 (主学) 我が国の国土の特色に関心を持ち、世界との関わりについて自分なりの考えをまとめ、意欲的に学ぶことができる。	3 私たちの国土 ① 世界の中の日本 ② 日本の国土 ③ 自然災害を防ぐ	○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。
		(知及技) 社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解することができる。 (思判表力) 社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、自分の言葉で表現することができる。 (学人) 社よりよい社会を作るためのきまりの大切さを実感し、身近な課題の解決に自分事として関わるることができる。	(知・技) 社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解できている。 (思判表) 社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、自分の言葉で表現することができる。 (主学) よりよい社会を作るためのきまりの大切さを実感し、身近な課題の解決に自分事として関わるることができる。	4 私たちと民主政治 ① 政治の仕組み ② 日本国憲法 ③ 税金 ④ 社会保障	
3 学期	16	(知及技) 世界の国々の生活や文化、習慣の違いについて、資料などを活用して正しく理解することができる。 (思判表力) 外国の人々の暮らしと日本を比較し、文化の共通点や違いが生じる理由を考え、自分の言葉で表現することができる。 (学人) 世界には様々な文化があることを知り、互いの違いを否定せずに受け入れ、社会の一員として大切にすることができる。	(知・技) 世界の国々の生活や文化、習慣の違いについて、資料などを活用して正しく理解することができる。 (思判表) 外国の人々の暮らしと日本を比較し、文化の共通点や違いが生じる理由を考え、自分の言葉で表現することができる。 (主学) 世界には様々な文化があることを知り、互いの違いを否定せずに受け入れ、社会の一員として大切にできている。	5 世界と日本のつながり ① 国際協力 ② 環境保全 ③ サステナブル（持続可能）な社会をめざして	○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。
留意点 引継ぎ等		・異学年生徒同士での学習となるため、既習事項が異なる。実態に応じた学習ができるよう配慮する。 ・教師が作成したスライドを参照したり、iPadやPCなどを使用して調べ学習や発表活動などを行う。 ・生徒の興味関心を高められるように、歴史資料や関連動画などを活用する。 ・学校行事や学部行事での学習活動と関連付けさせながら取り組む。 ・評価方法：授業態度、発問評価、提出課題、ファイル（ワークシート）提出			

令和 8 年度 高等部 2年（Ⅱ課程A） 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	高等部2年		ひとりだちするための算数・数学

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。(高等部) (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を高める。(高等部) (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことをふりかえり、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を高める。(高等部)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) ・頭の中で、折りたたんだ紙に穴を開けるイメージがある。 ・予算内にどんなものが購入できるか知る。 (思判表力) ・頭の中で折り曲げた紙の展開図を描ける。 ・予算内におさめるためにどのメニューを選ぶ事ができるのか考える。 ・おつりの小銭を少なくする方法を考える。 (学・人) ・お金の支払いをするための工夫をしようとしている。	(知・技) ・頭の中で、折りたたんだ紙に穴を開けるけたとき、穴の位置がどこかわかる。 ・予算内にどんなものを購入できるか理解することができる。 (思・判・表) ・展開図の仕組みを理解して想像することができる。 ・予算内におさめるためにどのメニューを選ぶか考えることができる。 ・おつりの小銭を少なくする方法を考える事ができる。 (主学) ・お金の支払い方の工夫をしようとしている。	コグトレ 金銭 表とグラフ	- 想像する（穴の位置） - おつりのある払い方 - 予算を考えよう - 好きな食べ物調べ - 休日に遊園地にでかけよう
		(知及技) ・頭の中で、イメージを回転させる。 ・レシートの見方がわかる。 (思判表力) ・レシートの項目と数字を見ながら処理する。 (学・人) ・お金を管理しようとしている。	(知・技) ・頭の中で、3次元空間がわかる。 ・レシートと小遣い帳の関連を理解することができる。 (思・判・表) ・小遣い帳を正しく書くことができる。 ・計算機を使って、正確に計算することができる。 (主学) ・金銭感覚を身につけ、計画的に金銭を管理しようとする。	コグトレ 金銭	- 想像する（心で回転） - 小遣い帳をつけよう
2 学期	30	(知及技) ・それぞれの関係性を理解する。 ・バスの利用の仕方を知る。 (思判表力) ・家から学校までのバスの乗り方を考える。 ・自分にとってベストなバス賃の支払い方を考える。 (学・人) ・バス通学する方法を知ろうとする。	(知・技) ・それぞれの関係性を理解することができる。 (思・判・表) ・バスの利用の仕方を理解している。 ・家から学校までのバスの乗り方を考える事ができる。 ・自分にとってベストなバス賃の支払い方を考える事ができる。 (主学) ・バス通学する方法を知ろうとしている。	コグトレ 公共交通機関の利用	- 想像する（順位決定戦） - バス賃はいくら？ - 最寄りのバス停から学校に来るには（模擬）
		(知及技) ・それぞれの関係性を理解する。 ・調べた物を表にする方法を知る。 ・表からグラフを作成する。 ・結果の大小関係がわかる。 (思判表力) ・どのように表すことで結果がわかりやすいか考える。 ・様々な項目の比較を考える。 (学・人) ・他にどんなグラフの形があるか知ろうとする。	(知・技) ・それぞれの関係性を理解することができる。 (思・判・表) ・表から棒グラフを作成することができる。 ・結果の大小関係が理解できている。 ・それぞれを比較して、論理的に順位付けをすることができる。 ・ばっと見て結果がわかりやすいグラフを考える事ができている。 (主学) ・項目の大小関係の比較を考える事ができている。 ・他にどのようなグラフの形があるのかしろうとしている。	コグトレ 表とグラフ	- 想像する（順位決定戦） - 身の周りの生徒や先生の情報を聞いて、グラフを作ろう。
3 学期	16	(知及技) ・ストーリーを想像する。 ・映画館まで行く方法を知る。 ・映画を観るまでに必要な流れを知る。 ・必要な予算を知る。 (思判表力) ・時間の感覚を感じる。 ・移動方法を考える。 ・映画館での飲食代を考える。 ・自分にとってよりよいチケットの購入方法を考える。 (学・人) ・映画館で映画を観る方法を知ろうとする。	(知・技) ・ストーリーを想像することができる。 (思・判・表) ・時間概念を理解し、論理的に物語を作ることができる。 ・移動方法を考える事ができている。 ・映画館での飲食代を考える事ができている。 (主学) ・映画チケット購入方法を考える事ができている。 ・映画館で映画を観る方法を知ろうとしている。	コグトレ 休日に映画館に出かけよう	- 想像する（物語づくり） - 見たい映画に間に合わせて移動しよう（模擬） - 予算内に飲み物と食べ物を購入しよう（模擬）
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	高等部 1 年～ 3 年		くらしに役立つ理科（東洋館出版社）他

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする（高等部 1 ～ 2 段階階）。 （思・判・表）観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。（高等部 1 ～ 2 段階階）。 （学・人）自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う（高等部 1 ～ 2 段階階）。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	（知・技） てこの規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高2段階Cア） （思・判・表） てこの規則性について調べる中で、主にそれらの仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだすことができる。（高2段階Cイ） （学・人） てこの規則性について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとすることができる。（高2段階Cウ）	（知・技） ・力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを理解しようとしている。 （思・判・表） ・てこの規則性について、問題を思いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 （主・学） ・てこの規則性についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。	【てこの規則性】 ・てこの原理について ・てこの利用	・てこを使ってできるだけ小さい力で重い物を持ち上げるにはどうしたらよいか予想し、調べる方法を考える。 ・てこが水平につり合うときにはどのようなきまりがあるのか調べる。 ・てこを利用した道具にはどのようなものがあるかを調べる。
	14	（知・技） 人の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高2段階階Aア） （思・判・表） 人の体のつくりと働きについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身に付けることができる。（高2段階階Aイ） （学・人） 人の体のつくりと働きについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身に付けることができる。（高2段階階Aウ）	（知・技） ・体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解しようとしている。 ・食べ物、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されることを理解しようとしている。 （思・判・表） ・人や他の動物の体のつくりと働きについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・人や他の動物の体のつくりと働きについて、実験、調査などを行い、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 （主・学） ・人や他の動物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・人や他の動物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【人の体のつくりと働き】 ・呼吸 ・消化・吸収 ・血液循環 ・主な臓器の存在	・人や他の動物が生きていくためには何が必要かを考える。 ・唾液の働きを調べる方法を考え、調べる。 ・実験結果を基に、唾液がデンプンを変化させたと言えるのか考え、教師と一緒にまとめる。 ・消化と吸収の仕組み、消化管と消化液の働きを調べ教師と一緒にまとめる。 ・動物の消化管のつくりを捉える。 ・肝臓の働きについて、調べ教師と一緒にまとめる。 ・呼吸の働きについて予想し、吐き出した空気と吸う空気はどのように違うのかについて、石灰水や酸素センサーで調べる。 ・結果を基に、呼吸について考え、教師と一緒にまとめる。 ・肺の働きと呼吸の仕組みを調べ、教師と一緒にまとめる。 ・動物の呼吸の仕組みを捉える。 ・全身の血流の流れと働きについて教師と一緒にまとめる。 ・臓器の働きを調べ、教師と一緒にまとめる。 ・人の体内にある臓器について、それぞれの名称や体内の位置を確かめる。
	15	（知・技） 植物の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高2段階Aア） （思・判・表） 植物の体のつくりと働きについて調べる中で、主にそれらの働きや関わりについて、より妥当な考えをつくりだす力を身に付けることができる。（高2段階Aイ） （学・人） 植物の体のつくりと働きについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身に付けることができる。（高2段階Aウ）	（知・技） ・植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることを理解しようとしている。 ・根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解しようとしている。 ・植物の体のつくりと働きについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 （思・判・表） ・植物の体のつくりと働きについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・植物の体のつくりと働きについて、実験などを行い、体内の水などの行方及び葉で養分をつくる働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 （主・学） ・植物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・植物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【植物と体のつくりと水の通り道】 ・でんぷんのでき方 ・水の通り道	・植物を着色した水に入れて、植物の体の水の通り道を調べ、まとめる。 ・植物がよくする成長する日光が必要な理由を考え、葉に日光が当たるとでんぷんができるか調べる実験を行う。 ・葉まで運ばれた水が葉などから出ているか調べ、水は水蒸気になって葉から出ていくことをまとめる。 ・気孔を観察する。 ・植物がよく成長するために日光が必要な理由を考え、葉に日光が当たるとでんぷんができるか調べる方法を考える。 ・実験結果を基に、葉に日光が当たるとでんぷんができるか考え、まとめる。 ・植物の水の通り道や日光との関わりについて、学んだことをまとめる。
2 学期	15	（知・技） 生命の連続性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高1 段階Aア） （思・判・表） 生命の連続性について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身に付けることができる。（高1 段階Aイ） （学・人） 生命の連続性について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身に付けることができる。（高1 段階Aウ）	（知・技） ・植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを理解しようとしている。 ・植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを理解しようとしている。 ・植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解しようとしている。 （思・判・表） ・植物の発芽や成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・植物の発芽や成長について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 （主・学） ・植物の発芽や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・植物の発芽や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【植物の発芽、成長、結実】 ・種子の中の養分 ・発芽の条件 ・成長の条件 ・植物の受粉・結実 ・植物の受粉・結実	・種子の発芽と温度や空気との関係性を調べる条件を整え、実験を行う。 ・種子が発芽する条件についてまとめる。 ・種子が発芽するときの子葉の働きを調べる。 ・種子が発芽するときの養分についてまとめる。 ・日光と成長、肥料と成長との関係性を調べる実験を行う。 ・日光と成長との関係、肥料と成長との関係についてまとめる。 ・植物の発芽と成長について、学んだことをまとめる。 ・ヘチマやアサガオの花のつくりを調べる。 ・ヘチマやアサガオのおしべの働きを考え、花粉を顕微鏡で観察する。

3 学 期	8	(知・技) 流れる水の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高1段階Bア) (思・判・表力) 流れる水の働きについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。(高1段階Bイ) (学・人) 流れる水の働きについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。(高1段階Bウ)	(知・技) ・流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解しようとしている。 ・川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・流れる水の働きと土地の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・流れる水の働きと土地の変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【流れる水のはたらきと土地の変化】 ・流れる水の働き ・川の上流・下流と川原の石	・水の量を変えて、流れる水の働きを調べる。 ・流れる水の働きについてまとめる。 ・川の写真を見て、気づいたことや疑問に思ったことを話し合う。 ・流れる水の働きが大きくなるのはどのようなときか、予想する。 ・流れる水の量と土地の様子の変化との関係性を調べるための方法を考える。 ・川の上流・下流の川原の石を比較し、それらの違いについて話し合い、まとめる。
	8	(知・技) 土地のつくりと変化についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高2段階Bア) (思・判・表力) 土地のつくりと変化について調べる中で、主にそれらの変化や関係について、より妥当な考えをつくりだすことができる。(高2段階Bイ) (学・人) 土地のつくりと変化について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとすることができる。(高2段階Bウ)	(知・技) ・土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また、層には化石が含まれているものがあることを理解しようとしている。 ・地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・土地のつくりと変化について、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・土地のつくりと変化について、観察、実験、調査などを行い、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・土地のつくりと変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・土地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【土地のつくりと変化】 ・土地の構成物と地層の広がり ・地層のでき方と化石 ・火山の噴火や地震による土地の変化	・崖の様子や資料写真を見て、大地の下がどのようなになっているのか考え、地層についてまとめる。 ・水の働きでできた地層の特徴や火山の働きでできた地層の特徴をまとめる。 ・流れる水の働きによる地層のでき方を予想し、容器に土を流し込むモデル実験を通して調べる。 ・水の働きによる地層のでき方や特徴について、まとめる。 ・化石について知る。 ・火山の働きによる地層のでき方を写真や資料で調べ、まとめる。 ・大地のつくりについて、学んだことをまとめる。 ・地震や火山の噴火による大地の変化について調べる。 ・調べたことを発表し、地震と火山の噴火による大地の変化についてまとめる。 ・地震や火山の噴火による災害や、災害に対する備えについて、調べたり、考えたりする。 ・資料を読んで、地震に関係する言葉の意味や、過去の記録から学んだり後世へ伝えたりする取り組みを知る。 ・資料を読んで、火山の恵みについて捉える。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2年（Ⅱ課程） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2/70		高等部2年Ⅱ課程			MOUSA 1 他
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、身体表現等の技能を身に付けるようにする。 （思判表力）音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。 （学・人）主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにすることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 （25）	2	（知及技）各学期や年間の予定や、授業の取り組みを知る。 （思判表力）自分のやりたいこと、やってみたいこと、自分ができることは何かを考え、言葉などで表すことができる。 （学・人）年間の予定を知り、自分の目標を決定し、意欲的に音楽の学習活動に取り組むことができる。	（知・技）各学期や年間の予定や授業の取り組みを知ろうとしている。 （思・判・表）自分のやりたいこと、やってみたいことを考え、自分ができることは何かを考え、言葉などで表そうとしている。 （主学）年間の予定を理解し、自分の目標を決定し主体的・協働的に音楽の学習活動に取り組もうとしている。	オリエンテーション ・学期や年間の取り組みを知ろう ・自分は何に興味があるのか考えてみよう ・興味のあることや自分の得意なことは何か探してみよう	・学期ごとの取り組みを知り、各学期や年間の目標と計画を立てる。 自分の興味はあることは何か、得意なことは何か、やりたいことは何かを探す。
	7	（知及技）曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解することができる。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けることができる。 （思判表力）音色、リズム、速度、テクスチャア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考え、演奏することができる。 （学・人）曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習に取り組むことができる。	（知・技）曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解している。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 （思・判・表）音色、リズム、速度、テクスチャア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 （主学）曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ハンドクラップアンサンブルに挑戦しよう ボディーパーカッションやCUPSに挑戦しよう	・ハンドクラップアンサンブル「Giocosol」 ・ボディーパーカッション・CUPS 「Clap, Tap with CUPS!」他
	8	（知及技）いろいろな楽器の種類や音色・響きを知ることができる。楽譜を見て旋律楽器や打楽器を演奏することができる。 （思判表力）自分でやりたい楽器やパートを選択し、きれいな音をだすためにどうしたらいいか工夫することができる。 （学・人）自分のパートの練習に主体的に取り組むことができる。	（知・技）楽譜をみて演奏することや音色や響きに気をつけて、旋律楽器や打楽器を演奏しようとしている。 （思・判・表）自分でやりたい楽器やパートを選択し、どのように演奏するかについて思いや意図をもち、工夫しようとしている。 （主学）いろいろな楽器に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	楽器に触れてみよう、音を鳴らしてみよう	・演奏しやすい楽器から選択。 ・楽器紹介 ・個別練習 ※生徒の実態に応じて取り組む。 トーンチャイム、ドラム、キーボード、鉄琴、木琴、ウクレレ等
	8	（知及技）各声部の楽器の音色や伴奏を聴いて音に合わせて演奏することができる。 （思判表力）自分の演奏する部分まで待つことや、合図に合わせて演奏すること、周りの音や順番、状況を把握し、他者と合わせて演奏することについて思いや意図をもつことができる。 （学・人）他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む、皆と合奏できる。	（知・技）各声部の楽器の音色や伴奏を聴いて音に合わせて演奏しようとしている。 （思・判・表）自分の演奏する部分まで待つことや、合図に合わせて演奏すること、周りの音や順番、状況を把握し、他者と合わせて演奏することについて思いや意図をもっている。 （主学）他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	器楽アンサンブルを楽しもう	・海の声 ・小さな恋のうた 他
2 学期 （27）	9	（知及技）曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 （思判表力）鑑賞についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。自分なりに感じたことを言葉等で表現できる。 （学・人）音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	（知・技）曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解しようとしている。 （思・判・表）音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとする思いを持っている。 （主学）音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	いろいろな曲を聴いてみよう	・鑑賞のルール ・曲の聴き方 ・色々なジャンルの曲を聴く ・ワークシート
	9	（知及技）個々が選択した表現方法で、演奏に必要な技能を身に付けることができる。 （思判表力）よりよい表現ができるために創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習に生かすことができる。 （学・人）自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に練習へ取り組むことができる。	（知・技）個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）よりよい表現ができるように、自分のよいところや課題は何かを知り、思いや意図をもって創意工夫をしている。 （主学）自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に音楽活動へ取り組もうとしている。	自分で選択した表現方法に取り組んでみよう ・目標設定 ・練習 ・振り返り	生徒が個々が選択した表現活動を個別活動で取り組む。 【歌唱】 ・発声や音程に気を付けて歌う ・曲をどのように表現したらよいか探る他 【器楽】【リズム】 ・奏法について・楽譜の読み方について・練習他 【創作】 ・創作内容の選定、決定・創作活動 他 【ダンス】 ・選曲、振り付けの創作・練習 他
	9	（知及技）他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 （思判表力）相手の演奏を聴きながら、自分の担当するパートを他者と合わせるためにどうしたらよいかを考え演奏に生かすことができる。 （学・人）集団の中でも主体的・協働的に音楽活動に参加できる。	（知・技）他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）相手の演奏を聴きながら、自分の担当するパートを他者と合わせるためにどのようにしたよいかを考え演奏に生かそうとしている。 （主学）集団の中でも、主体的・協働的に音楽活動に参加しようとしている。	皆で合わせて演奏しよう	個々が選択した表現方法を合わせて、集団活動へつなげる。
3 学期 （18）	14	（知及技）皆と一緒に演奏できる技能を身に付け、発表することができる。 （思判表力）どの発表形態なら自分は参加できるかを考え、発表方法を工夫しながら、自分が参加できる方法を見つける。 （学・人）主体的・協働的に発表に参加できる。	（知・技）皆と一緒に演奏できる技能を身に付け、皆と一緒に発表しようとしている。 （思判表力）どの発表形態なら自分は参加できるかを考え、発表方法を工夫しながら、自分が参加できる方法を見つけようとしている。 （主学）主体的・協働的に発表に参加しようとしている。	行事に向けて取り組もう ・卒業式 など	行事の内容に合わせて取り組む。
	4	（知・技）年間で取り組んだことを振り返ることができる。 （思判表力）自分自身で振り返り、できたこと、頑張ったことなどを考え、言葉で表すことができる。 （学・人）振り返りを通して、自己評価や他者評価を行うことができる。	（知・技）年間で取り組んだことを振り返ろうとしている。 （思・判・表）自分自身で振り返り、できたこと、頑張ったことなどを考え、言葉で表そうとしている。 （主学）振り返りを通して、自己評価や他者評価を行おうとしている。	1年を振り返って、まとめ	・学習内容の振り返り ・できたこと、がんばったことなどを自分自身で評価する。 ・他の皆はどうだったか、他のみんなからみて自分はどうだったかの他者評価 ・ワークシート

留意点 引継ぎ等	・生徒の実態に応じて弾力的に教材を精選して取り組んでいく。 ○儀式・行事の曲（「校歌」「月桃」「いのちのリレー」「時をこえ」「卒業式の歌」等）
-------------	--

令和8年度 高等部 2年(Ⅱ課程) 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者
2/70	高等部2年(Ⅱ課程)	

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 生徒の実態に応じて、創造的な視点について理解し、発想や構想を工夫し、創造的に表すことができる。 (思判表力) 感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などを個に応じた方法で工夫し表現することができる。 (学・人) 美術について興味・関心を深め主体的に学習に取り組み、生活や社会に目を向け、美術を愛好する心情を育む。□ □ □				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技) ●形や色彩、材料やひかりなどの働きを理解することができる。 (思判表力) ●美術作品などの良さや美しさを感じとり、作者の心情や表現の意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を広げることができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を培う。	(知・技) ○材料や道具の扱いを理解し、形や色、質感などが感情にもたらす効果を感じることができている。 (思・判・表) ○教科書や映像から、様々な美術作品を鑑賞し、それらの良さを感じ取って、自分の意見や感想を持つことができている。 (主学) ○自らすすんで楽しく創作活動や、鑑賞の活動に取り組もうとしている。	オリエンテーション 『美術を楽しむために』 絵や彫刻など 『色と形であらわす』	・自分の心の中を見つめたり、気づかなかった自分の考えに気付いたりして、自分の美術を見付けて、表現についてイメージをもつ。 ・教科書を鑑賞しながら、美術の学びの意味や広がりについて考える。 ・様々な画材、モダンテクニックを使って色や形の面白さを楽しむ。
		(知及技) ●材料や用具の特性や活かし方などを身につけ、表したいことに合わせて創意工夫して表すことができる。 (思判表力) ●身近なものを見つめ、感じ取ったことを基に主題を生み出し創意工夫して表現する構想を練ることができる。 (学・人) ●身近なものを描いた作品を鑑賞し、さまざまな表現の工夫を感じ取ることができる。	(知・技) ○形や色、質感などが感情にもたらす効果をもとに、身近なものを全体のイメージで捉えることを理解しようとしている。 (思・判・表) ○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫して構想を練っている。 (主学) ○友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図や工夫などについて考えるなどして、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	絵や彫刻など 『版で表す』	・身近なものをよく見たり、触ったりして特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。
		(知及技) ●表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かし方を身につけ、意図に応じて表現方法を工夫することができる。 (思判表力) ●造型的なよさや美しさ、表現の糸や工夫などについて考え主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み、創作活動の喜びを味わい、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。	(知・技) ○文様の形や色、構成などが見る人に与える効果について気付く、デザインを考えようとしている。 (思・判・表) ○地域の特産物や魅力から感じ取ったことや考えたこと、どのような場で使うかなどを考えて文様を工夫してあらわそうとしている。 (主学) ○地域の伝統工芸について自ら知ろうとし、創作活動や鑑賞の活動に楽しく取り組もうとしている。	デザイン 『地域の伝統工芸・紅型を知る』	・沖縄の伝統的な工芸品である紅型鑑賞し、その成り立ちや技法を知る。 ・あらかじめ糊を置いた型染めで自分の好みの配色に染める。
		(知及技) ●材料や用具の扱いを身につけ、身近なものをよく見つめ、表したいことに合わせて表現方法を工夫して表すことができる。 (思判表力) ●美術作品などの造型的なよさや美しさを感じ取り作者の心情や表現の意図について見方や感じ方を広げることができる。 (学・人) ●楽しく作品制作や鑑賞の活動に取り組み、よさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。	(知・技) ○材料や道具の扱いを理解し、形や量感などが感情にもたらす効果をもとに、表現を工夫して制作しようとしている。 (思・判・表) ○美術作品を鑑賞し、造型的なよさや美しさを感じ取り作者の心情や表現の意図などについて感想を持ち、記録したり発表しようとしている (主学) ○作品の造形的なよさや美しさを感じたり、表現の意図や工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。	絵や彫刻など 『身近なものを立体でとらえる』	・身近なものをよく見て特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・さまざまな彫刻作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。 ・塑像の基本的な技法について学び、作品制作に活かす。

2 学 期	27	(知及技) ●美術作品の表し方や特徴の違いなどを捉え、作者の心情や表現の意図などについて考えることができる。 (思判表力) ●生活の中での美術作品や文化などの良さや美しさを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について感じ方を広げることができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。	(知・技) ○形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や作品の特徴などを基に、作者の心情や表現の意図などをとらえようとしている。 (思・判・表) ○工芸品を見たり、実際に使ってみて造形的な良さや美しさを感じ取り、表現の意図や工夫について考えたり、見方や感じ方を広げることができる。 (主学) ○作品の良さや美しさを感じたり表現の意図や工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。	鑑賞 『ハートアート展を鑑賞しよう』 『すぐれた美術作品を鑑賞しよう』 『茶道と日本美術』	・ハートアート展を鑑賞し、作者の表現の意図や作品に込めた思いを感じ取り、感じたことや考えたことを話し合ったり、ワークシートに感想を記入する。 ・美術史について学んだり過去の優れた美濃作品を教科書やタブレットなどで鑑賞する。 ・タブレット端末やワークシートなどを活用し、作品がつくられた背景や茶道の歴史等について調べたり、調べたことを記入する。 ・実際に季節に合わせた茶道具を使って点前の体験を行う。
		(知及技) ●材料や用具の扱いを身につけ、身近なものをよく見つめ、表したいことに合わせて表現方法を工夫して表すことができる。 (思判表力) ●造形的な良さや美しさ、表現の糸や工夫などについて考え主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。	(知・技) ○意図に応じてアプリの特性を生かし、表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表している。 (思・判・表) ○感じたことや考えたことを基に、主題を生成し、アプリの特性を生かして構成やエフェクトなどを生かし創意工夫して表現しようとしている。 (主学) ○簡単な映像表現の特性を生かした創作活動や鑑賞の活動に主体的に取り組んでいる。	映像メディア表現 『思い出ムービーをつくろう』	・タブレットの動画アプリの基本的な操作方法を知る。 ・学校での日常の印象的な写真をあつめて簡単なムービーを作る。
3 学 期		(知及技) ●色彩やかたち、材料や光などの基本的な働きを理解することができる。 (思判表力) ●造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。	(知・技) ○ワークシートを記入しながら色彩や形などの働きについて理解しようとしている。 (思・判・表) ○美術作品などを鑑賞し、色彩や形、構成などがどのような効果をもたらしているか知ろうとしている。 (主学) ○作品の造形的な良さや美しさを感じたり、表現の意図や工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。	共通事項 『色や形について知ろう』	・ワークシートを利用したり絵の具を混色したりして、色彩や形についての学習を行う。 ・有名な美術作品を鑑賞し、色や形などの働きを見つける。
		(知及技) ●材料や用具の扱いを身につけ、表したいことに合わせて意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。 (思判表力) ●自分が表現したいことや想像したことなどを基に主題を生み出し、構想を創意工夫することができる。 (学・人) ●楽しく作品制作や鑑賞の活動に取り組み、よさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。	(知・技) ○形や色、構成や構図などの特徴などをとらえ、表現を工夫しようとしている。 (思・判・表) ○見えないものをあらわした作品の造形的な良さや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) ○美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく見えないものを形や色であらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	共同制作の魅力 『気持ちをあらわす』	・共同制作について学校全体や学年、クラスで意見を出し合い主題を生み出す。 ・材料や用具の特性を生かし、よりよいものになるよう共同で意見を出し合いながら見通しをもって制作する。 ・協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合い、共同制作の素晴らしさを味わう。
留意点 引継ぎ等		※授業計画及び教材をにおける描く活動やつくる活動について、理解度や興味・関心等に合わせ柔軟に対応する。 ※郷土の世界遺産や伝統工芸品の造形的な面白や見方、感じ方等も年間を通し授業内容に取り入れる。 ※年間を通し、多様な作品を味わい、自他の作品に親しむことができるよう、振り返り、鑑賞会、校内展示等を適宜取り入れる。 ※博物館や美術館を活用し、美術作品に親しむ機会を設ける。			

令和 8 年度 高等部 1～3 年（Ⅱ課程A） 保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	高等部 1～3 年		現代高等保健体育(大修館書店)／その他

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (学・人) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる効果があることを発言したり、書いたりしている。 ・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、関わり合うことができる。 (思・判・表) ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた運動強度や回数を考えている。 (主学) 体づくり運動に自主的に取り組もうとしている。	体づくり運動	<例示>体ほぐしの運動 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。 ・ 仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。 〈実生活に生かす運動の計画の行い方の例〉 ○ 健康に生活するための体力の向上を図る運動の計画と実践 ・ 運動不足の解消や体調維持のために、食事や睡眠などの生活習慣の改善も含め、休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むこと。
		(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、言ったり書き出したりしている。 ・ゴールの枠内にシュートをコントロールしたり、ターゲットに向かって投げの力をコントロールしている。 (思・判・表) 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 (主学) 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。	球技	○ ターゲット型 ・ ターゲットに向かって力をコントロールしながらボールを投げること。 ・ 仲間と相談をしながら作戦を考えること。 ○ ゴール型 ・ ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。 ・ 味方が操作しやすいパスを送ること。 ・ 守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。
		(知及技) 水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 (思判表力) 水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・水泳の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、効率的に泳ぐためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 (思・判・表) 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 (主学) 水の事故防止の心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとしている。	水泳	ア クロール 15～50m程度 ・ 水面上の腕は、ローリングの動きに合わせてリラックスして前方へ動かすこと。 イ 平泳ぎ 15～50m程度 ・ 肩より前で、両手で逆ハート型を描くように強くかくこと。 ・ ブルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの蹴り終わりに合わせて伸び(グライド)をとり、1回のストロークで大きく進むこと。

		(知及技) 健康な生活と疾病の予防について理解することができる。 (思判表力) 熱中症について知り、その予防方法や手当の仕方について理解することができる。 (学・人) 活動に適した環境について答えることができる。	(知・技) 健康は、主体と環境の関わりの中で成り立っていることを理解している。 (思・判・表) 熱中症になりやすい環境について知り、予防方法について答えている。 (主学) 環境が健康に及ぼす影響について考えようとしている。	保健分野 ・健康な生活と疾病予防 ・健康と環境	1 健康の成り立ち 2 調和のとれた生活 3 活動に適する環境 4 熱中症の予防と手当
2 学 期	42	(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・戦術や作戦に応じ、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、言ったり書き出したりしている。 (思・判・表) 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 (主学) 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。	球技	○ゴール型 ・ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。 ・味方が操作しやすいパスを送ること。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。
		(知及技) 武道の楽しさや喜びに触れ、伝統的な考え方やその行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。 (中1段階ア) (思判表力) 武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 武道に進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) 武道の特徴をとらえて基本的な動きを身につけている。 (思・判・表) 武道の学習成果を踏まえて、自己に適した簡単な技能を見付けている。 (主学) 一人一人の違いに応じた動きや役割を大切にしようとしている。	武道	○空手 ・突き、蹴り等の基本的な動き ・上段受け、中段受け、下段受け等の動き ・普及型Ⅰ、Ⅱ
		(知及技) 思春期における体の発達について理解することができる。 (思判表力) 心身の基本的な機能の発達について理解している。 (学・人) 心身の機能の発達と心の健康について実生活と結び付けて取り組むことができる。	(知・技) 思春期は、身長や体重が急速に発育する時期に当たることを理解している。 (思・判・表) 自分自身の心の変化を見つめるとともに、他者との望ましい関係について考えている。 (主学) 望ましい発育・発達のためにどんな生活を送ったらよいかを考え、自己の生活に活かそうとしている。	保健分野 ・心身の機能の発達 ・健康な生活と疾病の予防	1 体の発育・発達 体の各器官はどのように発育・発達するか理解する。 2 呼吸器・循環器の発達 呼吸器・循環器はどのように発達するか理解する。 3 生殖機能の成熟 思春期の体の変化や月経、射精、妊娠は、どんな仕組みで起こるか理解する。 4 性とう向き合うか 性情報への対処について考える。 5 感染症の種類と予防 性感染症を含めた感染症の種類や予防方法について知る。
3 学 期	26	(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 (思・判・表) 球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。 (主学) 互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。	球技	○ネット型 ・サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。 ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。 ・ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすること。

	(知及技) 心身の機能の発達や心身相関について理解することができる。 (思判表力) 心の健康について考えて、よりよいコミュニケーションの方法について理解することができる。 (学・人) ストレスが心身に及ぼす影響について知り、自己にあったストレスへの対処法を身に付けることができる。	(知・技) 心は様々な経験や学習によって発達し、体の健康にも影響することを理解している。 (思・判・表) よりよいコミュニケーションの方法について考え、表現している。 (主学) ストレスへの対処について、実生活に結び付けて考ようとしている。	保健分野 (心の健康)	5 心の発達 心のはたらきについて理解する。 6 社会性の発達 人とのコミュニケーションについて考える。 7 ストレスへの対処 リラクゼーションの方法を身に付ける。
	(知及技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方を知り、安全な行い方を身に付けることができる。 (思判表力) 運動や文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 運動やスポーツの効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方について理解し、安全にきをつけて活動を進めている。 (思・判・表) 運動や文化としてのスポーツの意義についての課題を自分なりに発見し、考えたことを他者に伝えている。 (主学) 運動やスポーツの効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義について積極的に学ぼうとしている。	体育理論	(1) スポーツの文化的な特性や現代のスポーツの発展 (2) 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (3) 豊かなスポーツライフの設計の仕方
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 高等部1～3年（Ⅱ課程A）職業科年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部1～3年生		楽しい職業科 わたしの夢につながる

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・働くことの意義や、将来の職業生活に係る技能やマナーを身に付ける。 (思判表力) ・将来の進路について考え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。 (学・人) ・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名 (関連教科)	単元・題材の活動内容
1学期 ～ 3学期	70	①～②作業 ・職業について理解を深めることができる。(知及技) ・仲間と協力して実習をおこない、お互いの気持ちを表現することができる。(思判表力) ③～⑤作業 ・作品作り(挿絵の枠型づくり)(知及技)(思判表力)(学・人) ⑥産業現場に等における実習・販売学習(学・人) ⑦季節毎の野菜や草花の栽培(知及技)(学・人) ※情報機器の基本操作学習(知及技)	①作業に必要な知識や技能について知ろうとしている。(知・技) ②自分の役割を理解し、協力して作業に取り組もうとしている。(思・判・表) ③作業工程が分かり、使用する道具の扱い方に慣れようとしている。(知・技) ④安全について気づき、工夫しようとしている。(思・判・表) ⑤作品の製作を通して達成感や働く喜びを感じることができる。(主学) ⑥進路に関わることについて関心を持ち、お金の取り扱いや、接客のマナーを学ぼうとしている。(主学) ⑦作業内容や手順(作業場の準備、作業工程、片付け、清掃)を理解し取り組もうとしている。(知・技)(主学) ※情報機器の基本的操作を学習しようとしている。(知・技)	①(木材加工)共通課題の作成 ②(木材加工)共通課題の作成 ③(木材加工)共通課題の作成 ④(木材加工)共通課題の作成 ⑤(木材加工)共通課題の作成 ⑥情報機器を使用してお金の計算 ⑦農業 ※情報	①服装、身だしなみについて確認する。報告・連絡・相談について確認し、適切な声の大きさできるよう練習する。毎時、木工室の約束を確認する。 ②役割分担を決め、協力して作業を行う。 ③作業前に作業内容の確認をする。機械や工具の使用方法を学び繰り返し練習する。 ④機械や工具の危険性を伝え、その都度安全確認を行う。 ⑤けがき、切断、磨き、組み立て、塗装、仕上げ等、一連の作業を通して達成感や働く喜びを享受する。 ⑥働くことの目的について知り、情報機器を使用して具体的な生活場面における計算を行うことができる。 ⑦農作業(土作り、畝立て、元肥)馬鈴薯、レタスなどの冬野菜の植え付け、花壇、ポットへの草花の定植。管理作業(灌水、追肥、摘心、摘花、収穫) ※PCの基本的操作、文字入力、各種ソフトウェア名取り扱い方のスキルの習得や情報モラル、情報セキュリティなどの光と影の学習を行う。 ※各種例文の作成、スキルの定着を図る。 ※キーボードのショートカットキーの習得。
年間を通しての指導		・分担区清掃(学・人)	・協力して分担区の清掃作業に取り組もうとしている。(主学)	・校内整備	・自分たちの活動範囲である場所の清掃活動を通して身の回りがきれいになる喜びを享受する。
留意点 引継ぎ等	※生徒の体調にあわせて、実習を行い適時休憩を入れる。(無理はさせない) ※プランター栽培は時期を考慮して実施する。 ※機械・工具等を使用する際の生徒の安全管理の徹底。 ※PCのスキルの獲得については、繰り返し指導し達成できたところまでを本人と確認する。 ※評価資料・・・活動の記録、作品等など。				

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	高等部2学年		いちばんわかりやすい家事のきほん大辞典

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付けるようにする。 （思判表力）家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 （学・人）家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	（知及技）自分の成長と家族や家庭生活との関わりが判り、家庭生活が家族の協力によって営まれていることにきづくことができる。 （思判表力）家族とのよりよい関わりについて考え、表現すること。 （知及技）職業・家庭の学習内容を知る。	（知・技）自分の成長を振り返り、将来の生活について考えようとしている。 （思・判・表）家族とのよりよい関わりについて考え、表現しようとしている。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度、ワークシート等	・オリエンテーション 一年間、三年間の授業の流れ ・教科目標の確認	・自分の成長を振り返り、働いて生活する大人になるために、自分が頑張りたいことをワークシートにまとめる。 ・働く意義や働く上で必要な力について知り、家庭内の役割について考えワークシートにまとめる。 ・パワーポイントを用いながら教科の目標や、学習内容を確認する。 ・3年間で身に付けたい目標をたてる。
2 学期	15	（知及技）衣服と社会生活との関わりがわかり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。 （思判表力）衣服の選択について考え工夫することができる。 （知及技）目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱について理解し、適切にできること。 （思判表力）目的に応じた縫い方について考え、工夫すること。	（知・技）衣服と社会生活との関わりがわかり、目的に応じた衣服を選択することができる。 （思・判・表）個性を生かす着用や衣服の選択をしようとしている。 （知・技）目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱について身に付けようとしている。 （思・判・表）目的に応じた縫い方について考え、実践しようとしている。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度、完成作品、ワークシート等	・衣服の選択 ・布を用いた製作	①服装、身だしなみについて確認する。 ・セルフ針や補助具を活用しながら個に応じた教材教具を活用する ・学習を繰り返し取り組む ・毎時間目標を確認・評価をする
3 学期	7	（知及技）日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができること。 （思判表力）基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現すること。	（知・技）目的、栄養、価格、調理の能率を考えて選択することが大切であることを理解できる。 （知・技）調理実習に用いる食品や調理用具を安全と衛生に留意した取扱い方を理解できる。 （思・判・表）日常食の調理の仕方や調理計画について考え表現できる。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度、完成作品、ワークシート等	食生活 調理の基礎、簡単な調理	・身支度 ・道具の準備 ・計量 ・調理 ・試食、後片付け ・家庭科室のさまりや利用方法を確認する。
留意点 引継ぎ等		年間を通して、手洗い等の衛生管理、清掃活動に取り組む。 調理実習は、感染症対策を行い時期を検討して実施可否を判断する。			

令和8年度 高等部2年 II課程A 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部2年 II課程A		ドラえもんはじめての英語ドリル 基本の英語表現

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞さする外国語に興味や関心を持ち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。 (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	22	(知及技) 英語であいさつができる。 アルファベットが読める。 食べ物や英語で言うことができる。 (思判表力) 簡単な英語で自己紹介ができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) アルファベットを理解している英語で挨拶している。 (思・判・表) 簡単な英語で自己紹介している。 (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている。	挨拶・自己紹介・年齢・家族に関する英語 レッスン1-8	歌やゲーム、カード・ワークシートを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・Hello. How are you? ・My name is～. ・I'm from～. ・I'm ～years old. ・How old are you?
		(知及技) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を言うことができる。 (思判表力) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を理解している。 (思・判・表) 自分の好きなことや将来のやりたい職業を表現している。 (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている。	趣味・食べ物・スポーツ・職業・教科に関する英語 レッスン9-14	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・I like～. ・What is your hobby? ・I want to be～.
		(知及技) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現が英語で言うことができる。 (思判表力) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う、単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現を理解している。 (思・判・表) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現を英語でしている。 (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている。	曜日、日付、天気、誕生日に関する英語 レッスン15-20	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・Thank you for ～.You are welcome. ・Sorry for～. ・Could you please～? ・May I～? ・Let's～.
2 学期	30	(知及技) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する表現を言うことができる。 (思判表力) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する表現を理解している。 (思・判・表) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する表現をすることができる。 (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている。	時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関する英語 レッスン21-27	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・It's ten o'clock/Monday/April/sunny. ・I'm good/Tired. ・She is～/He is～.
		(知及技) 日常生活に関連する表現を言うことができる。 (思判表力) 日常生活に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) 日常生活に関連する表現を理解している。 (思・判・表) 日常生活に関連する表現をすることができる。 (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている。	日常生活に関連する単語や表現 レッスン28-33	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・What's for breakfast? ・Wash the dishes. ・Brush your teeth. ・Take shower.
3 学期	18	(知及技) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を言うことができる。 (思判表力) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を使って自分自身の表現ができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を理解している。 (思・判・表) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている。	習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現 レッスン34-36	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・I have piano lesson today. ・Take aright at the next light. ・I'll have a cheese burger and a midium orrange juice.
留意点 引継ぎ等		・年間を通して、ALTとの交流を図る。特に外国の文化を学ぶ際は、ALTを活用する。 ・カード等を用いて、口頭や文字以外での意思表示もできるようにする。			

令和8年度 高等部 1～3年（Ⅱ課程） 情報科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部 1～3年		なし

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身につけるとともに、情報社会と人との関わりについて理解することができるようにする。 （思判表力）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	（知及技） 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ることができるようにする。[高1段階] （思判表力） 必要な情報が伝わるように効果的なコミュニケーションや問題解決のために、情報を整理したり、目的や意図をもった情報を受け手に対して分かりやすく伝達する。[高1段階] （学・人） 身近にある情報や情報技術を活用することができるようにする。[高1段階]	（知・技） 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ろうとしている。 （思・判・表） 必要な情報が伝わるように効果的なコミュニケーションや問題解決のために、情報を整理したり、目的や意図をもった情報を受け手に対して分かりやすく伝達しようとしている。 （主学） 身近にある情報や情報技術を活用しようとしている。	【単元1】 コンピュータ、iPadの基本的な操作 【単元2】 パソコンを利用した自己紹介	【単元1】 コンピュータ、iPadの基本的な操作 ・タイピング練習 ・Teamsログイン ・サーバーのデータについて ・フォルダ作成、データ量について 【単元2】 パソコンを利用した自己紹介 ・Teamsを使った自己紹介 ・canva 好きなものを集めたコラージュ作成
		（知及技） 身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技能を身に付けることができるようにする。[高1段階] （思判表力） 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて表現し、振り返り、表現を見直すことができるようにする。[高1段階] （学・人） 情報や情報技術を適切に活用することができるようにする。[高1段階]	（知・技） 身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技能を身に付けようとしている。 （思・判・表） 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて表現し、振り返り、表現を見直そうとしている。 （主学） 情報や情報技術を適切に活用しようとしている。	【単元3】文化祭のポスター・チラシなどの作成	【単元3】「文化祭のポスター・チラシなどの作成」 ・ポスターやチラシを作成・工夫（行事に合わせた取り組み） ・画像やフォント、レイアウトなどを工夫 ・作成 ・発表、評価、見直し
2 学期	15	（知及技） 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ることができるようにする。[高1段階] （思判表力） データの収集、整理及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行することができるようにする。[高1段階] （学・人） 身近にある情報や情報技術を活用することができるようにする。[高1段階]	（知・技） 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ろうとしている。 （思・判・表） データの収集、整理及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行しようとしている。 （主学） 身近にある情報や情報技術を活用しようとしている。	【単元4】身近にあるデータをコンピュータで処理してみよう	【単元4】「身近にあるデータをコンピュータで処理してみよう」 ・身近な生活に必要な支出など、年間に必要な金額や季節ごとに変わってくる状況などを数値化し比較する ・数値データを指定された表に入力する ・技能検定
3 学期	7	（知及技） 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ることができるようにする。[高段階] （思・判・表） 身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えようとしている。 （学・人） 情報社会に関わろうとする態度を養うことができるようにする。[高段階]	（知・技） 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ろうとしている。 （思・判・表） 身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えようとしている。 （主学） 情報社会に関わろうとする態度を養うとしている。	【単元5】生活に関わるクレジットカード、電子マネー、キャッシュレス決済の活用	【単元5】「生活に関わるクレジットカード、電子マネー、キャッシュレス決済の活用」 ・情報通信技術の進歩による購入方法の変化に対して適切に対応できるようにする。 ・クレジットカードについての基礎知識 ・電子マネーやキャッシュレス決済などの利用方法 ・安全に利用する方法とトラブル時の対応
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1年（Ⅱ課程Aグループ） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1年Ⅱ課程A		私たちの未来 未来の私たち

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度をもつ。			
学期	時数	ねらい	評価の視点	教材名 「主題名」 【内容項目】	学習活動
1学期	12	これまでの自分の経験を振り返りながら、心の弱さを乗り越えさせるものとは何か、考える、気づく。	【多面的・多角的に考える】 登場人物の姿や自分の経験から、人の醜さや甘え、それを乗り越える強さや誇りなど、人が悩みながら生きる姿について、考えを深めているか。 【自分ごととして考える】 自分の心の弱さを見つめ、その弱さを乗り越えるために大切にしたいことについて考えているか。	「自分で決める」 「自分らしさを伸ばす」 「新たな発想を生み出す」 「生活をつくる」 「勇気を出す」 【自主、自立、個性の伸長、向上心】 ★教科書 A：自分のこと	・教科書を読む ・自分の経験を振り返る ・考えをまとめる ・討論する ・発表する
		生命の尊さを知り、生命あるものを大切にしようとする気持ちを育てる。	【多面的・多角的に考える】 命を大切にすることはどのようなことか、他者の意見を手がかりに自分の考えを広げようとする意欲をもち、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 戦争を体験した人々の立場に立ち、現在の平和に対する考えを深めている。	「慰霊の日：平和について考える」 【生命の尊さ】	・講話を聞く ・感想を書く
2学期	15	人と人とがわかり合うために大切なことは何かを考え、行動に移せるようになる。	【多面的・多角的に考える】 相手とわかり合うことについて、他者との関係性や自分への影響などのさまざまな側面から考えているか。 【自分ごととして考える】 これまでに、どんなふうに相手に考えを伝えたり、相手を理解したりしようとしてきたかと、自分を振り返っているか。	「思いやりに応える」 「友情を深める」 「礼儀の大切さ」 「互いに分かり合う」 【相互理解、思いやり、感謝、友情、礼儀】 ★教科書 B：人との関わり	・教科書を読む ・自分の経験を振り返る ・考えをまとめる ・討論する ・発表する
		よりよい集団の一員であるためには、どんな考えが大切なのかについて考え、自分の役割と責任を自覚し、協力して集団生活を向上させようとする判断力を育てる。	【多面的・多角的に考える】 集団の意義と目的を理解しながら役割を果たすことについて、さまざまな立場や見方で考えを深めているか。 【自分ごととして考える】 自分は、集団の中での役割や責任について、どんな考えをもっていたかと自分を振り返っているか。	「決まりに向き合う」 「みんなのために」 「家族のことを考える」「郷土の伝統を受け継ぐ」 「世界に心を向ける」 「公平に接する」 「働くことの意味」 「集団の一人として」 「日本人としてできること」 【よりよい学校生活、集団生活の充実、公共心、伝統と文化】 ★教科書 C：集団の中で	・教科書を読む ・自分の経験を振り返る ・考えをまとめる ・討論する ・発表する
		友達と互いに理解し、信頼し、助け合おうとする気持ちを育てる。	【多面的・多角的に考える】 「相手」がどのような状況なのか考え、発言する。他の人の意見に触れながら考えを深める。 【自分ごととして考える】 相手という存在に対するイメージを描いたり、その人が参加しやすい方法を考えたりする際に、具体的な場面を想起しながら考えている。	「院内で学ぶ児童生徒と交流しよう」 【友情、信頼】	・カードゲームやボードゲーム等、企画、運営
3学期	8	人の感動の源にあるものを見つめ、人が、人間の力を越えたものを前に心動かされるその思いを大切にしようとする心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 話し合いを通して、感動する対象や感動する心の在り方は多様であることについて考えているか。 【自分ごととして考える】 これまで自分自身が感動したものや出来事を理由や条件とともに振り返っているか。	「命の尊さ」 「感動を伝える」 「自然を守り抜く」 「志高く生きる」 【生命の尊さ、感動、畏敬の念】 ★教科書 D：輝く命	・作品の鑑賞の仕方を学習する。 ・教科書を読む ・自分の経験を振り返る ・考えをまとめる ・討論する ・発表する
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部2年（Ⅱ課程） 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2学年		自主教材

目標：（知・技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 探究の過程において課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念の形成に努め、探究の意義や価値を理解する。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (学・人) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、より良い社会を実現しようとする態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ・学校や自分自身、友人について知り、自分の役割や長所を実社会実生活における様々な場面で活かすことができる。 (思判表力) ・まわりの状況に応じて適切な行動をとることができる。 (学・人) ・積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度をもつことができる。	(知・技) ・学校や自分自身、友人について知り、自分の役割や長所を実社会実生活における様々な場面で活かしている。 (思・判・表) ・まわりの状況に応じて、適切な行動をとっている。 (主学) ・積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。	・自己紹介/他己紹介 ・生徒総会・交流会事前準備 ・レク(バドミントン大会)	・自分自身や友人、先生の理解や交流を深める ・新入生・転入生歓迎会準備
		(知及技) ・身だしなみや就業に対する理解を深めることができる。 ・キャリア週間の内容を理解することができる。 ・校外学習の意義を理解できる。 (思判表力) ・目的の為によりよい方法を考えることができる。 (学・人) ・実践的な集団行動をしようことができる。	(知・技) ・身だしなみや就業に対する理解を深めている。 ・キャリア週間の内容を理解しようとする。 ・校外学習に向けた準備ができる。 (思・判・表) ・意見を出し合ってよりよい方法を導き出している。 (主学) ・周りをよく見て合わせて行動している。	・身だしなみ講話 ・就業体験事前学習 ・キャリア教育推進週間 ・実習先見学 ・校外学習	・キャリア週間の取り組み ・事前学習で目的、移動方法、役割を確認する ・行先の目的を知る ・調査、探求活動の実施
		(知及技) ・平和について考えることができる。 (思判表力) ・世の中が平和になるためにどうすべきか考える。 (学・人) ・世界平和に向けた行動につなげることができる。	(知・技) ・平和学習を通して、平和について学ぶ姿勢がある。 (思・判・表) ・平和のために自分ができることを考えている。 (主学) ・他人事でなく、自分の事として行動しようとする。	・平和学習	・平和学習を通して、過去の沖縄戦や世界中で起こっている争いについて調べる
		(知及技) ・過去に経験した行事で身に付けた経験や知識を活用できる。 (思判表力) ・課題を解決するための方法を皆で判断し、優先順位を決めることができる。 (学・人) ・仲間とコミュニケーションを図りながら活動しようすることができる。	(知・技) ・過去の行事を振り返り、自分の考えを伝ええている。 ・森川フェスの活動内容を理解している。 (思・判・表) ・森川フェスを楽しむためにどうするか自分の意見をもっている。 ・それぞれの役割を皆で話し合っている。 (主学) ・森川フェスの成功に向けて、仲間とコミュニケーションを取りながら主体的に取り組もうとしている。	・森川フェス事前事後学習1	・森川フェス企画、運営
2 学期	27	(知及技) ・衛生や栄養に気を付けて調理することができる。 ・販売に必要な接客ができる。 ・洗濯やアイロンがけを正しく行うことができる。 (思判表力) ・販売活動を計画、実施することで企画力を高める。 ・状況に応じて必要な行動を考えて行うことができる。 (学・人) ・生活に必要な技能を身に付けることができる。	(知・技) ・衛生や栄養に気を付けて調理している。 ・販売に必要な接客を心がけている。 ・洗濯やアイロンがけをについて、道具の扱い方を身に身につけている。 (思・判・表) ・販売活動を計画、実施することで企画力を高める。 ・状況に応じて必要な行動を考えて行っている。 (主学) ・生活に必要な技能を進んで身に付けようとしている	・調理実習と栄養学習 ・販売実習(校内・校外) ・生活実習	・調理を通して栄養を学ぶ ・販売活動の企画や運営 ・販売実習の利益の使い方(例:卒業パーティー費用に充当)などを考える ・洗濯とアイロンがけを学ぶ
		(知及技) ・過去に経験した行事で身に付けた経験や知識を活用できる。 (思判表力) ・課題を解決するための方法を皆で判断し、優先順位を決めることができる。 (学・人) ・仲間とコミュニケーションを図りながら活動しようすることができる。	(知・技) ・過去の行事を振り返り、自分の考えを伝ええている。 ・森川フェスの活動内容を理解している。 (思・判・表) ・森川フェスを楽しむためにどうするか自分の意見をもっている。 ・それぞれの役割を皆で話し合っている。 (主学) ・森川フェスの成功に向けて、仲間とコミュニケーションを取りながら主体的に取り組もうとしている。	・森川フェス事前事後学習2	・森川フェス企画、運営
		(知及技) ・産業教育フェアの出展者や商品について学習することができる。 ・校外学習について情報を集めることができる。 (思判表力) ・集団の中で判断して行動することができる。 (学・人) ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・産業教育フェアの出展者や商品について学習しようとしている。 ・校外学習先について調べようとする。 (思・判・表) ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 (主学) ・周りを意識した行動をしようとする。	・産業教育フェア見学 ・校外学習 ・実習先見学	・産業教育フェアを実際に見て学ぶ ・校外学習事前学習 ・行先の目的を知る ・調査、探求活動の実施
3 学期	18	(知及技) ・院内生徒の作品を鑑賞し良さを知ることができる。 (思判表力) ・自分の課題を発見し、目標を決めることができる。 ・情報を集めながら、校外学習の計画をたてることができる。 (学・人) ・規律や社会とのつながりを感じることができる。	(知・技) ・自分と他人の感性の違いを理解しようとする。 (思・判・表) ・自分をしっかりと分析し、改善しようとする。 (主学) ・お互いの作品を鑑賞し、みんなで協力して展示会の準備をしようとする。 ・自分で判断し責任をもって行動しようとしている。	・校外学習 ・キャリアパスポート見直しと振り返り ・くらしとお金(消費者教育) ・ハートアート展	・校外学習の企画、実施、振り返り ・暮らしとお金の関わりについて学習する。(外部人材の活用) ・ハートアート展に向けた作品準備と鑑賞
		(知及技) ・卒業を祝う会(卒業パーティー)の意義を理解することができる。 (思判表力) ・卒業生の立場になって、贈る言葉などを考え、文章にすることができる。 ・卒業パーティーで企画、運営で周りの意見を尊重したり、自分の意見を適切に表現することができる。	(知・技) ・卒業を祝う会や卒業することの意味を理解している。 (思・判・表) ・自分なりに、祝う気持ちを表現できている。 (主学) ・それぞれの役割を皆で決め、卒業式に向け取り組んでいる。	・卒業パーティー ・おもてなし	・卒業パーティーに関する取り組み
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2年（Ⅱ課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部2年		無し

目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることを理解し、行動の仕方を身につける。 (思・判・表) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、相互の意見の一致を図ったり、意思決定できるようにする。 (学・人) 生徒の障害の状態や特性等を考慮し、望ましい集団活動を通して生活経験を広げ、社会性を育む。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知・技) ・学級での役割を果たすことができる。 (思・判・表) ・自分と学級の目標を決めることができる。 (学・人) ・学級で自己の役割を振り返ることができる。	(知・技) ・他者と協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・自分と学級の課題を発見しようとする。 (主学) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・始業式 ・入学式 ・新入生転入生歓迎会	・掲示物や時間割作成 ・学期の目標決め ・新入生転入生との交流、企画、運営
		(知・技) ・災害時の避難方法を知ることができる。 ・生徒会の活動内容を理解することができる。 (思・判・表) ・避難経路の判断ができる。 ・学校生活を充実させるために何が必要か考えることができる。 (学・人) ・集団の中で命を守る行動ができる。 ・自分だけでなく、皆のことも考えることができる。	(知・技) ・火災発生時の避難方法を学ぼうとしている。 ・年間の活動内容がわかる。 (思・判・表) ・自分で考えて判断しようとしている。 ・学校を楽しむ為に、自分の意見をもつ。 (主学) ・まわりの人に合わせて行動しようとしている。 ・学校の課題等を自らの問題として考えようとする。	・火災避難訓練 ・生徒総会	・避難経路、避難方法の事前学習 ・生徒総会の企画、実施
		(知・技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解する。 ・校外学習について情報を集めることができる。 ・学期の反省をすることができる。 (思・判・表) ・目的の為にによりよい方法を考えることができる。 ・集団の中で判断して行動することができる。 (学・人) ・実践的な集団行動ができる。 ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義が理解できる。 ・校外学習先について調べようとする。 ・学期の振り返りをする。 (思・判・表) ・意見を出し合ってよりよい方法を導き出している。 ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 (主学) ・まわりをよく見て合わせて行動しようとしている。	・不審者対応訓練 ・終業式	・自身の身の守り方などを学習する ・学期末反省
		(知・技) ・行事の意義を理解し、成功に向けて頑張る。 (思・判・表) ・参加方法を考え、皆と協力して取り組む。 (学・人) ・行事に積極的に参加する。	(知・技) ・行事の成功に向けて知恵を出し合う。 (思・判・表) ・役割分担を相談して取り組もうとする。 (主学) ・自分たちが主役であるという自覚をもつ。	・森川フェス1	・森川フェスに向けて、それぞれの役割に責任を持たせる。
2 学期	15	(知・技) ・集団の中での役割を把握することができる。 (思・判・表) ・目標を決定することができる。 (学・人) ・自己実現に向け、課題を改善することができる。	(知・技) ・協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・目標を設定しようとしている。 (主学) ・学級集団とより良く関わろうとしている。	・始業式	・学期の目標決め
		(知・技) ・行事の意義を理解し、成功に向けて頑張る。 (思・判・表) ・参加方法を考え、皆と協力して取り組む。 (学・人) ・行事に積極的に参加する。	(知・技) ・行事の成功に向けて知恵を出し合う。 (思・判・表) ・役割分担を相談して取り組もうとする。 (主学) ・自分たちが主役であるという自覚をもつ。	・森川フェス2	・森川フェスに向けて、それぞれの役割に責任を持たせる。
		(知・技) ・少年犯罪について考えることができる。 (思・判・表) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 (学・人) ・安全に身を守る方法などを身につける。	(知・技) ・少年犯罪について考えようとしている。 (思・判・表) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 (主学) ・危ないことに巻き込まれない意識をもつようにする。	・薬物乱用防止教室	・県内と県外の現状を知る。
		(知・技) ・校外学習について情報を集めることができる。 (思・判・表) ・集団の中で判断して行動することができる。 ・学期を振り返り自己評価できる。 (学・人) ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・校外学習先について調べようとする。 (思・判・表) ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 ・しっかり学期の振り返りをしようとする。 (主学) ・周りを意識した行動をしようとする。	・終業式	・学期末反省
3 学期	8	(知・技) ・院内生徒の作品を鑑賞し良さをを知ることができる。 (思・判・表) ・自分の課題を発見し、目標を決めることができる。 (学・人) ・院内生徒の作品に触れ、交流を図ることで所属感を感じることができる。	(知・技) ・自分と他人の感性の違いを理解しようとする。 (思・判・表) ・自分をしっかりと分析し、改善しようとする。 (主学) ・お互いの作品を鑑賞し、みんなで協力して展示会の準備をしようとする。	・始業式 ・ハートアート展	・新年の目標 ・ハートアート展に向けた作品準備と鑑賞
		(知・技) ・卒業式における身なりや振る舞いを理解することができる。 (思・判・表) ・3年生への門出の言葉を考える事ができる。 (学・人) ・3年生を祝福する気持ちで式に参加することができる。	(知・技) ・卒業式の意義や参加の仕方について理解しようとしている。 (思・判・表) ・3年生への門出の言葉を考えようとしている。 (主学) ・3年生を祝福する気持ちで参加しようとしている。	・修了式 ・卒業式	・自分自身の一年を振り返る。 ・卒業式の会場設営、歌の練習。 ・卒業する先輩への門出の言葉や感謝の思いを伝える。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 3年（Ⅱ課程Aグループ） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	3年Ⅱ課程A		ひとりだちするための国語

目標：（知・技）知識及び技能（思・判・表）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。 (思判表力)社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うことができる。 (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にすることでその能力の向上を図る態度をもつ。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	37	(知及技)本にはいろいろな種類があることを知り、幅広く読書に親しむことができる。(言葉の特徴や使い方) (思判表力)本から必要な情報を収集し、内容の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。(A聞くこと・話すこと) (学・人)本に触れることで、必要な知識や情報を得ることに役立つことができる。	(知・技)本の分類番号と配置について理解している。 (思・判・表)仲間と情報を共有しようとする。 (主学)様々な図書の分類をようもうとしている。	オリエンテーション 図書館利用	・国語の授業の進め方や内容について確認する。 ・図書館利用のマナーについて司書の説明を話を聞きマナーの確認をする。 ・本の場所や情報収集の方法を学ぶ。
		(知及技)文には形容詞や接続詞などに分類できることを知る。 (思判表力)様子や行動を表す語句、接続詞など、語彙を豊かに増やしていく。 (学・人)形容詞や接続詞など、語句の役割を理解し、文章を書くことができる。	(知・技)文には形容詞や接続詞などに分類できることを知ろうとする。 (思・判・表)様子や行動を表す語句、接続詞など、語彙を豊かに増やそうとしている。 (主学)形容詞や接続詞など、語句の役割を理解し、文章を書くこととしている。	言葉について学習しよう 文の成り立ち:品詞(名詞・動詞・形容詞・形容動詞・副詞・接続詞・助詞・感動詞)	・品詞の役割を知ろう ・分類しよう ・文を組み立てよう
		(知及技)常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 (思判表力)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、熟語を用いたり文章を整えることができる。 (学・人)絵を見て想像したことを基に文を書く。	(知・技)常用漢字を書き、文や文章の中で使おうとする。 (思・判・表)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、熟語を用いたり、文章を整えようとする。 (主学)絵を見て想像したことを基に文を書くこととする。	辞書をつかおう1 「漢字の広場」	・漢字のなりたち ・熟語の構成
2学期	42	(知及技)漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。 (思判表力)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。 (学・人)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えようとする態度をもつ。	(知・技)漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つている。 (思・判・表)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。 (主学)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えようとしている。	いろいろなことを書いてみよう	・日記を書く ・作文を書く ・手紙を書く ・履歴書を書く
		(知及技)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。 (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。 (学・人)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとする態度をもつ。	(知・技)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して自己紹介をしている。 (思・判・表)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して話している。 (主学)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとしている。	自分のことを伝えよう ～文書マナーを知る～	・あいさつの仕方を覚えよう ・自分のことを伝えよう ・電話の使い方を覚えよう
		(知及技)文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。 (思判表力)相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人)相手のことを思いながら伝えたいことを表現することができる。	(知・技)時候の挨拶や書き方の決まりを守り、文字の大きさや読みやすさを意識して書くこととしている。 (思・判・表)相手や目的を意識して、ビジネスマナーを守り伝えたいことを明確に書くこととしている。 (主学)相手のことを思いながら伝えたいことを表現している。	「年賀状を書く」 ～文書マナーを知る～	・年賀状の目的を知る。 ・新年の挨拶や決まり事などのマナーを守る。 ・お世話になった方へ文面を考える。
		(知及技)常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 (思・判・表)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、熟語を用いたり文章を整えることができる。 (学・人)絵を見て想像したことを基に文を書く。	(知・技)常用漢字を書き、文や文章の中で使おうとする。 (思・判・表)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、熟語を用いたり、文章を整えようとする。 (主学)絵を見て想像したことを基に文を書くこととする。	辞書をつかおう2 「漢字の広場」	・漢字のなりたち ・熟語の構成
3学期	26	(知及技)接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。 (思判表力)目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。 (学・人)接続する語句の役割、段落の役割について理解しようとする態度をもつ。	(知・技)接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 (思・判・表)目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。 (主学)接続する語句の役割、段落の役割について理解しようとしている。	いろいろな物を読んでみよう	・折り込み広告を読んでみよう ・新聞を読んでみよう ・詩を読んでみよう ・本を読んでみよう
		(知及技)他の新聞を参考にしながら、自分の特徴を考えることができる。 (思判表力)相手に伝わるように、簡潔な言葉を選ぶことができる。 (学・人)他の人の新聞を読んで、感想を述べることができる。	(知・技)他の新聞を参考にしながら、自分の特徴を考えようとする。 (思・判・表)相手に伝わるように、簡潔な言葉を選ぶようとしている。 (主学)他の人の新聞を読んで、感じたことを発表または書こうとする態度が見られ。	自分新聞を作ろう	・自分のことを伝えよう ・簡潔な言葉を見つけよう ・感想発表
留意点 ／引き等					

令和8年度 高等部 3学年（Ⅱ課程A） 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	高等部3年(Ⅱ課程A)		「ひとりだちするための社会」(日本教育研究出版)/自作プリント/図書教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 身近な公共施設や社会の仕組みを、体験や視覚的な資料を通して理解し、自分の生活を支える存在として認識することができる。 (思判表力) 社会の出来事やルールを自分自身の生活に照らし合わせ、「自分ならどうするか」を考え、自分なりの方法で伝える力を養うことができる。 (学・人) 地域の人や場所に親しみをもち、社会の中で自分らしく安心して過ごすためのマナーや関わり方を前向きに学ぼうとすることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 身近な公共施設や公共物の種類や役割を理解し、それらが自分たちの生活を支えていることや、税金などで支えられていることに気付くことができる。 (思判表力) 公共施設等の利用の仕方を調べ、「だれもが気持ちよく使うため」のルールやマナーの必要性について考え、自分にできる工夫や活用法を自分の言葉で表現することができる。 (学人) 公共施設等を大切にしようとする態度をもち、学習したマナーやきまりを意識して、社会の一員として主体的に生活に生かすことができる。	(知・技) 身近な公共施設や公共物の種類や役割を理解し、それらが自分たちの生活を支えていることや、税金などで支えられていることに気付くことができる。 (思判表) 公共施設等の利用の仕方を調べ、「だれもが気持ちよく使うため」のルールやマナーの必要性について考え、自分にできる工夫や活用法を自分の言葉で表現している。 (主学) 公共施設等を大切にしようとする態度をもち、学習したマナーやきまりを意識して、社会の一員として主体的に生活に生かそうとしている。	1 公共施設の役割 ① 役所 ② 銀行や郵便局 ③ 病院や保健所 ④ 仕事や生活の相談 ⑤ ライフイベント *この中から生徒の実態に合わせて取り組ませる	○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。 「困ったときに助けてくれる場所（交番、案内所、多目的トイレなど）」を具体的に知ることを重視する
		(知及技) 歴史上の主な事象や沖縄独自の歩みを手掛かりに、世の中の様子の変化を理解することができる。 (思判表力) 世の中の様子や人物の働き、文化遺産などの共通点や変化に着目して、人々の願いや暮らしの変化を考え、自分の言葉で表現することができる。 (学人) 平和な社会の尊さを感じ、身近な友達や周りの人と穏やかに過ごすために、自分にできることを考えることができる。	(知・技) 歴史上の主な事象や沖縄独自の歩み（琉球王国、万国津梁の精神、沖縄戦など）を手掛かりに、世の中の様子の変化を理解することができる。 (思判表) 世の中の様子や人物の働き、文化遺産などの共通点や変化に着目して、人々の願いや暮らしの変化を考え、自分の言葉で表現することができる。 (主学) 平和な社会の尊さを感じ、身近な友達や周りの人と穏やかに過ごすために、自分にできることを考えようとしている。	2 日本・沖縄の歴史 ① 日本の歴史年表（石器にも触れる） ② 近代以降の沖縄 ③ 第二次世界大戦を経て ④ 平和な社会をめざす	○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。 ●平和学習（沖縄戦の歴史）と関連づけながら、歴史を学ぶ意義や平和とは何か考え、表現することができるようにする。 ●校外学習で行く博物館の学習も連動して行う。
2 学期	30	(知及技) 地図帳や地球儀を活用して、大陸や海洋との位置関係を正しく読み取ることができる。 (思判表力) 大陸や海洋、近隣諸国との位置関係に着目して、海洋に囲まれた島国としての特色を多角的に考え、日本の国土が持つ良さや課題を自分の言葉で表現することができる。 (学人) 我が国の国土の特色に関心を持ち、世界との関わりについて自分なりの考えをまとめ、意欲的に学ぶことができる。	(知・技) 地図帳や地球儀を活用して、大陸や海洋との位置関係を正しく読み取ることができる。 (思判表) 大陸や海洋、近隣諸国との位置関係に着目して、海洋に囲まれた島国としての特色を多角的に考え、日本の国土が持つ良さや課題を自分の言葉で表現することができる。 (主学) 我が国の国土の特色に関心を持ち、世界との関わりについて自分なりの考えをまとめ、意欲的に学ぶことができる。	3 私たちの国土 ① 世界の中の日本 ② 日本の国土 ③ 自然災害を防ぐ	○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。
		(知及技) 社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解することができる。 (思判表力) 社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、自分の言葉で表現することができる。 (学人) 社よりよい社会を作るためのきまりの大切さを実感し、身近な課題の解決に自分事として関わるることができる。	(知・技) 社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解できている。 (思判表) 社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、自分の言葉で表現することができる。 (主学) よりよい社会を作るためのきまりの大切さを実感し、身近な課題の解決に自分事として関わるることができる。	4 私たちと民主政治 ① 政治の仕組み ② 日本国憲法 ③ 税金 ④ 社会保障	
3 学期	16	(知及技) 世界の国々の生活や文化、習慣の違いについて、資料などを活用して正しく理解することができる。 (思判表力) 外国の人々の暮らしと日本を比較し、文化の共通点や違いが生じる理由を考え、自分の言葉で表現することができる。 (学人) 世界には様々な文化があることを知り、互いの違いを否定せずに受け入れ、社会の一員として大切にすることができる。	(知・技) 世界の国々の生活や文化、習慣の違いについて、資料などを活用して正しく理解することができる。 (思判表) 外国の人々の暮らしと日本を比較し、文化の共通点や違いが生じる理由を考え、自分の言葉で表現することができる。 (主学) 世界には様々な文化があることを知り、互いの違いを否定せずに受け入れ、社会の一員として大切にできている。	5 世界と日本のつながり ① 国際協力 ② 環境保全 ③ サステナブル（持続可能）な社会をめざして	○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。
留意点 引継ぎ等		・異学年生徒同士での学習となるため、既習事項が異なる。実態に応じた学習ができるよう配慮する。 ・教師が作成したスライドを参照したり、iPadやPCなどを使用して調べ学習や発表活動などを行う。 ・生徒の興味関心を高められるように、歴史資料や関連動画などを活用する。 ・学校行事や学部行事での学習活動と関連付けさせながら取り組む。 ・評価方法：授業態度、発問評価、提出課題、ファイル（ワークシート）提出			

令和 8 年度 高等部 3 年（Ⅱ課程A） 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	高等部 3 年		ひとり立ちするための算数・数学 高校数学 I

目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。(高等部) (思・判・表) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表現したりする力を高める。(高等部) (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことをふりかえり、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を高める。(高等部)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知・技) ・頭の中で、折りたたんだ紙に穴を開けるイメージがある。 ・予算内にどんなものが購入できるか知る。 (思・判・表) ・頭の中で折り曲げた紙の展開図を描ける。 ・予算内におさめるためにどのメニューを選ぶ事ができるのか考える。 ・おつりの小銭を少なくする方法を考える。 (学・人) ・お金の支払いをするための工夫をしようとしている	(知・技) ・頭の中で、折りたたんだ紙に穴を開けたとき、穴の位置がどこかわかる。 ・予算内にどんなものを購入できるか理解しようとしている。 (思・判・表) ・展開図の仕組みを理解して想像しようとしている。 ・予算内におさめるためにどのメニューを選ぶか考えようとしている。 (主学) ・お金の支払い方の工夫をしようとしている。	コグトレ 金銭 表とグラフ	- 想像する（穴の位置） - おつりのある払い方 - 予算を考えよう - 好きな食べ物調べ - 休日に遊園地にでかけよう
		(知・技)データを自分なりに処理する。 (思・判・表)適切なグラフ、手法などを選択して分析する。 (学・人)データの傾向を把握して事象の特徴をつかもうとする。	(知・技)階級、度数などの用語を理解し、データを度数分布表にまとめ、ヒストグラムを書こうとしている。 (思・判・表)箱ひげ図を書こうとしている。 (主学)データの代表値から、その特性や傾向などを考察しようとする。	第5章 データの分析 第1節 データの分析 統計とグラフ 代表値	- 表やグラフが多いので、生徒には書かずにICT機器を用いて画面やスクリーンに映し、視覚的にわかりやすく説明する。 - ワークシートを用いて、自分の身の回りの統計をとらせる。 - 調べたものを発表し、関心を高める。
2 学期	41	(知・技)集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 (思・判・表)事象の考察に活用できるようにする。 (学・人)筋道を立てて、物事を説明する。	(知・技)共通部分、和集合、空集合について理解している。 (思・判・表)ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察しようとする。 (主学)集合について、それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。	第4章 集合と論証 第1節 集合と論証 集合と要素、命題 いろいろな証明法	生徒は最低限の要点だけをノートに書きながら問題を解く。
3 学期	27	(知・技)三角比の基本性質を用いて計算する。 (思・判・表)問題文から図を描き、値を求める。 (学・人)自分なりの解法を身に付ける。	(知・技)直角三角形において、正弦・余弦・正接を求めようとする。 (思・判・表)測量の問題に三角比を活用しようとする。 (主学)直接測ることのできない距離を求めることに興味をもつ。	第3章 三角比 第1節 三角比 三角比の利用 相互関係	- 図形が多いので、生徒には書かずにICT機器を用いて画面やスクリーンに映し、視覚的にわかりやすく説明する。 - 例や例題はノートに書かずに、説明を聞くことに集中させる。 - 生徒は三角形の簡略図をノートに書きながら問題を解く。

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	高等部 1 年～ 3 年		くらしに役立つ理科（東洋館出版社）他

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする（高等部 1 ～ 2 段階階）。 （思・判・表）観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。（高等部 1 ～ 2 段階階）。 （学・人）自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う（高等部 1 ～ 2 段階階）。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	（知・技） てこの規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高2段階Cア） （思・判・表） てこの規則性について調べる中で、主にそれらの仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだすことができる。（高2段階Cイ） （学・人） てこの規則性について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとすることができる。（高2段階Cウ）	（知・技） ・力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを理解しようとしている。 （思・判・表） ・てこの規則性について、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 （主・学） ・てこの規則性についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。	【てこの規則性】 ・てこの原理について ・てこの利用	・てこを使ってできるだけ小さい力で重い物を持ち上げるにはどうしたらよいか予想し、調べる方法を考える。 ・てこが水平につり合うときにはどのようなきまりがあるのか調べる。 ・てこを利用した道具にはどのようなものがあるかを調べる。
	14	（知・技） 人の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高2段階階Aア） （思・判・表） 人の体のつくりと働きについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身に付けることができる。（高2段階階Aイ） （学・人） 人の体のつくりと働きについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身に付けることができる。（高2段階階Aウ）	（知・技） ・体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解しようとしている。 ・食べ物、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されることを理解しようとしている。 （思・判・表） ・人や他の動物の体のつくりと働きについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・人や他の動物の体のつくりと働きについて、実験、調査などを行い、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 （主・学） ・人や他の動物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・人や他の動物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【人の体のつくりと働き】 ・呼吸 ・消化・吸収 ・血液循環 ・主な臓器の存在	・人や他の動物が生きていくためには何が必要かを考える。 ・唾液の働きを調べる方法を考え、調べる。 ・実験結果を基に、唾液がデンプンを変化させたと言えるのか考え、教師と一緒にまとめる。 ・消化と吸収の仕組み、消化管と消化液の働きを調べ教師と一緒にまとめる。 ・動物の消化管のつくりを捉える。 ・肝臓の働きについて、調べ教師と一緒にまとめる。 ・呼吸の働きについて予想し、吐き出した空気と吸う空気はどのように違うのかについて、石灰水や酸素センサーで調べる。 ・結果を基に、呼吸について考え、教師と一緒にまとめる。 ・肺の働きと呼吸の仕組みを調べ、教師と一緒にまとめる。 ・動物の呼吸の仕組みを捉える。 ・全身の血流の流れと働きについて教師と一緒にまとめる。 ・腎臓の働きを調べ、教師と一緒にまとめる。 ・人の体内にある臓器について、それぞれの名称や体内の位置を確かめる。
	15	（知・技） 植物の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高2段階Aア） （思・判・表） 植物の体のつくりと働きについて調べる中で、主にそれらの働きや関わりについて、より妥当な考えをつくりだす力を身に付けることができる。（高2段階Aイ） （学・人） 植物の体のつくりと働きについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身に付けることができる。（高2段階Aウ）	（知・技） ・植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることを理解しようとしている。 ・根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解しようとしている。 ・植物の体のつくりと働きについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 （思・判・表） ・植物の体のつくりと働きについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・植物の体のつくりと働きについて、実験などを行い、体内の水などの行方及び葉で養分をつくる働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 （主・学） ・植物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・植物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【植物と体のつくりと水の通り道】 ・でんぷんのでき方 ・水の通り道	・植物を着色した水に入れて、植物の体の水の通り道を調べ、まとめる。 ・植物がよくする成長する日光が必要な理由を考え、葉に日光が当たるとでんぷんができるか調べる実験を行う。 ・葉まで運ばれた水が葉などから出ているか調べ、水は水蒸気になって葉から出ていくことをまとめる。 ・気孔を観察する。 ・植物がよく成長するために日光が必要な理由を考え、葉に日光が当たるとでんぷんができるか調べる方法を考える。 ・実験結果を基に、葉に日光が当たるとでんぷんができるか考え、まとめる。 ・植物の水の通り道や日光との関わりについて、学んだことをまとめる。
2 学期	15	（知・技） 生命の連続性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高1段階Aア） （思・判・表） 生命の連続性について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身に付けることができる。（高1段階Aイ） （学・人） 生命の連続性について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身に付けることができる。（高1段階Aウ）	（知・技） ・植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを理解しようとしている。 ・植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを理解しようとしている。 ・植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解しようとしている。 （思・判・表） ・植物の発芽や成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・植物の発芽や成長について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 （主・学） ・植物の発芽や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・植物の発芽や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【植物の発芽、成長、結実】 ・種子の中の養分 ・発芽の条件 ・成長の条件 ・植物の受粉・結実 ・植物の受粉・結実	・種子の発芽と温度や空気との関係調べる条件を整え、実験を行う。 ・種子が発芽する条件についてまとめる。 ・種子が発芽するときの子葉の働きを調べる。 ・種子が発芽するときの養分についてまとめる。 ・日光と成長、肥料と成長との関係調べる実験を行う。 ・日光と成長との関係、肥料と成長との関係についてまとめる。 ・植物の発芽と成長について、学んだことをまとめる。 ・ヘチマとアサガオの花のつくりを調べる。 ・ヘチマやアサガオのおしべの働きを考え、花粉を顕微鏡で観察する。

3 学 期	8	(知・技) 流れる水の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高1段階Bア) (思・判・表力) 流れる水の働きについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。(高1段階Bイ) (学・人) 流れる水の働きについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。(高1段階Bウ)	(知・技) ・流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解しようとしている。 ・川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・流れる水の働きと土地の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・流れる水の働きと土地の変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【流れる水のはたらきと土地の変化】 ・流れる水の働き ・川の上流・下流と川原の石	・水の量を変えて、流れる水の働きを調べる。 ・流れる水の働きについてまとめる。 ・川の写真を見て、気づいたことや疑問に思ったことを話し合う。 ・流れる水の働きが大きくなるのはどのようなときか、予想する。 ・流れる水の量と土地の様子の変化との関係性を調べるための方法を考える。 ・川の上流・下流の川原の石を比較し、それらの違いについて話し合い、まとめる。
	8	(知・技) 土地のつくりと変化についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高2段階Bア) (思・判・表力) 土地のつくりと変化について調べる中で、主にそれらの変化や関係について、より妥当な考えをつくりだすことができる。(高2段階Bイ) (学・人) 土地のつくりと変化について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとすることができる。(高2段階Bウ)	(知・技) ・土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また、層には化石が含まれているものがあることを理解しようとしている。 ・地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできることを理解しようとしている。 (思・判・表) ・土地のつくりと変化について、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・土地のつくりと変化について、観察、実験、調査などを行い、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・土地のつくりと変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・土地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【土地のつくりと変化】 ・土地の構成物と地層の広がり ・地層のでき方と化石 ・火山の噴火や地震による土地の変化	・崖の様子や資料写真を見て、大地の下がどのようなになっているのか考え、地層についてまとめる。 ・水の働きでできた地層の特徴や火山の働きでできた地層の特徴をまとめる。 ・流れる水の働きによる地層のでき方を予想し、容器に土を流し込むモデル実験を通して調べる。 ・水の働きによる地層のでき方や特徴について、まとめる。 ・化石について知る。 ・火山の働きによる地層のでき方を写真や資料で調べ、まとめる。 ・大地のつくりについて、学んだことをまとめる。 ・地震や火山の噴火による大地の変化について調べる。 ・調べたことを発表し、地震と火山の噴火による大地の変化についてまとめる。 ・地震や火山の噴火による災害や、災害に対する備えについて、調べたり、考えたりする。 ・資料を読んで、地震に関係する言葉の意味や、過去の記録から学んだり後世へ伝えたりする取り組みを知る。 ・資料を読んで、火山の恵みについて捉える。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 3年（Ⅱ課程） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部3年Ⅱ課程		MOUSA 1 他

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、身体表現等の技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。 (学・人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにすることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 (25)	2	(知及技) 各学期や年間の予定や、授業の取り組みを知る。 (思判表力) 自分のやりたいこと、やってみたいこと、自分ができることは何かを考え、言葉などで表すことができる。 (学・人) 年間の予定を知り、自分の目標を決定し、意欲的に音楽の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 各学期や年間の予定や授業の取り組みを知ろうとしている。 (思・判・表) 自分のやりたいこと、やってみたいことを考え、自分ができることは何かを考え、言葉などで表そうとしている。 (主学) 年間の予定を理解し、自分の目標を決定し主体的・協働的に音楽の学習活動に取り組もうとしている。	オリエンテーション ・学期や年間の取り組みを知ろう ・自分は何に興味があるのか考えてみよう ・興味のあることや自分の得意なことは何か探してみよう	・学期ごとの取り組みを知り、各学期や年間の目標と計画を立てる。 ・自分の興味はあることは何か、得意なことは何か、やりたいことは何かを探す。
	7	(知及技) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解することができる。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音色、リズム、速度、テクスチャア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの動きを感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、演奏することができる。 (学・人) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習に取り組むことができる。	(知・技) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解している。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 (思・判・表) 音色、リズム、速度、テクスチャア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの動きを感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 (主学) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ハンドクラップアンサンブルに挑戦しよう ボディーパーカッションやCUPSに挑戦しよう	・ハンドクラップアンサンブル「Glocoso」 ・ボディーパーカッション・CUPS「Clap, Tap with CUPS!」他
	8	(知及技) いろいろな楽器の種類や音色・響きを知ることができる。楽譜を見て旋律楽器や打楽器を演奏することができる。 (思判表力) 自分でやりたい楽器やパートを選択し、きれいな音をだすためにどうしたらいいか工夫することができる。 (学・人) 自分のパートの練習に主体的に取り組むことができる。	(知・技) 楽譜をみて演奏することや音色や響きに気をつけて、旋律楽器や打楽器を演奏しようとしている。 (思・判・表) 自分でやりたい楽器やパートを選択し、どのように演奏するかについて思いや意図をもち、工夫しようとしている。 (主学) いろいろな楽器に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	楽器に触れてみよう、音を鳴らしてみよう	・演奏しやすい楽器から選択。 ・楽器紹介 ・個別練習 ※生徒の実態に応じて取り組む。 トーンチャイム、ドラム、キーボード、鉄琴、木琴、ウクレレ等
	8	(知及技) 各声部の楽器の音色や伴奏を聴いて音を合わせて演奏することができる。 (思判表力) 自分の演奏する部分まで待つことや、合図に合わせて演奏すること、周りの音や順番、状況を把握し、他者と合わせて演奏することについて思いや意図をもち、(学・人) 他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む、皆と合奏できる。	(知・技) 各声部の楽器の音色や伴奏を聴いて音を合わせて演奏しようとしている。 (思・判・表) 自分の演奏する部分まで待つことや、合図に合わせて演奏すること、周りの音や順番、状況を把握し、他者と合わせて演奏することについて思いや意図をもっている。 (主学) 他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	器楽アンサンブルを楽しもう	・海の声 ・小さな恋のうた 他
	9	(知及技) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 (思判表力) 鑑賞についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。自分なりに感じたことを言葉等で表現できる。 (学・人) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解しようとしている。 (思・判・表) 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとする思いを持っている。 (主学) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	いろいろな曲を聴いてみよう	・鑑賞のルール ・曲の聴き方 ・色々なジャンルの曲を聴く ・ワークシート

2 学 期 (2 7)	9	(知及技) 個々が選択した表現方法で、演奏に必要な技能を身に付けることができる。 (思判表力) よりよい表現ができるために創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習に生かすことができる。 (学・人) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に練習へ取り組むことができる。	(知・技) 個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) よりよい表現ができるように、自分のよいところや課題は何かを知り、思いや意図をもって創意工夫をしている。 (主学) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に音楽活動へ取り組もうとしている。	自分で選択した表現方法に取り組んでみよう ・目標設定 ・練習 ・振り返り	生徒が個々で選択した表現活動を個別活動で取り組む。 [歌唱] ・発声や音程に気を付けて歌う ・曲をどのように表現したらよいか探る他 [器楽][リズム] ・奏法について ・楽譜の読み方について ・練習 他 [創作] ・創作内容の選定、決定 ・創作活動 他 [ダンス] ・選曲、振り付けの創作 ・練習 他
	9	(知及技) 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 (思判表力) 相手の演奏を聴きながら、自分の担当するパートを他者と合わせるためにどうしたらよいかを考え演奏に生かすことができる。 (学・人) 集団の中でも主体的・協働的に音楽活動に参加できる。	(知・技) 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 相手の演奏を聴きながら、自分の担当するパートを他者と合わせるためにどのようにしたよいかを考え演奏に生かそうとしている。 (主学) 集団の中でも、主体的・協働的に音楽活動に参加しようとしている。	皆で合わせて演奏しよう	個々で選択した表現方法を合わせて、集団活動へつなげる。
3 学 期 (1 8)	14	(知及技) 皆と一緒に演奏できる技能を身に付け、発表することができる。 (思判表力) どの発表形態なら自分は参加できるかを考え、発表方法を工夫しながら、自分が参加できる方法を見つける。 (学・人) 主体的・協働的に発表に参加できる。	(知・技) 皆と一緒に演奏できる技能を身に付け、皆と一緒に発表しようとしている。 (思判表力) どの発表形態なら自分は参加できるかを考え、発表方法を工夫しながら、自分が参加できる方法を見つけようとしている。 (主学) 主体的・協働的に発表に参加しようとしている。	行事に向けて取り組もう ・卒業式 など	行事の内容に合わせて取り組む。
	4	(知・技) 年間で取り組んだことを振り返ることができる。 (思判表力) 自分自身で振り返り、できたこと、頑張ったことなどを考え、言葉で表すことができる。 (学・人) 振り返りを通して、自己評価や他者評価を行うことができる。	(知・技) 年間で取り組んだことを振り返ろうとしている。 (思・判・表) 自分自身で振り返り、できたこと、頑張ったことなどを考え、言葉で表そうとしている。 (主学) 振り返りを通して、自己評価や他者評価を行おうとしている。	1年を振り返って、まとめ	・学習内容の振り返り ・できたこと、がんばったことなどを自分自身で評価する。 ・他の皆はどうだったか、他のみんなからみて自分はどうかだったかの他者評価 ・ワークシート
留意点 引継ぎ等		・生徒の実態に応じて弾力的に教材を精選して取り組んでいく。 ○儀式・行事の曲（「校歌」「月桃」「いのちのリレー」「時をこえ」「卒業式の歌」等）			

令和 8 年度 高等部 1～3 年（Ⅱ 課程A） 保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	高等部 1～3 年		現代高等保健体育(大修館書店)／その他

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (学・人) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる効果があることを発言したり、書いたりしている。 ・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、関わり合うことができる。 (思・判・表) ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた運動強度や回数を考えている。 (主学) 体づくり運動に自主的に取り組もうとしている。	体づくり運動	<例示>体ほぐしの運動 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。 ・ 仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。 〈実生活に生かす運動の計画の行い方の例〉 ○ 健康に生活するための体力の向上を図る運動の計画と実践 ・ 運動不足の解消や体調維持のために、食事や睡眠などの生活習慣の改善も含め、休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むこと。
		(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、言ったり書き出したりしている。 ・ゴールの枠内にシュートをコントロールしたり、ターゲットに向かって投げの力をコントロールしている。 (思・判・表) 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 (主学) 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。	球技	○ターゲット型 ・ ターゲットに向かって力をコントロールしながらボールを投げること。 ・ 仲間と相談をしながら作戦を考えること。 ○ゴール型 ・ ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。 ・ 味方が操作しやすいパスを送ること。 ・ 守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。
		(知及技) 水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 (思判表力) 水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・水泳の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、効率的に泳ぐためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 (思・判・表) 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 (主学) 水の事故防止の心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとしている。	水泳	ア クロール 15～50m程度 ・ 水面上の腕は、ローリングの動きに合わせてリラックスして前方へ動かすこと。 イ 平泳ぎ 15～50m程度 ・ 肩より前で、両手で逆ハート型を描くように強くかくこと。 ・ ブルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの蹴り終わりに合わせて伸び(グライド)をとり、1回のストロークで大きく進むこと。

		(知及技) 健康な生活と疾病の予防について理解することができる。 (思判表力) 熱中症について知り、その予防方法や手当の仕方について理解することができる。 (学・人) 活動に適した環境について答えることができる。	(知・技) 健康は、主体と環境の関わりの中で成り立っていることを理解している。 (思・判・表) 熱中症になりやすい環境について知り、予防方法について答えている。 (主学) 環境が健康に及ぼす影響について考えようとしている。	保健分野 ・健康な生活と疾病予防 ・健康と環境	1 健康の成り立ち 2 調和のとれた生活 3 活動に適する環境 4 熱中症の予防と手当
2 学 期	42	(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・戦術や作戦に応じ、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、言ったり書き出したりしている。 (思・判・表) 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 (主学) 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。	球技	○ゴール型 ・ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。 ・味方が操作しやすいパスを送ること。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。
		(知及技) 武道の楽しさや喜びに触れ、伝統的な考え方やその行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。 (中1段階ア) (思判表力) 武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 武道に進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) 武道の特徴をとらえて基本的な動きを身につけている。 (思・判・表) 武道の学習成果を踏まえて、自己に適した簡単な技能を見付けている。 (主学) 一人一人の違いに応じた動きや役割を大切にしようとしている。	武道	○空手 ・突き、蹴り等の基本的な動き ・上段受け、中段受け、下段受け等の動き ・普及型Ⅰ、Ⅱ
		(知及技) 思春期における体の発達について理解することができる。 (思判表力) 心身の基本的な機能の発達について理解している。 (学・人) 心身の機能の発達と心の健康について実生活と結び付けて取り組むことができる。	(知・技) 思春期は、身長や体重が急速に発育する時期に当たることを理解している。 (思・判・表) 自分自身の心の変化を見つめるとともに、他者との望ましい関係について考えている。 (主学) 望ましい発育・発達のためにどんな生活を送ったらよいかを考え、自己の生活に活かそうとしている。	保健分野 ・心身の機能の発達 ・健康な生活と疾病の予防	1 体の発育・発達 体の各器官はどのように発育・発達するか理解する。 2 呼吸器・循環器の発達 呼吸器・循環器はどのように発達するか理解する。 3 生殖機能の成熟 思春期の体の変化や月経、射精、妊娠は、どんな仕組みで起こるか理解する。 4 性とう向き合うか 性情報への対処について考える。 5 感染症の種類と予防 性感染症を含めた感染症の種類や予防方法について知る。
3 学 期	26	(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 (思・判・表) 球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。 (主学) 互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。	球技	○ネット型 ・サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。 ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。 ・ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすること。

	(知及技) 心身の機能の発達や心身相関について理解することができる。 (思判表力) 心の健康について考えて、よりよいコミュニケーションの方法について理解することができる。 (学・人) ストレスが心身に及ぼす影響について知り、自己にあったストレスへの対処法を身に付けることができる。	(知・技) 心は様々な経験や学習によって発達し、体の健康にも影響することを理解している。 (思・判・表) よりよいコミュニケーションの方法について考え、表現している。 (主学) ストレスへの対処について、実生活に結び付けて考ようとしている。	保健分野（心の健康）	5 心の発達 心のはたらきについて理解する。 6 社会性の発達 人とのコミュニケーションについて考える。 7 ストレスへの対処 リラクゼーションの方法を身に付ける。
	(知及技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方を知り、安全な行い方を身に付けることができる。 (思判表力) 運動や文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 運動やスポーツの効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方について理解し、安全にきをつけて活動を進めている。 (思・判・表) 運動や文化としてのスポーツの意義についての課題を自分なりに発見し、考えたことを他者に伝えている。 (主学) 運動やスポーツの効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義について積極的に学ぼうとしている。		(1) スポーツの文化的な特性や現代のスポーツの発展 (2) 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (3) 豊かなスポーツライフの設計の仕方
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 高等部 3年(Ⅱ課程) 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者
2/70	高等部3年(Ⅱ課程)	

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 生徒の実態に応じて、創造的な視点について理解し、発想や構想を工夫し、創造的に表すことができる。 (思判表力) 感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などを個に応じた方法で工夫し表現することができる。 (学・人) 美術について興味・関心を深め主体的に学習に取り組み、生活や社会に目を向け、美術を愛好する心情を育む。□ □ □					
	学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	1学期		(知及技) ●形や色彩、材料やひかりなどの働きを理解することができる。 (思判表力) ●美術作品などの良さや美しさを感じとり、作者の心情や表現の意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を広げることができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を培う。	(知・技) ○材料や道具の扱いを理解し、形や色、質感などが感情にもたらす効果を感じることができている。 (思・判・表) ○教科書や映像から、様々な美術作品を鑑賞し、それらの良さを感じ取って、自分の意見や感想を持つことができている。 (主学) ○自らすすんで楽しく創作活動や、鑑賞の活動に取り組もうとしている。	オリエンテーション 『美術を楽しむために』 絵や彫刻など 『色と形であrawす』	・自分の心の中を見つめたり、気づかなかった自分の考えに気付いたりして、自分の美術を見付けて、表現についてイメージをもつ。 ・教科書を鑑賞しながら、美術の学びの意味や広がりについて考える。 ・様々な画材、モダンテクニックを使って色や形の面白さを楽しむ。
		25	(知及技) ●材料や用具の特性や活かし方などを身につけ、表したいことに合わせて創意工夫して表すことができる。 (思判表力) ●身近なものを見つめ、感じ取ったことを基に主題を生み出し創意工夫して表現する構想を練ることができる。 (学・人) ●身近なものを描いた作品を鑑賞し、さまざまな表現の工夫を感じ取ることができる。	(知・技) ○形や色、質感などが感情にもたらす効果をもとに、身近なものを全体のイメージで捉えることを理解しようとしている。 (思・判・表) ○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫して構想を練っている。 (主学) ○友達の仕事の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図や工夫などについて考えるなどして、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	絵や彫刻など 『版で表す』	・身近なものをよく見たり、触ったりして特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。
			(知及技) ●表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かし方を身につけ、意図に応じて表現方法を工夫することができる。 (思判表力) ●造型的なよさや美しさ、表現の糸や工夫などについて考え主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み、創作活動の喜びを味わい、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。	(知・技) ○文様の形や色、構成などが見る人に与える効果について気付き、デザインを考えようとしている。 (思・判・表) ○地域の特産物や魅力から感じ取ったことや考えたこと、どのような場で使うかなどを考えて文様を工夫してあrawそうとしている。 (主学) ○地域の伝統工芸について自ら知ろうとし、創作活動や鑑賞の活動に楽しく取り組もうとしている。	デザインや工芸など 『地域の伝統工芸・紅型を知る』	・沖縄の伝統的な工芸品である紅型鑑賞し、その成り立ちや技法を知る。 ・あらかじめ糊を置いた型染めで自分の好みの配色に染める。
		(知及技) ●材料や用具の扱いを身につけ、身近なものをよく見つめ、表したいことに合わせて表現方法を工夫して表すことができる。 (思判表力) ●美術作品などの造型的なよさや美しさを感じ取り作者の心情や表現の意図などについて見方や感じ方を広げることができる。 (学・人) ●楽しく作品制作や鑑賞の活動に取り組み、よさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。	(知・技) ○材料や道具の扱いを理解し、形や量感などが感情にもたらす効果をもとに、表現を工夫して制作しようとしている。 (思・判・表) ○美術作品を鑑賞し、造型的なよさや美しさを感じ取り作者の心情や表現の意図などについて感想を持ち、記録したり発表しようとしている。 (主学) ○作品の造形的なよさや美しさを感じたり、表現の意図や工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。	絵や彫刻など 『身近なものを立体でとらえる』	・身近なものをよく見て特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・さまざまな彫刻作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。 ・塑像の基本的な技法について学び、作品制作に活かす。	

2 学 期	27	(知及技) ●美術作品の表し方や特徴の違いなどを捉え、作者の心情や表現の意図などについて考えることができる。 (思判表力) ●生活の中での美術作品や文化などの良さや美しさを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について感じ方を広げることができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。	(知・技) ○形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や作品の特徴などを基に、作者の心情や表現の意図などをとらえようとしている。 (思・判・表) ○工芸品を見たり、実際に使ってみて造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図や工夫について考えたり、見方や感じ方を広げることができる。 (主学) ○作品の良さや美しさを感じたり表現の意図や工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。	鑑賞 『ハートアート展を鑑賞しよう』 『すぐれた美術作品を鑑賞しよう』 『茶道と日本美術』	・ハートアート展を鑑賞し、作者の表現の意図や作品に込めた思いを感じ取り、感じたことや考えたことを話し合ったり、ワークシートに感想を記入する。 ・美術史について学んだり過去の優れた美観作品を教科書やタブレットなどで鑑賞する。 ・タブレット端末やワークシートなどを活用し、作品がつくられた背景や茶道の歴史等について調べたり、調べたことを記入する。 ・実際に季節に合わせた茶道具を使って点前の体験を行う。
		(知及技) ●材料や用具の扱いを身につけ、身近なものをよく見つめ、表したいことに合わせて表現方法を工夫して表すことができる。 (思判表力) ●造形的なよさや美しさ、表現の糸や工夫などについて考え主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。	(知・技) ○意図に応じてアプリの特性を生かし、表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表している。 (思・判・表) ○感じたことや考えたことを基に、主題を生成し、アプリの特性を生かして構成やエフェクトなどを生かし創意工夫して表現しようとしている。 (主学) ○簡単な映像表現の特性を生かした創作活動や鑑賞の活動に主体的に取り組んでいる。	映像メディア表現 『思い出ムービーをつくろう』	・タブレットの動画アプリの基本的な操作方法を知る。 ・学校での日常の印象的な写真をあつめて簡単なムービーを作る。
3 学 期	18	(知及技) ●色彩やかたち、材料や光などの基本的な働きを理解することができる。 (思判表力) ●造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることができる。 (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。	(知・技) ○ワークシートを記入しながら色彩や形などの働きについて理解しようとしている。 (思・判・表) ○美術作品などを鑑賞し、色彩や形、構成などがどのような効果をもたらしているか知ろうとしている。 (主学) ○作品の造形的なよさや美しさを感じたり、表現の意図や工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。	共通事項 『色や形について知ろう』	・ワークシートを利用したり絵の具を混色したりして、色彩や形についての学習を行う。 ・有名な美術作品を鑑賞し、色や形などの働きを見つける。
		(知及技) ●材料や用具の扱いを身につけ、表したいことに合わせて意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。 (思判表力) ●自分が表現したいことや想像したことなどを基に主題を生み出し、構想を創意工夫することができる。 (学・人) ●楽しく作品制作や鑑賞の活動に取り組み、よさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。	(知・技) ○形や色、構成や構図などの特徴などをとらえ、表現を工夫しようとしている。 (思・判・表) ○見えないものをあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) ○美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく見えないものを形や色であらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	共同制作の魅力 『気持ちをあらわす』	・共同制作について学校全体や学年、クラスで意見を出し合い主題を生み出す。 ・材料や用具の特性を生かし、よりよいものになるよう共同で意見を出し合いながら見直しをもって制作する。 ・協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合い、共同制作の素晴らしさを味わう。
留意点 引継ぎ等		※授業計画及び教材をにおける描く活動やつくる活動について、理解度や興味・関心等に合わせ柔軟に対応する。 ※郷土の世界遺産や伝統工芸品の造形的な面白や見方、感じ方等も年間を通し授業内容に取り入れる。 ※年間を通し、多様な作品を味わい、自他の作品に親しむことができるよう、振り返り、鑑賞会、校内展示等を適宜取り入れる。 ※博物館や美術館を活用し、美術作品に親しむ機会を設ける。			

令和8年度 高等部1～3年（Ⅱ課程A）職業科年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部1～3年生		楽しい職業科 わたしの夢につながる

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技） ・働くことの意義や、将来の職業生活に係る技能やマナーを身に付ける。 （思・判・表） ・将来の進路について考え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。 （学・人） ・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名 （関連教科）	単元・題材の活動内容
1 学期 ～ 3 学期	70	①～②作業 ・職業について理解を深めることができる。（知・技） ・仲間と協力して実習をおこない、お互いの気持ちを表現することができる。（思・判・表） ③～⑤作業 ・作品作り（挿絵の枠型づくり）（知・技）（思・判・表）（学・人） ⑥産業現場に等における実習・販売学習（学・人） ⑦季節毎の野菜や草花の栽培（知・技）（学・人） ※情報機器の基本操作学習（知・技）	①作業に必要な知識や技能について知ろうとしている。（知・技） ②自分の役割を理解し、協力して作業に取り組もうとしている。（思・判・表） ③作業工程が分かり、使用する道具の扱い方に慣れようとしている。（知・技） ④安全について気づき、工夫しようとしている。（思・判・表） ⑤作品の製作を通して達成感や働く喜びを感じることができる。（主・学） ⑥進路に関わることに興味を持ち、お金の取り扱いや、接客のマナーを学ぼうとしている。（主・学） ⑦作業内容や手順（作業場の準備、作業工程、片付け、清掃）を理解し取り組もうとしている。（知・技）（主・学） ※情報機器の基本的操作を学習しようとしている。（知・技）	①（木材加工）共通課題の作成 ②（木材加工）共通課題の作成 ③（木材加工）共通課題の作成 ④（木材加工）共通課題の作成 ⑤（木材加工）共通課題の作成 ⑥情報機器を使用してのお金の計算 ⑦農業 ※情報	①服装、身だしなみについて確認する。報告・連絡・相談について確認し、適切な声の大きさでできるよう練習する。毎時、木工室の約束を確認する。 ②役割分担を決め、協力して作業を行う。 ③作業前に作業内容の確認をする。機械や工具の使用方法を学び繰り返し練習する。 ④機械や工具の危険性を伝え、その都度安全確認を行う。 ⑤けがき、切断、磨き、組み立て、塗装、仕上げ等、一連の作業を通して達成感や働く喜びを享受する。 ⑥働くことの目的について知り、情報機器を使用して具体的な生活場面における計算を行うことができる。 ⑦農作業（土作り、畝立て、元肥）馬鈴薯、レタスなどの冬野菜の植え付け、花壇、ポットへの草花の定植。管理作業（灌水、追肥、摘心、摘花、収穫） ※PCの基本的操作、文字入力、各種ソフトウェア名取り扱い方のスキルの習得や情報モラル、情報セキュリティなどの光と影の学習を行う。 ※各種例文の作成、スキルの定着を図る。 ※キーボードのショートカットキーの習得。
年間を通しての指		・分担区清掃（学・人）	・協力して分担区の清掃作業に取り組もうとしている。（主・学）	・校内整備	・自分たちの活動範囲である場所の清掃活動を通して身の回りがきれいになる喜びを享受する。
留意点 引継ぎ等		※生徒の体調にあわせて、実習を行い適時休憩を入れる。（無理はさせない） ※プランター栽培は時期を考慮して実施する。 ※機械・工具等を使用する際の生徒の安全管理の徹底。 ※PCのスキルの獲得については、繰り返し指導し達成できたところまでを本人と確認する。 ※評価資料・・・活動の記録、作品等など。			

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	高等部3学年		いちばんわかりやすい家事のきほん大辞典

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付けるようにする。 （思判表力）家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 （学・人）家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	（知及技）自分の成長と家族や家庭生活との関わりが判り、家庭生活が家族の協力によって営まれていることにきづくことができる。 （思判表力）家族とのよりよい関わりについて考え、表現すること。 （知及技）職業・家庭の学習内容を知る。	（知・技）自分の成長を振り返り、将来の生活について考えようとしている。 （思・判・表）家族とのよりよい関わりについて考え、表現しようとしている。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度、ワークシート等	・オリエンテーション 一年間、三年間の授業の流れ ・教科目標の確認	・自分の成長を振り返り、働いて生活する大人になるために、自分が頑張りたいことをワークシートにまとめる。 ・働く意義や働く上で必要な力について知り、家庭内の役割について考えワークシートにまとめる。 ・パワーポイントを用いながら教科の目標や、学習内容を確認する。 ・3年間で身に付けたい目標をたてる。
2 学期	15	（知及技）衣服と社会生活との関わりがわかり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。 （思判表力）衣服の選択について考え工夫することができる。 （知及技）目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱について理解し、適切にできること。 （思判表力）目的に応じた縫い方について考え、工夫すること。	（知・技）衣服と社会生活との関わりがわかり、目的に応じた衣服を選択することができる。 （思・判・表）個性を生かす着用や衣服の選択をしようとしている。 （知・技）目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱について身に付けようとしている。 （思・判・表）目的に応じた縫い方について考え、実践しようとしている。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度、完成作品、ワークシート等	・衣服の選択 ・布を用いた製作	①服装、身だしなみについて確認する。 ・セルフ針や補助具を活用しながら個に応じた教材教具を活用する ・学習を繰り返し取り組む ・毎時間目標を確認・評価をする
3 学期	7	（知及技）日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができること。 （思判表力）基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現すること。	（知・技）目的、栄養、価格、調理の能率を考えて選択することが大切であることを理解できる。 （知・技）調理実習に用いる食品や調理用具を安全と衛生に留意した取扱い方を理解できる。 （思・判・表）日常食の調理の仕方や調理計画について考え表現できる。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度、完成作品、ワークシート等	食生活 調理の基礎、簡単な調理	・身支度 ・道具の準備 ・計量 ・調理 ・試食、後片付け ・家庭科室のさまりや利用方法を確認する。
留意点 引継ぎ等		年間を通して、手洗い等の衛生管理、清掃活動に取り組む。 調理実習は、感染症対策を行い時期を検討して実施可否を判断する。			

令和8年度 高等部3年 II課程 A 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部3年 II課程 A		ドラえもんはじめての英語ドリル 基本の英語表現

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力・判断力・表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。 (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	22	(知及技) 英語であいさつができる。 アルファベットが読める。 食べ物を英語で言うことができる。 (思判表力) 簡単な英語で自己紹介ができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) アルファベットを理解している英語で挨拶している。 食べ物の英単語を理解している。 (思・判・表) 簡単な英語で自己紹介している。 (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている。	挨拶・自己紹介・年齢・家族に関する英語 レッスン1-8	歌やゲーム、カード・ワークシートを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・Hello. How are you? ・My name is～. ・I'm from～. ・I'm ～years old. ・How old are you?
		(知及技) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を言うことができる。 (思判表力) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を理解している。 (思・判・表) 自分の好きなことや将来のやりたい職業を表現している。 (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている。	趣味・食べ物・スポーツ・職業・教科に関する英語 レッスン9-14	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・I like～. ・What is your hobby? ・I want to be～.
		(知及技) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現が英語で言うことができる。 (思判表力) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う、単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現を理解している。 (思・判・表) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現を英語でしている。 (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている。	曜日、日付、天気、誕生日に関する英語 レッスン15-20	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・Thank you for ～.You are welcome. ・Sorry for～. ・Could you please～? ・May I～? ・Let's～.
2学期	30	(知及技) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する表現を言うことができる。 (思判表力) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する表現を理解している。 (思・判・表) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する表現をすることができる。 (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている。	時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関する英語 レッスン21-27	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・It's ten o'clock/Monday/April/sunny. ・I'm good/Tired. ・She is～/He is～.
		(知及技) 日常生活に関連する表現を言うことができる。 (思判表力) 日常生活に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) 日常生活に関連する表現を理解している。 (思・判・表) 日常生活に関連する表現をすることができる。 (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている。	日常生活に関連する単語や表現 レッスン28-33	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・What's for breakfast? ・Wash the dishes. ・Brush your teeth. ・Take shower.
3学期	18	(知及技) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を言うことができる。 (思判表力) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を使って自分自身の表現ができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を理解している。 (思・判・表) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている。	習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現 レッスン34-36	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・I have piano lesson today. ・Take a right at the next light. ・I'll have a cheese burger and a medium orange juice.
留意点 引継ぎ等		・年間を通して、ALTとの交流を図る。特に外国の文化を学ぶ際は、ALTを活用する。 ・カード等を用いて、口頭や文字以外での意思表示もできるようにする。			

令和8年度 高等部 1～3年（Ⅱ課程） 情報科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部 1～3年		なし

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身につけるとともに、情報社会と人との関わりについて理解することができるようにする。 （思判表力）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	（知及技） 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ることができるようにする。[高1段階] （思判表力） 必要な情報が伝わるように効果的なコミュニケーションや問題解決のために、情報を整理したり、目的や意図をもった情報を受け手に対して分かりやすく伝達する。[高1段階] （学・人） 身近にある情報や情報技術を活用することができるようにする。[高1段階]	（知・技） 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ろうとしている。 （思・判・表） 必要な情報が伝わるように効果的なコミュニケーションや問題解決のために、情報を整理したり、目的や意図をもった情報を受け手に対して分かりやすく伝達しようとしている。 （主学） 身近にある情報や情報技術を活用しようとしている。	【単元1】 コンピュータ、iPadの基本的な操作 【単元2】 パソコンを利用した自己紹介	【単元1】 コンピュータ、iPadの基本的な操作 ・タイピング練習 ・Teamsログイン ・サーバーのデータについて ・フォルダ作成、データ量について 【単元2】 パソコンを利用した自己紹介 ・Teamsを使った自己紹介 ・canva 好きなものを集めたコラージュ作成
		（知及技） 身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技能を身に付けることができるようにする。[高1段階] （思判表力） 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて表現し、振り返り、表現を見直すことができるようにする。[高1段階] （学・人） 情報や情報技術を適切に活用することができるようにする。[高1段階]	（知・技） 身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技能を身に付けようとしている。 （思・判・表） 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて表現し、振り返り、表現を見直そうとしている。 （主学） 情報や情報技術を適切に活用しようとしている。	【単元3】文化祭のポスター・チラシなどの作成	【単元3】「文化祭のポスター・チラシなどの作成」 ・ポスターやチラシを作成・工夫（行事に合わせた取り組み） ・画像やフォント、レイアウトなどを工夫 ・作成 ・発表、評価、見直し
2 学期	15	（知及技） 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ることができるようにする。[高1段階] （思判表力） データの収集、整理及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行することができるようにする。[高1段階] （学・人） 身近にある情報や情報技術を活用することができるようにする。[高1段階]	（知・技） 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ろうとしている。 （思・判・表） データの収集、整理及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行しようとしている。 （主学） 身近にある情報や情報技術を活用しようとしている。	【単元4】身近にあるデータをコンピュータで処理してみよう	【単元4】「身近にあるデータをコンピュータで処理してみよう」 ・身近な生活に必要な支出など、年間に必要な金額や季節ごとに変わってくる状況などを数値化し比較する ・数値データを指定された表に入力する ・技能検定
3 学期	7	（知及技） 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ることができるようにする。[高段階] （思・判・表） 身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えようとしている。 （学・人） 情報社会に関わろうとする態度を養うことができるようにする。[高段階]	（知・技） 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ろうとしている。 （思・判・表） 身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えようとしている。 （主学） 情報社会に関わろうとする態度を養うとしている。	【単元5】生活に関わるクレジットカード、電子マネー、キャッシュレス決済の活用	【単元5】「生活に関わるクレジットカード、電子マネー、キャッシュレス決済の活用」 ・情報通信技術の進歩による購入方法の変化に対して適切に対応できるようにする。 ・クレジットカードについての基礎知識 ・電子マネーやキャッシュレス決済などの利用方法 ・安全に利用する方法とトラブル時の対応
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 3年（Ⅱ課程Aグループ） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3年Ⅱ課程A		私たちの未来 未来の私たち

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度をもつ。			
学期	時数	ねらい	評価の視点	教材名 「主題名」 【内容項目】	学習活動
1 学期	12	これまでの自分の経験を振り返りながら、心の弱さを乗り越えさせるものとは何か、考える、気づく。	【多面的・多角的に考える】 登場人物の姿や自分の経験から、人の醜さや甘え、それを乗り越える強さや誇りなど、人が悩みながら生きる姿について、考えを深めているか。 【自分ごととして考える】 自分の心の弱さを見つめ、その弱さを乗り越えるために大切にしたいことについて考えているか。	「自分で決める」 「自分らしさを伸ばす」 「新たな発想を生み出す」 「生活をつくる」 「勇気を出す」 【自主、自立、個性の伸長、向上心】 ★教科書 A：自分のこと	・教科書を読む ・自分の経験を振り返る ・考えをまとめる ・討論する ・発表する
		生命の尊さを知り、生命あるものを大切にしようとする気持ちを育てる。	【多面的・多角的に考える】 命を大切にすることはどのようなことか、他者の意見を手がかりに自分の考えを広げようとする意欲をもち、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 戦争を体験した人々の立場に立ち、現在の平和に対する考えを深めている。	「慰霊の日：平和について考える」 【生命の尊さ】	・講話を聞く ・感想を書く
2 学期	15	人と人とがわかり合うために大切なことは何かを考え、行動に移せるようになる。	【多面的・多角的に考える】 相手とわかり合うことについて、他者との関係性や自分への影響などのさまざまな側面から考えているか。 【自分ごととして考える】 これまでに、どんなふうに相手に考えを伝えたり、相手を理解したりしようとしてきたかと、自分を振り返っているか。	「思いやりに応える」 「友情を深める」 「礼儀の大切さ」 「互いに分かり合う」 【相互理解、思いやり、感謝、友情、礼儀】 ★教科書 B：人との関わり	・教科書を読む ・自分の経験を振り返る ・考えをまとめる ・討論する ・発表する
		よりよい集団の一員であるためには、どんな考えが大切なのかについて考え、自分の役割と責任を自覚し、協力して集団生活を向上させようとする判断力を育てる。	【多面的・多角的に考える】 集団の意義と目的を理解しながら役割を果たすことについて、さまざまな立場や見方で考えを深めているか。 【自分ごととして考える】 自分は、集団の中での役割や責任について、どんな考えをもっていたかと自分を振り返っているか。	「決まりに向き合う」 「みんなのために」 「家族のことを考える」「郷土の伝統を受け継ぐ」 「世界に心を向ける」 「公平に接する」 「働くことの意味」 「集団の一人として」 「日本人としてできること」 【よりよい学校生活、集団生活の充実、公共心、伝統と文化】 ★教科書 C：集団の中で	・教科書を読む ・自分の経験を振り返る ・考えをまとめる ・討論する ・発表する
		友達と互いに理解し、信頼し、助け合おうとする気持ちを育てる。	【多面的・多角的に考える】 「相手」がどのような状況なのか考え、発言する。他の人の意見に触れながら考えを深める。 【自分ごととして考える】 相手という存在に対するイメージを描いたり、その人が参加しやすい方法を考えたりする際に、具体的な場面を想起しながら考えている。	「院内で学ぶ児童生徒と交流しよう」 【友情、信頼】	・カードゲームやボードゲーム等、企画、運営
3 学期	8	人の感動の源にあるものを見つめ、人が、人間の力を越えたものを前に心動かされるその思いを大切にしようとする心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 話し合いを通して、感動する対象や感動する心の在り方は多様であることについて考えているか。 【自分ごととして考える】 これまで自分自身が感動したものや出来事を理由や条件とともに振り返っているか。	「命の尊さ」 「感動を伝える」 「自然を守り抜く」 「志高く生きる」 【生命の尊さ、感動、畏敬の念】 ★教科書 D：輝く命	・作品の鑑賞の仕方を学習する。 ・教科書を読む ・自分の経験を振り返る ・考えをまとめる ・討論する ・発表する
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部3年（Ⅱ課程） 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	3学年		自主教材

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 探究の過程において課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念の形成に努め、探究の意義や価値を理解する。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (学・人) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、より良い社会を実現しようとする態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ・学校や自分自身、友人について知り、自分の役割や長所を実社会実生活における様々な場面で活かすことができる。 (思判表力) ・まわりの状況に応じて適切な行動をとることができる。 (学・人) ・積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度をもつことができる。	(知・技) ・学校や自分自身、友人について知り、自分の役割や長所を実社会実生活における様々な場面で活かしている。 (思・判・表) ・まわりの状況に応じて、適切な行動をとっている。 (主学) 積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。	・自己紹介/他己紹介 ・生徒総会・交流会事前準備 ・レク (バドミントン大会)	・自分自身や友人、先生の理解や交流を深める ・新入生・転入生歓迎会準備
		(知及技) ・身だしなみや就業に対する理解を深めることができる。 ・キャリア週間の内容を理解することができる。 ・校外学習の意義を理解できる。 (思判表力) ・目的の為にによりよい方法を考えることができる。 (学・人) ・実践的な集団行動をしようすることができる。	(知・技) ・身だしなみや就業に対する理解を深めている。 ・キャリア週間の内容を理解しようとする。 ・校外学習に向けた準備ができる。 (思・判・表) ・意見を出し合ってよりよい方法を選び出している。 (主学) ・周りをよく見て合わせて行動している。	・身だしなみ講話 ・就業体験事前学習 ・キャリア教育推進週間 ・実習先見学 ・校外学習	・キャリア週間の取り組み ・事前学習で目的、移動方法、役割を確認する ・行先の目的を知る ・調査、探求活動の実施
		(知及技) ・平和について考えることができる。 (思判表力) ・世の中が平和になるためにどうすべきか考える。 (学・人) ・世界平和に向けた行動につなげることができる。	(知・技) ・平和学習を通して、平和について学ぶ姿勢がある。 (思・判・表) ・平和のために自分ができることを考えている。 (主学) ・他人事でなく、自分の事として行動しようとする。	・平和学習	・平和学習を通して、過去の沖縄戦や世界中で起こっている争いについて調べる
		(知及技) ・過去に経験した行事で身に付けた経験や知識を活用できる。 (思判表力) ・課題を解決するための方法を皆で判断し、優先順位を決めることができる。 (学・人) ・仲間とコミュニケーションを図りながら活動しようすることができる。	(知・技) ・過去の行事を振り返り、自分の考えを伝えている。 ・森川フェスの活動内容を理解している。 (思・判・表) ・森川フェスを楽しむためにどうするか自分の意見をもっている。 ・それぞれの役割を皆で話し合って決めている。 (主学) ・森川フェスの成功に向けて、仲間とコミュニケーションを取りながら主体的に取り組もうとしている。	・森川フェス事前事後学習1	・森川フェス企画、運営
2 学期	27	(知及技) ・衛生や栄養に気を付けて調理することができる。 ・販売に必要な接客ができる。 ・洗濯やアイロンがけを正しく行うことができる。 (思判表力) ・販売活動を計画、実施することで企画力を高める。 ・状況に応じて必要な行動を考えて行うことができる。 (学・人) ・生活に必要な技能を身に付けることができる。	(知・技) ・衛生や栄養に気を付けて調理している。 ・販売に必要な接客を心がけている。 ・洗濯やアイロンがけを正しく行っている。 (思・判・表) ・販売活動を計画、実施することで企画力を高める。 ・状況に応じて必要な行動を考えて行っている。 (主学) ・生活に必要な技能を進んで身に付けようとしている。	・調理実習と栄養学習 ・販売実習(校内・校外) ・生活実習	・調理を通して栄養を学ぶ ・販売活動の企画や運営 ・販売実習の利益の使い方(例: 卒業パーティー費用に充当)などを考える ・洗濯とアイロンがけを学ぶ
		(知及技) ・過去に経験した行事で身に付けた経験や知識を活用できる。 (思判表力) ・課題を解決するための方法を皆で判断し、優先順位を決めることができる。 (学・人) ・仲間とコミュニケーションを図りながら活動しようすることができる。	(知・技) ・過去の行事を振り返り、自分の考えを伝えている。 ・森川フェスの活動内容を理解している。 (思・判・表) ・森川フェスを楽しむためにどうするか自分の意見をもっている。 ・それぞれの役割を皆で話し合って決めている。 (主学) ・森川フェスの成功に向けて、仲間とコミュニケーションを取りながら主体的に取り組もうとしている。	・森川フェス事前事後学習2	・森川フェス企画、運営
		(知及技) ・産業教育フェアの出展者や商品について学習することができる。 ・校外学習について情報を集めることができる。 (思判表力) ・集団の中で判断して行動することができる。 (学・人) ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・産業教育フェアの出展者や商品について学習しようとしている。 ・校外学習先について調べようとする。 (思・判・表) ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 (主学) ・周りを意識した行動をしようとする。	・産業教育フェア見学 ・校外学習 ・実習先見学	・産業教育フェアを実際に見て学ぶ ・校外学習事前学習 ・行先の目的を知る ・調査、探求活動の実施
3 学期	18	(知及技) ・院内生徒の作品を鑑賞し良さをを知ることができる。 (思判表力) ・自分の課題を発見し、目標を決めることができる。 ・情報を集めながら、校外学習の計画をたてることができる。 (学・人) ・規律や社会とのつながりを感じることができる。	(知・技) ・自分と他人の感性の違いを理解しようとする。 (思・判・表) ・自分をしっかりと分析し、改善しようとする。 (主学) ・お互いの作品を鑑賞し、みんなで協力して展示会の準備をしようとする。 ・自分で判断し責任をもって行動しようとしている。	・校外学習 ・キャリアパスポート見直しと振り返り ・くらしとお金(消費者教育) ・ハートアート展	・校外学習の企画、実施、振り返り ・暮らしとお金の関わりについて学習する。(外部人材の活用) ・ハートアート展に向けた作品準備と鑑賞
		(知及技) ・卒業を祝う会(卒業パーティー)の意義を理解することができる。 (思判表力) ・卒業生の立場になって、贈る言葉などを考え、文章にすることができる。 (学・人) ・卒業パーティーで企画、運営で周りの意見を尊重したり、自分の意見を適切に表現することができる。	(知・技) ・卒業を祝う会や卒業することの意味を理解している。 (思・判・表) ・自分なりに、祝う気持ちを表現できている。 (主学) ・それぞれの役割を皆で決め、卒業式に向け取り組んでいる。	・卒業パーティ ・おもてなし	・卒業パーティに関する取り組み
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 3年（Ⅱ課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部3年		無し

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることを理解し、行動の仕方を身につける。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、相互の意見の一致を図ったり、意思決定できるようにする。 (学・人) 生徒の障害の状態や特性等を考慮し、望ましい集団活動を通して生活経験を広げ、社会性を育む。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) ・学級での役割を果たすことができる。 (思判表力) ・自分と学級の目標を決めることができる。 (学・人) ・学級で自己の役割を振り返ることができる。	(知・技) ・他者と協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・自分と学級の課題を発見しようとする。 (主学) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・始業式 ・入学式 ・新入生転入生歓迎会	・掲示物や時間割作成 ・学期の目標決め ・新入生転入生との交流、企画、運営
		(知及技) ・災害時の避難方法を知ることができる。 ・生徒会の活動内容を理解することができる。 (思判表力) ・避難経路の判断ができる。 ・学校生活を充実させるために何が必要か考えることができる。 (学・人) ・集団の中で命を守る行動ができる。 ・自分だけでなく、皆のことも考えることができる。	(知・技) ・火災発生時の避難方法を学ぼうとしている。 ・年間の活動内容がわかる。 (思・判・表) ・自分で考えて判断しようとしている。 ・学校を楽しむ為に、自分の意見をもつ。 (主学) ・まわりの人に合わせて行動しようとしている。 ・学校の課題等を自らの問題として考えようとする。	・火災避難訓練 ・生徒総会	・避難経路、避難方法の事前学習 ・生徒総会の企画、実施
		(知及技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解する。 ・校外学習について情報を集めることができる。 ・学期の反省をすることができる。 (思判表力) ・目的の為にによりよい方法を考えることができる。 ・集団の中で判断して行動することができる。 (学・人) ・実践的な集団行動ができる。 ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義が理解できる。 ・校外学習先について調べようとする。 ・学期の振り返りをする。 (思・判・表) ・意見を出し合ってよりよい方法を導き出している。 ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 (主学) ・まわりをよく見て合わせて行動しようとしている。	・不審者対応訓練 ・終業式	・自身の身の守り方などを学習する ・学期末反省
		(知及技) ・行事の意義を理解し、成功に向けて頑張る。 (思判表力) ・参加方法を考え、皆と協力して取り組む。 (学・人) ・行事に積極的に参加する。	(知・技) ・行事の成功に向けて知恵を出し合う。 (思・判・表) ・役割分担を相談して取り組もうとする。 (主学) ・自分たちが主役であるという自覚をもつ。	・森川フェス1	・森川フェスに向けて、それぞれの役割に責任を持たせる。
2 学期	15	(知及技) ・集団の中での役割を把握することができる。 (思判表力) ・目標を決定することができる。 (学・人) ・自己実現に向け、課題を改善することができる。	(知・技) ・協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・目標を設定しようとしている。 (主学) ・学級集団とより良く関わろうとしている。	・始業式	・学期の目標決め
		(知及技) ・行事の意義を理解し、成功に向けて頑張る。 (思判表力) ・参加方法を考え、皆と協力して取り組む。 (学・人) ・行事に積極的に参加する。	(知・技) ・行事の成功に向けて知恵を出し合う。 (思・判・表) ・役割分担を相談して取り組もうとする。 (主学) ・自分たちが主役であるという自覚をもつ。	・森川フェス2	・森川フェスに向けて、それぞれの役割に責任を持たせる。
		(知及技) ・少年犯罪について考えることができる。 (思判表力) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 (学・人) ・安全に身を守る方法などを身につける。	(知・技) ・少年犯罪について考えようとしている。 (思・判・表) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 (主学) ・危ないことに巻き込まれない意識をもつようにする。	・薬物乱用防止教室	・県内と県外の現状を知る。
		(知及技) ・校外学習について情報を集めることができる。 (思判表力) ・集団の中で判断して行動することができる。 ・学期を振り返り自己評価できる。 (学・人) ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・校外学習先について調べようとする。 (思・判・表) ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 ・しっかり学期の振り返りをしようとする。 (主学) ・周りを意識した行動をしようとする。	・終業式	・学期末反省
3 学期	8	(知及技) ・院内生徒の作品を鑑賞し良さをを知ることができる。 (思判表力) ・自分の課題を発見し、目標を決めることができる。 (学・人) ・院内生徒の作品に触れ、交流を図ることで所属感を感じることができる。	(知・技) ・自分と他人の感性の違いを理解しようとする。 (思・判・表) ・自分をしっかりと分析し、改善しようとする。 (主学) ・お互いの作品を鑑賞し、みんなで協力して展示会の準備をしようとする。	・始業式 ・ハートアート展	・新年の目標 ・ハートアート展に向けた作品準備と鑑賞
		(知及技) ・卒業式における身なりや振る舞いを理解することができる。 (思判表力) ・1,2年生へ贈る言葉を考える事ができる。 (学・人) ・学校の最上級生として、後輩たちへ引き継ぐ言葉を持ち、ふさわしい態度で式に参加することができる。	(知・技) ・卒業式の意義や参加の仕方について理解しようとしている。 (思・判・表) ・1,2年生へ贈る言葉を考えようとしている。 (主学) ・学校の最上級生として、後輩たちのことを考えて、式に臨もうとしている。	・卒業式	・自分自身の3年間を振り返る。 ・後輩への思いを綴る、発表する。
留意点 引継ぎ等					